

(特約あり／なし兼用)

## 学生教育研究災害傷害保険

(略称「学研災」)

## 加入者のしおり

あなたはこの保険の加入者です。  
あなた自身がけがを負った場合等の万一の事故に備え、ぜひご一読ください。

この保険は学生個人に対して保険証券を発行していません。  
この冊子を保険証券の代わりとして大切に保管してくださ～い！



〈ご加入の覚え〉 学生ご本人がご記入ください

加入 年度	年度	保険 期間	年間	通学特約	接触感染特約
				有・無	有・無
氏名					

- (ご注意) 1 通学中の事故・学校施設等相互間の移動中の事故については、「**学生教育研究災害傷害保険 (略称「学研災」) 普通保険**」および「**通学中等傷害危険担保特約 (略称「通学特約」)**」に加入の場合に限り保険金のお支払い対象となります。
- 2 接触感染による感染症予防措置を受けた場合については、「**学生教育研究災害傷害保険 (略称「学研災」) 普通保険**」および「**接触感染予防保険金支払特約 (略称「接触感染特約」)**」に加入の場合に限り保険金のお支払い対象となります。



# ご加入者の皆様へ

本保険の内容および「被保険者（補償を受けることができる方）」である皆様の義務などについては、学生教育研究災害傷害保険普通保険約款、通学中等傷害危険担保特約、接触感染予防保険金支払特約等の規定が適用されます。

この「しおり」は、約款および各特約等とその中の特に大切な事柄を記載したものです。万一の場合に備えて、ぜひご一読の上、お手元に保管してください。

## 〈目 次〉

- I. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）の概要（P2～P6）
  - 1. 保険期間
  - 2. 対象となる活動範囲
  - 3. 保険金の種類と金額
  - 4. 保険金支払例
  - 5. 保険金をお支払いしない主な場合
  - 6. 契約内容変更（転部・退学・休学）の場合の手続き
- II. 事故が起きたときの手続き（P7）
  - 1. 事故の通知
  - 2. 保険金の請求手続き
- III. 学生教育研究災害傷害保険普通保険約款（P8～P12）
- IV. 通学中等傷害危険担保特約（P13）
- V. 接触感染予防保険金支払特約（P13）
- VI. 共同保険に関する特約（P13）
- VII. 学生教育研究災害傷害保険特約書（P13～P15）
- VIII. 重要事項説明書（P15～P16）
  - 1. 契約概要
  - 2. 注意喚起情報
- IX. 保険金請求先（東京海上日動ウェルネス保険金サポート部）（P16）
- X. その他（P17）

学生教育研究災害傷害保険は、公益財団法人日本国際教育支援協会（以下「本協会」といいます。）と以下の保険会社（予定）との間で締結された共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理、代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合については本協会にご確認ください。

あいおいニッセイ同和損保    損保ジャパン    東京海上日動（幹事保険会社）    三井住友海上

加入内容・加入確認・諸手続等についてのお問い合わせは、  
在籍する学校の担当窓口（学生課・学生支援課・保健センター  
等）へお願いします。

## 保険料一覧

各特約に加入する場合、希望する特約の保険料が加算されます。

特約の採用については、学校によって異なります。詳細は学校の窓口にお問い合わせください。

保険期間	基本			特約		
	昼間部	夜間部	通信教育	通学中等傷害危険担保特約		接触感染予防 保険金 支払特約
				昼間部・夜間部	通信教育	
1年間	650円	100円	100円	350円	40円	20円
2年間	1,200円	200円		550円		40円
3年間	1,800円	300円		800円		50円
4年間	2,300円	400円		1,000円		70円
5年間	2,800円	500円		1,250円		80円
6年間	3,300円	—		1,400円		100円

※年度途中に加入する場合も保険料は1年単位となります。

※通学中等傷害危険担保特約において夜間部に6年間の設定はありません。

※通信教育は6年間扱いとなります。

# I. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）の概要

## 1. 保険期間

保険期間は、以下のいずれかです。

	保険始期	保険終期
4月入学生	4月1日午前0時から	(所定の卒業年次の(*1)) 3月31日午後12時まで
9月入学生	9月1日午前0時から	(所定の卒業年次の(*1)) 8月31日午後12時まで
10月入学生	10月1日午前0時から	(所定の卒業年次の(*1)) 9月30日午後12時まで

(\*1) 原則として卒業までの期間を一括して申し込むものとします。

ただし、次の場合は、保険始期はそれぞれ以下のとおりとなります。

全員加入の場合（学校が学生の加入を決める場合）で、学校の機関において決議(*2)した保険加入日が上記の保険始期以降であるとき。	決議された保険加入日の午前0時が保険始期
任意加入の場合（学生が加入を決める場合）で、学生が在籍する会員校へ所定の保険料を支払った日が上記の保険始期以降であるとき。(*3)	保険料を支払った日の翌日午前0時が保険始期

(\*2) 保険加入日時は決議日時より遡ることはできません。

(\*3) 原則として、入学手続と同時に申込みを行うものとします。

加入形態（全員加入または任意加入）や自分の保険期間が分からない場合は、学校の担当窓口（学生課・学生支援課・保健センター等）でご確認ください。

### 注意事項

(1) 4月入学生の保険責任は、4月1日午前0時から始まります。ただし、4月1日以降のお取扱いは以下のとおりとなります。

- ① 全員加入の場合：教授会等において決議した保険加入日が4月1日以降のときは、決議された保険加入日の午前0時が保険始期となります。
- ② 任意加入の場合：学生が在籍する会員校へ所定の保険料を支払った日が4月1日以降のときは、支払った日の翌日午前0時が保険始期となります。

(2) 9月入学生の保険責任は、9月1日午前0時から始まります。ただし、9月1日以降のお取扱いは以下のとおりとなります。

- ① 全員加入の場合：教授会等において決議した保険加入日が9月1日以降のときは、決議された保険加入日の午前0時が保険始期となります。
- ② 任意加入の場合：学生が在籍する会員校へ所定の保険料を支払った日が9月1日以降のときは、支払った日の翌日午前0時が保険始期となります。

(3) 10月入学生の保険責任は、10月1日午前0時から始まります。ただし、10月1日以降のお取扱いは以下のとおりとなります。

- ① 全員加入の場合：教授会等において決議した保険加入日が10月1日以降のときは、決議された保険加入日の午前0時が保険始期となります。
- ② 任意加入の場合：学生が在籍する会員校へ所定の保険料を支払った日が10月1日以降のときは、支払った日の翌日午前0時が保険始期となります。

## 2. 対象となる活動範囲

### (1) 学生教育研究災害傷害保険普通保険約款

被保険者（補償を受けることができる方）が在籍する学校の国内外における教育研究活動中に生じた**急激かつ偶然な外来の事故**によって身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。

※ **「病気」はこの保険の対象となりません。**

※ **傷害には次に掲げるものを含まず。**

- ① 身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に急激に生ずる中毒症状（継続的に吸入、吸収または摂取した結果生ずる中毒症状を除きます）。
- ② 日射または熱射による身体の障害。

### 「教育研究活動中」とは……

#### ① 正課中

講義、実験、実習、演習または実技による授業（以上を総称して以下「授業」といいます。）を受けている間をいい、次に掲げる間を含まず。

ア. 指導教員の指示に基づき、卒業論文研究または学位論文研究に従事している間。ただし、専ら被保険者の私生活に係る場所においてこれらに従事している間を除きます。

イ. 指導教員の指示に基づき、授業の準備もしくは後始末を行っている間または授業を行う場所、学校の図書館、資料室もしくは語学学習施設において研究活動を行っている間。

ウ. 大学院設置基準第15条、大学設置基準第28条および高等専門学校設置基準第19条の規定に基づき、他の大学、短期大学または高等専門学校の正課を履修している間。なお、ここにいう「他の大学、短期大学または高等専門学校」には外国の大学、短期大学等も含まれます。

エ. 通信教育生の場合は、面接授業・スクーリングを受けている間。

## ② 学校行事に参加している間

学校の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間。

## ③ ①②④以外で学校施設内にいる間

学校が教育活動のために所有、使用または管理している学校施設内にいる間。ただし、寄宿舎にいる間、学校が禁じた時間もしくは場所にいる間または学校が禁じた行為を行っている間を除きます。

## ④ 課外活動（クラブ活動）中

学校の規則にのっとった所定の手続きにより、学校の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動または体育活動を行っている間。ただし、山岳登山やハングライダーなどの危険なスポーツを行っている間、学校が禁じた時間もしくは場所にいる間または学校が禁じた行為を行っている間を除きます。

## (2) 通学中等傷害危険担保特約（通学特約）

学研災普通保険および本特約に加入の場合に限りします。

被保険者（補償を受けることができる方）の住居と学校施設等との間の往復中または学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。

### ① 通学中

学校の授業等(\*1)、学校行事または課外活動（クラブ活動）への参加の目的をもって、合理的な経路および方法（学校が禁じた方法を除きます。）(\*2)により、被保険者の住居（社会人入試を経て学校に入学した学生が学校に通う場合は、勤務先を含みます。）(\*3)と学校施設等(\*4)（敷地に入るまで）との間を往復する間。

### ② 学校施設等(\*4)相互間の移動中

学校の授業等(\*1)、学校行事または課外活動（クラブ活動）への参加の目的をもって、合理的な経路および方法（学校が禁じた方法を除きます。）(\*2)により、学校が教育活動のために所有、使用または管理している施設の他、授業等、学校行事または課外活動（クラブ活動）の行われる場所の相互間を移動している間。

(\*1) P2～3正課中をご参照ください。

(\*2) 住居と学校施設等との往復や学校施設間を移動するに当たって、一般的に学生が用いるものと考えられる経路および方法のことで、「経路」については、通学定期券に記載されている経路はもちろんですが、一般的に用いられると想定される経路であれば、それらについても合理的な経路とします。また、公共交通機関のストライキや道路封鎖等によりやむを得ず迂回せざるを得ない場合であって、その迂回路が一般的であると認められる場合は、その迂回路も合理的な経路とします。

#### 経路の逸脱または中断について

原則として、合理的な経路を逸脱した場合（授業等への参加とは関係のない目的で合理的な経路をそれる場合）や、往復または移動を中断した場合（往復または移動とは関係のない行為を途中で行う場合）には、その間やその後に被った傷害に対しては保険金をお支払いしません。ただし、その逸脱または中断が授業等、学校行事もしくは課外活動（クラブ活動）に必要な物品の購入その他これに準ずる行為を行うためのものである場合または日常生活上必要な行為をやむを得ない事由により行うための最小限度のものである場合には、合理的な経路に復した後に被った傷害に対しては保険金をお支払いします。例えば以下のような行為です。

- ① 授業に必要な教科書を購入する。
- ② 惣菜等を購入する。
- ③ ひとり暮らしの学生が食堂に立ち寄る。
- ④ 選挙の投票をする。
- ⑤ 病院や診療所で診察を受ける。

「方法」については、一般的に用いられる方法のことで、鉄道、バス等公共交通機関を利用する場合や自転車、自動車、徒歩等通常用いられる方法（学校が禁じた方法を除きます。）であれば、日常使用しているか否かにかかわらず合理的な方法とします。

(\*3) 学生が居住して日常生活の用に供している家屋などの場所で、就学の拠点となることをいいます。なお、社会人入試(\*5)を経て学校に入学した学生が学校に通う場合は、勤務先を含みます。ただし、長時間通学や自然災害、交通事情などの不可抗力的な事情により一時的に通常の住居以外の場所に宿泊しなくてはならないような場合には、その場所も住居とします。

(\*4) 学校が教育活動のために所有、使用または管理している施設の他、授業等、学校行事または課外活動（クラブ活動）の行われる場所をいいます。

(\*5) 一般の入学志願者と異なる方法により判定する入試方法のうち、社会人特別選抜入試等の社会人を対象とする入試をいいます。

## (3) 接触感染予防保険金支払特約（接触感染特約）

学研災普通保険および本特約に加入の場合に限りします。

臨床実習の目的で使用される施設内で、感染症の病原体に予期せず接触し、その原因となる事故の発生の日からその日を含めて180日以内にその接触感染に対する感染症予防措置を受けた場合に15,000円（定額）をお支払いします。

※接触感染以外の院内感染（空気感染等）はこの特約の対象となりません。

なお、下表の用語の意味は、それぞれ次の定義に従うものとします。

	用語	定義
①	接触感染	臨床実習の目的で使用される施設内で、被保険者が直接間接を問わず、感染症(*6)の病原体に予期せず接触(*7)することをいいます。
②	臨床実習	病院等(*8)で行う実習をいいます。
③	感染症予防措置	感染症への感染または発症を予防することを目的として行う検査、投薬等をいいます。ただし、医師等の指示または指導に基づくものに限ります。

(\*6) 感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第1項の感染症をいいます。以下この特約において同様とします。

(\*7) 接触のおそれのある場合を含みます。

(\*8) 病院または診療所等をいいます。以下この特約において同様とします。

### 〈感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条（令和5年6月7日改正）〉

第6条 この法律において「感染症」とは、一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症をいう。

2 この法律において「一類感染症」とは、次に掲げる感染性の疾病をいう。

1	エボラ出血熱	5	ペスト
2	クリミア・コンゴ出血熱	6	マールブルグ病
3	痘そう	7	ラッサ熱
4	南米出血熱		

3 この法律において「二類感染症」とは、次に掲げる感染性の疾病をいう。

1	急性灰白髄炎
2	結核
3	ジフテリア
4	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）
5	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る）
6	鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清亜型が新型インフルエンザ等感染症（第7項第3号に掲げる新型コロナウイルス感染症及び同項第4号に掲げる再興型コロナウイルス感染症を除く。第6項第1号及び第23項第1号において同じ）の病原体に変異するおそれが高いものの血清亜型として政令で定めるものであるものに限る。第5項第7号において「特定鳥インフルエンザ」という）

4 この法律において「三類感染症」とは、次に掲げる感染性の疾病をいう。

1	コレラ	4	腸チフス
2	細菌性赤痢	5	パラチフス
3	腸管出血性大腸菌感染症		

5 この法律において「四類感染症」とは、次に掲げる感染性の疾病をいう。

1	E型肝炎	10	野兔病
2	A型肝炎		
3	黄熱		
4	Q熱		
5	狂犬病		
6	炭疽	11	前各号に掲げるもののほか、既に知られている感染性の疾病であって、動物又はその死体、飲食物、衣類、寝具その他の物件を介して人に感染し、前各号に掲げるものと同程度に国民の健康に影響を与えるおそれがあるものとして政令で定めるもの
7	鳥インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）		
8	ポツリヌス症		
9	マラリア		

6 この法律において「五類感染症」とは、次に掲げる感染性の疾病をいう。

1	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）
2	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）
3	クリプトスポリジウム症
4	後天性免疫不全症候群
5	性器クラミジア感染症

6	梅毒
7	麻しん
8	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
9	前各号に掲げるもののほか、既に知られている感染性の疾病（四類感染症を除く）であって、前各号に掲げるものと同程度に国民の健康に影響を与えるおそれがあるものとして厚生労働省令で定めるもの

7 この法律において「新型インフルエンザ等感染症」とは、次に掲げる感染性の疾病をいう。

1	新型インフルエンザ（新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とするインフルエンザであって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう）
2	再興型インフルエンザ（かつて世界的規模で流行したインフルエンザであってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう）
3	新型コロナウイルス感染症（新たに人から人に伝染する能力を有することとなったコロナウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう）
4	再興型コロナウイルス感染症（かつて世界的規模で流行したコロナウイルスを病原体とする感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう）

8 この法律において「指定感染症」とは、既に知られている感染性の疾病（一類感染症、二類感染症、三類感染症及び新型インフルエンザ等感染症を除く）であって、第3章から第7章までの規定の全部又は一部を準用しなければ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるものとして政令で定めるものをいう。

9 この法律において「新感染症」とは、人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。

省略（第10項から第24項まで）

### 3. 保険金の種類と金額

#### (1) 死亡保険金

(事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合)

補償範囲	支払保険金
「正課中」「学校行事中」	2,000万円
「正課中・学校行事中以外で学校施設内にいる間」「課外活動（クラブ活動）中」 「通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中」	1,000万円

#### (2) 後遺障害保険金(\*1)

(事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合)

補償範囲	支払保険金
「正課中」「学校行事中」	程度に応じて 120万円～3,000万円
「正課中・学校行事中以外で学校施設内にいる間」「課外活動（クラブ活動）中」 「通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中」	程度に応じて 60万円～1,500万円

(\*1)  
死亡保険金と後遺障害保険金とを重ねて支払うべき場合には死亡保険金のみお支払いします。

#### (3) 医療保険金（医師の治療を受けた場合）および入院加算金

事故発生時の活動の種別		治療日数(*2)	医療保険金	
(治療日数1日から対象) 正課中・学校行事中	(対象外)	1日～3日	3,000円	
	(治療日数4日以上が対象) 課外活動（クラブ活動）を行っている間以外で学校施設内にいる間・通学特約加入者の通学中・学校施設等相互間の移動中	(対象外)	4日～6日	6,000円
		(対象外)	7日～13日	15,000円
		(治療日数14日以上が対象)	14日～29日	30,000円
		(治療日数14日以上が対象)	30日～59日	50,000円
		(治療日数14日以上が対象)	60日～89日	80,000円
		(治療日数14日以上が対象)	90日～119日	110,000円
		(治療日数14日以上が対象)	120日～149日	140,000円
		(治療日数14日以上が対象)	150日～179日	170,000円
	(治療日数14日以上が対象)	180日～269日	200,000円	
(治療日数14日以上が対象)	270日～	300,000円		



入院した場合

入院加算金 (180日限度)
入院1日につき 4,000円
(いずれの活動種別においても入院1日目から支払われます。)

(\*2)

実際に入院または通院した日数をいいます。傷害を被り治療を開始した日から「医師が必要であると認めた治療が完了した日」の間の実治療日数であり、治療期間の全日数が対象になるのではないことにご注意ください。

#### 注意事項

- 上記の保険金は、生命保険、健康保険、他の傷害保険、加害者からの賠償金と関係なく支払われます。
- 保険金は上記金額に限定されているので、2口以上の加入はできません。
- 同日に複数の病院へ通院した場合でも治療日数は1日となります。1日のうちに2つの病院へ通院しても、治療日数は2日とはなりませんのでご注意ください。

#### (4) 接触感染予防保険金(\*3)

補償範囲	支払保険金
臨床実習中	1事故につき15,000円（定額払）

(\*3) 臨床実習の目的で使用される施設内で、感染症の病原体に予期せず接触し、かつ、その原因となる事故の発生の日からその日を含めて180日以内にその接触感染に対する感染症予防措置を受けた場合が対象です。

## 4. 保険金支払例

### (1) 教育研究活動中

#### ① 正課中

- 実験中、フラスコ内を攪拌していたところ、突然爆発し、両目に火傷を負った。
- 調理実習中、包丁で野菜を切っている時に誤って左手人差し指を切った。
- 炎天下にて保育実習中、熱中症となり、入院を伴う治療を受けた。



#### ② 学校行事中

- 卒業式で階段を降りていた際に躓き転倒し打撲を負った。
- 宿泊研修先で食事をし、食中毒になった。
- 野球大会で審判をしていたところ、ボールが左目に当たり打撲を負った。



#### ③ ①②④以外で学校施設内にいる間

- 学校の階段で足を踏み外し、下肢を骨折。
- 学校の教室内で机を飛び越した時に着地に失敗し、左足親指を骨折。



#### ④ 課外活動（クラブ活動）中

- スキー部の活動中、斜面で転倒し骨折した。



- 学外球技場でのラグビーの公式試合中、相手にタックルをされ、左肩鎖関節を亜脱臼。

### (2) 通学中・学校施設等相互間の移動中

#### ① 通学中

- 自転車に通学中、駐車場から出てきた自動車と衝突。両膝と胸部を打撲。
- 凍結した路面を徒歩で通学中、滑って転倒。頭部挫傷・打撲。
- 原付で通学中、右折してきた別の原付と衝突し、右肩と右足首を打撲。



#### ② 学校施設等相互間の移動中

- 学校からサークル活動場所に向かうためバイクで移動中、自動車をよけようとして転倒。右腕と両足に打撲・切傷を負った。



### (3) 臨床実習中の接触感染による感染症予防措置

- 正課での手術中、執刀医が使用した器具の針が左手中指に刺さり、感染症予防措置を受けた。



## 5. 保険金をお支払いしない主な場合

以下の事由により生じたけが

保険契約者・被保険者（補償を受けることができる方）・保険金受取人の故意または重大な過失、被保険者の自殺行為・犯罪行為・闘争行為、無免許運転・酒気帯び運転・麻薬等の影響により正常な運転ができないおそれがある状態で自動車等の運転中に生じた事故、脳疾患・疾病・心神喪失、妊娠・出産・早産または流産、外科的手術などの医療処置（保険金が支払われるけがを治療する場合を除きます。）、地震・噴火またはこれらによる津波（被保険者がこれらの自然事象の観測活動に従事している間を除きます。）、戦争・内乱・暴動、核燃料物質の有害な特性などによる事故（被保険者が核燃料物質、核燃料物質によって汚染された物、またはこれらを使用する装置を用いて行う研究・実験活動に従事している間を除きます。）、放射線照射・放射能汚染（被保険者が放射線または放射能の発生装置を用いて行う研究・実験活動に従事している間を除きます。）、むちうち症、腰痛などで医学的他覚所見のないもの。学校施設外の課外活動として行う山岳登山（ピッケル等の登山用具を使用するもの）・リュージュ・ボブスレー・スカイダイビング・ハンググライダー搭乗等の危険な運動中の事故、学校施設外の課外活動として行う自動車等の乗用具による競技・試運転・競技場でのフリー走行、被保険者に対する刑の執行（\*1）等

なお、飲酒による急性アルコール中毒症や時間の経過により重大化した傷害など「急激かつ偶然な外来」の条件を充足しない事故も対象となりません。

（\*1）詳細はP11別表2をご参照ください。なお、上記が正課中、学校行事中および学校施設内にいる間であれば補償されます。

## 6. 契約内容変更（転部・退学・休学）の場合の手続き

(1) 2年以上の期間をまとめて加入した方は、次の場合、学校の担当窓口（学生課・学生支援課・保健センター等）へご連絡ください。

#### ① 昼間部、夜間部または通信部の区分を変更した場合

ア. 夜間部から昼間部へ変更の場合

保険料を未經過年度に応じて請求します。

イ. 昼間部から夜間部へ変更の場合

保険料を未經過年度に応じて一部返還します。（\*1）

ただし、学年度の中途において昼間部、夜間部または通信部の区分を変更した場合には、その学年度にかかる差額保険料については、返還または請求は行いません。

#### ② 退学した場合（除籍、死亡を含みます。）

上記①イ. に準じて保険料を未經過年度に応じて一部返還します。（\*1）

ただし、学年度の中途において退学した場合には、その学年度にかかる差額保険料の返還は行いません。

#### ③ 保険期間中に通算して1年以上休学した場合

休学期間の終了後、休学期間に応じて保険料を返還します。（\*1）

#### ④ 学部・学科を変更する場合

(2) 休学、留年等が理由で所定の修業年限が延長される場合は、保険契約の終了時に新たに追加加入の手続きが必要となります。所定の保険料を添えて（\*2）学校にお申し込みください。

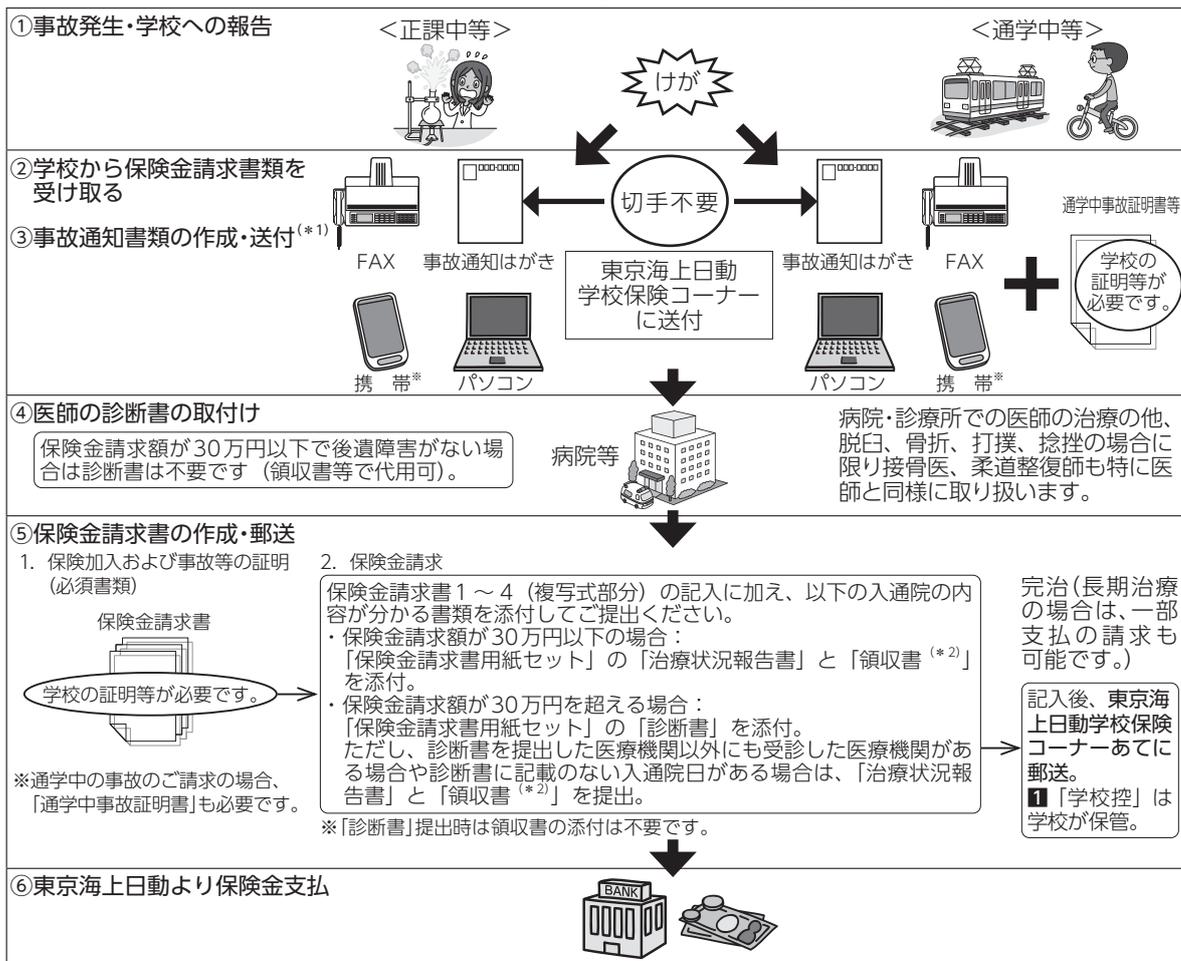
（\*1）保険料返還にかかる振込手数料は被保険者負担となります。

（\*2）保険料の支払方法は学校によって異なりますので、詳細は学校の担当窓口（学生課・学生支援課・保健センター等）までお問い合わせください。

## II. 事故が起きたときの手続き

### 〈事故発生から保険金が支払われるまで〉

※SkettBook（学研災公式アプリ）より保険金をご請求の場合は「学研災公式アプリ版加入者のしおり」をご参照ください。



(※1) 事故通知書類の作成・送付方法は、学校によって異なりますので、事前に学校に確認してください。

※事故通知システム (携帯版)QRコード



(事故通知システム) (トップページ)

(※2) 入院期間が記載されたもの。ない場合は診察券のコピーを添付するか、「治療状況報告書」に医療機関名をご記入ください。

### 1. 事故の通知

この保険で対象となる事故が生じた場合には、事故の発生の日からその日を含めて30日以内に、事故の日時、場所、状況、傷害の程度を学校の担当窓口（学生課・学生支援課・保健センター等）に申し出た上で、その窓口へ備え付けてある事故通知はがきまたはFAX、あるいはパソコンや携帯端末を使用した「事故通知システム」で、東京海上日動の学校保険コーナーへご連絡ください。

※事故の発生の日からその日を含めて30日以内にご通知のない場合には保険金が支払われない場合があります。

※保険金請求権には、時効（3年）があります。

以下の場合、上記の事故通知に加え、次の書類に必要事項を記入の上、東京海上日動の学校保険コーナーに提出してください。

・通学中の事故：通学中事故証明書 ・学校施設等相互間の移動中の事故：施設間移動中事故証明書 ・接触感染事故：接触感染の検査資料等

※事故通知はがき、通学中事故証明書、施設間移動中事故証明書は学校に備え付けてあります。

※事故のご通知および保険金のご請求は、東京海上日動の学校保険コーナーあてに行ってください（P16 保険金請求先ご参照）。

### 2. 保険金の請求手続き

保険金のご請求に当たっては、被保険者またはその代理人(※1)が下記の書類を東京海上日動の学校保険コーナーにご提出ください。

①保険金請求書（学校の証明済みのもの。その他事故証明書等を含みます。）

②医師の診断書

ただし、保険金の請求金額が30万円以下（他の傷害保険等と合算して30万円以下の場合）で後遺障害がない場合は、請求者本人が治療状況報告書に記入し、領収書（通院日数が明記されているもの。領収書がない場合は診察券のコピー等）を貼って提出すれば医師の診断書は不要です。

③その他（学生教育研究災害傷害保険普通保険約款第25条・通学中等傷害危険担保特約第4条・接触感染予防保険金支払特約第3条をご参照ください。）

(※1) 被保険者が未成年の場合、保険金の請求は原則として親権者が行うものとします。なお、死亡保険金は、原則として法定相続人が請求することになります。

※入院した時には、入院日数等を記載した病院等の証明書類（領収書類に記載でも可）の提出が必要となります。

※前記①および②の書類は、学校に備付けの所定の用紙をご使用ください。

※保険金は、原則として銀行振込によりお支払いします。

(重要) 保険金の支払い後、引受保険会社は本協会に保険金支払いの連絡を行い、本協会はそれを基に保険金支払報告書を学校へ送付し、引受保険会社、学校および本協会の三者でその事故の保険金支払状況等の情報を共有しますので、あらかじめご通知おきください。

# Ⅲ. 学生教育研究災害傷害保険普通保険約款

## 第1章 用語の定義条項

### 第1条 (用語の定義)

この約款において、下表の用語の意味は、それぞれ次の定義によります。

用語	定義
医学的他覚所見	理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査等により認められる異常所見をいいます。
課外活動	大学等の規則に則った所定の手続により大学等の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動または体育活動をいいます。ただし、大学等が禁じた時間もしくは場所にいる間または大学等が禁じた行為を行っている間を除きます。
学校行事	大学等の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事をいいます。
学校施設	大学等が教育活動のために所有、使用または管理している施設をいいます。ただし、寄宿舎を除きます。
危険	傷害の発生の可能性をいいます。
競技等	競技、競争、興行 <sup>(*)1</sup> または試運転 <sup>(*)2</sup> をいいます。 (*)1 いずれもそのための練習を含みます。 (*)2 性能試験を目的とする運転または操縦をいいます。
後遺障害	治療の効果が医学上期待できない状態であって、被保険者の身体に残された症状が将来において回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。
告知事項	危険に関する重要な事項のうち、保険契約申込書の記載事項とすることによって当社が告知を求めたものをいいます。 <sup>(*)1</sup> (*)1 他の保険契約等に関する事項を含みます。
自動車等	自動車または原動機付自転車をいいます。
死亡保険金額	保険証券記載の死亡保険金額をいいます。
手術	治療を直接の目的として、メス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すことをいいます。
乗用具	自動車等、モーターボート <sup>(*)1</sup> 、ゴーカート、スノーモービルその他これらに類するものをいいます。 (*)1 水上オートバイを含みます。
正課中	授業 <sup>(*)1</sup> を受けている間をいい、次に掲げる間を含みます。 ア. 指導教員の指示に基づき、卒業論文研究または学位論文研究に従事している間。ただし、専ら被保険者の私生活にかかる場所においてこれらに従事している間を除きます。 イ. 指導教員の指示に基づき、授業の準備もしくは後始末を行っている間または授業を行う場所、大学等の図書館、資料室もしくは語学学習施設において研究活動を行っている間 (*)1 講義、実験、実習、演習または実技による授業をいいます。以下同様とします。
大学等	被保険者の在籍する大学または高等専門学校をいいます。
他の保険契約等	この保険契約の全部または一部に対して支払責任が同じである他の保険契約または共済契約をいいます。
治療	医師 <sup>(*)1</sup> が必要であると認め、医師 <sup>(*)1</sup> が行う治療をいいます。 (*)1 被保険者が医師である場合は、被保険者以外の医師をいいます。
治療日数	被保険者が入院または通院した日数をいいます。ただし、被保険者が通院しない場合においても、別表1に掲げる部位にギプス等 <sup>(*)1</sup> を常時装着したときは、その日数について、通院をしたものとみなします。ただし、診断書に別表1に掲げる部位にギプス等 <sup>(*)1</sup> の装着をした旨の医師の証明が記載されており、かつ、診療報酬明細書にギプス等 <sup>(*)1</sup> の装着に関する記載がなされている場合に限り、 (*)1 ギプス・キャスト、ギプスシーネ、ギプスシャーレ、副子・シーネ・スプリント固定、創外固定器、PTBキャスト、PTBブレース <sup>(*)2</sup> 、線副子等およびハローベストをいいます。 (*)2 下腿骨折後に装着したものにつき、骨癒合に至るまでの医師が装着を指示した期間が診断書上明確な場合に限り、
通院	病院もしくは診療所に通い、または往診により、治療を受けることをいいます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。
入院	自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。
被保険者	保険証券記載の被保険者をいいます。
保険期間	保険証券記載の保険期間をいいます。
保険金	死亡保険金、後遺障害保険金または医療保険金をいいます。

## 第2章 補償条項

### 第2条 (保険金を支払う場合)

(1) 当社は、被保険者が日本国内または国外において下表に掲げる間に生じた急激かつ偶然な外来の事故<sup>(\*)1</sup>によってその身体に被った傷害に対して、この約款に従い保険金を支払います。

①	大学等の正課中および学校行事に参加している間
②	①および大学等に届け出た課外活動を行っている間以外で学校施設内にいる間。ただし、大学等が禁じた時間もしくは場所にいる間または大学等が禁じた行為を行っている間を除きます。
③	学校施設内で大学等に届け出た課外活動を行っている間
④	学校施設外で大学等に届け出た課外活動を行っている間

(2) ①の傷害には、下表に掲げるものを含みます。

①	身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に急激に生ずる中毒症状 <sup>(*)2</sup>
②	日射または熱射による身体の障害

(\*)1 以下「事故」といいます。

(\*)2 継続的に吸入、吸収または摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。

### 第3条 (保険金を支払わない場合—その1)

(1) 当社は、下表に掲げる事由によって生じた傷害に対しては、保険金を支払いません。

①	保険契約者または被保険者の故意または重大な過失
②	保険金を受け取るべき者の故意または重大な過失。ただし、その者が死亡保険金の一部の受取人である場合には、保険金を支払わないのはその者が受け取るべき金額に限り、
③	被保険者の自殺行為、犯罪行為または闘争行為
④	被保険者が次のいずれかに該当する間に生じた事故 ア. 法令に定められた運転資格 <sup>(*)1</sup> を持たないで自動車等を運転している間 イ. 道路交通法第65条第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車等を運転している間 ウ. 麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ <sup>(*)2</sup> 、シンナー等 <sup>(*)3</sup> を使用した状態で自動車等を運転している間
⑤	被保険者の脳疾患、疾病または心神喪失
⑥	被保険者の妊娠、出産、早産または流産
⑦	被保険者に対する外科的手術その他の医療処置。ただし、外科的手術その他の医療処置によって生じた傷害が、当社が保険金を支払うべき傷害の治療によるものである場合には、保険金を支払います。
⑧	被保険者に対する刑の執行
⑨	戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動 <sup>(*)4</sup>
⑩	地震、噴火またはこれらによる津波。ただし、被保険者がこれらの自然現象の観測活動に従事している間については、保険金を支払います。
⑪	核燃料物質 <sup>(*)5</sup> もしくは核燃料物質によって汚染された物 <sup>(*)6</sup> の放射性、爆発性その他の有害な特性またはこれらの特性による事故。ただし、被保険者が核燃料物質、核燃料物質によって汚染された物、または、これらを使用する装置を用いて行う研究活動または実験活動に従事している間については、保険金を支払います。
⑫	⑨から⑪までの事由に随伴して生じた事故またはこれらに伴う秩序の混乱に基づいて生じた事故
⑬	⑪以外の放射線照射または放射能汚染。ただし、被保険者が放射線または放射能の発生装置を用いて行う研究活動または実験活動に従事している間については、保険金を支払います。

(2) 当社は、被保険者が頸部症候群<sup>(\*)7</sup>、腰痛その他の症状を訴える場合であっても、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないものに対しては、その症状の原因が何であるかにかかわらず、保険金を支払いません。

(\*)1 運転する地における法令によるものをいいます。

(\*)2 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第2条第15項に定める指定薬物をいいます。

(\*)3 毒物及び劇物取締法第3条の3の規定に基づく政令で定めるものをいいます。

(\*)4 群衆または多数の者の集団の行動によって、全国または一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められる状態をいいます。

(\*)5 使用済燃料を含みます。以下同様とします。

(\*)6 原子核分裂生成物を含みます。以下同様とします。

(\*)7 いわゆる「おちうち症」をいいます。

### 第4条 (保険金を支払わない場合—その2)

(1) 当社は、被保険者が下表のいずれかに該当する間に生じた事故によって被った傷害に対しては、保険金を支払いません。

①	被保険者が別表2に掲げる運動等を行っている間
②	被保険者が次に掲げるいずれかに該当する間 ア. 乗用具を用いて競技等を行っている間。ただし、下記ウ. に該当する場合を除き、自動車等を用いて道路上で競技等を行っている間については、保険金を支払います。 イ. 乗用具を用いて競技等を行うことを目的とする場所において、競技等に準ずる方法または態様により乗用具を使用している間。ただし、下記ウ. に該当する場合を除き、道路上で競技等に準ずる方法または態様により自動車等を使用している間については、保険金を支払います。 ウ. 法令による許可を受けて、一般の通行を制限し、道路を占有した状態で、自動車等を用いて競技等をしている間または競技等に準ずる方法もしくは態様により自動車等を使用している間

(2) ①の規定は、被保険者が第2条 (保険金を支払う場合) (1) の表の①、②または③に掲げる間に被った傷害に対しては適用しません。

### 第5条 (死亡保険金の支払)

(1) 当社は、被保険者が第2条 (保険金を支払う場合) の傷害を被り、その直接の結果として、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合は、死亡保険金額に下表に掲げる割合を乗じた額<sup>(\*)1</sup>を死亡保険金として、死亡保険金受取人に支払います。

①	第2条 (1) の表の①に該当するとき …………… 100%
②	第2条 (1) の表の②、③または④に該当するとき … 50%

(2) 第30条 (死亡保険金受取人の変更) (1) または (2) の規定により被保険者の法定相続人が死亡保険金受取人となる場合で、その者が2名以上あるときは、当社は、法定相続分の割合により死亡保険金を死亡保険金受取人に支払います。

(3) 第30条 (8) の死亡保険金受取人が2名以上である場合は、当社は、均等の割合により死亡保険金を死亡保険金受取人に支払います。  
(\*)1 第6条 (後遺障害保険金の支払) の規定による後遺障害保険金を既に支払った場合は、死亡保険金額に (1) の表に掲げる割合を乗じた額から既に支払った金額を控除した残額とします。

### 第6条 (後遺障害保険金の支払)

(1) 当社は、被保険者が第2条 (保険金を支払う場合) の傷害を被り、その直接の結果として、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合は、次の算式によって算出した額を後遺障害保険金としてその被保険者に支払います。ただし、後遺障害が発生した後、その原因となった事故により、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合には、後遺障害保険金は支払いません。



- 対する通知をもって、この保険契約（\*1）を解除しなければなりません。
- (3) (1)の表の①の事由のある場合は、その被保険者は、当会社に対する通知をもって、この保険契約（\*1）を解除することができます。ただし、健康保険証等、被保険者であることを証する書類の提出があった場合に限りです。
- (4) (3)の規定によりこの保険契約（\*1）が解除された場合は、当会社は、遅滞なく、保険契約者に対し、その事実を書面により通知するものとします。
- （\*1）その被保険者に係る部分に限ります。

#### 第19条（保険契約解除の効力）

保険契約の解除は、将来に向かってのみその効力を生じます。

#### 第20条（保険料の返還または請求一昼夜間部等の変更、休学または退学に関する通知義務等の場合）

- (1) 当会社は、第12条（昼夜間部等の変更、休学または退学に関する通知義務）の通知を受けた場合には、次の算式によって算出した保険料を返還または請求します。
- ① 昼間部、夜間部または通信部の区分の変更の場合において、適用保険料に変更を生じたときは、次の算式によって算出した額を返還または請求します。ただし、学年度の途中において昼間部、夜間部または通信部の区分を変更した場合には、その学年度にかかる差額保険料については、返還または請求は行いません。

$$\left[ \begin{array}{c} \text{既収保険料} \\ - \\ \text{既経過学年度の期間に対応する旧適用保険料} \end{array} \right] - \left[ \begin{array}{c} \text{現保険期間に対応する新適用保険料} \\ - \\ \text{既経過学年度の期間に対応する新適用保険料} \end{array} \right] = \text{返還または請求(負の場合)する保険料}$$

- ② 退学の場合には、次の算式によって算出した額を返還します。ただし、学年度の途中において退学した場合には、その学年度にかかる差額保険料については、返還は行いません。

$$\text{既収保険料} - \text{既経過学年度の期間に対応する旧適用保険料} = \text{返還する保険料}$$

- ③ 休学の場合において、保険期間中の休学期間が通算して1年以上となる場合は、次の算式によって算出した額を返還します。この場合、通算休学期間は、その期間に端日数があるときは、これを切り捨て年単位としたものを用います。

$$\text{既収保険料} - \text{保険期間から通算休学期間を差し引いた期間に対応する適用保険料} = \text{返還する保険料}$$

- (2) のほか、保険契約締結の後、保険契約者が書面をもって保険契約の条件の変更を当会社に通知し、承認の請求を行い、当会社がこれを承認する場合において、保険料を変更する必要があるときは、当会社は、変更前の保険料と変更後の保険料との差に基づき計算した、未經過期間に対する保険料を返還または請求します。
- (3) (2)の規定により、追加保険料を請求する場合において、当会社の請求に対して、保険契約者がその支払を怠ったときは、当会社は、追加保険料領収前に生じた事故による傷害に対しては、保険契約条件の変更の承認の請求がなかったものとして、この保険契約に適用される普通保険約款および特約に従い、保険金を支払います。

#### 第21条（保険料の返還—無効の場合）

- (1) 第13条（保険契約の無効）(1)の規定により、保険契約の全部が無効となる場合には、当会社は、当会社がこれを知った日の属する学年度に対する保険料については返還しないものとし、その後の年度に対する保険料についてはその全額を返還します。
- (2) 第13条（2）の表の①の規定により、保険契約のその被保険者部分が無効となる場合には、当会社は、当会社がこれを知った日の属する学年度に対するその被保険者にかかる保険料については返還しないものとし、その後の年度に対するその被保険者にかかる保険料についてはその全額を返還します。
- (3) 第13条（2）の表の②の規定により、保険契約のその被保険者部分が無効となる場合には、当会社は、その被保険者にかかる保険料の全額を返還します。

#### 第22条（保険料の返還—失効または解除の場合）

- (1) 保険契約の全部が失効となった場合は、当会社は、失効のあった日の属する学年度に対する保険料については返還しないものとし、その後の年度に対する保険料についてはその全額を返還します。
- (2) 保険契約の全部が解除となった場合は、当会社は、その解除があった日の属する学年度に対する保険料については返還しないものとし、その後の年度に対する保険料についてはその全額を返還します。
- (3) 保険契約の一部が失効または解除となった場合は、その被保険者にかかる保険料について(1)または(2)の規定を準用します。

#### 第23条（保険料の返還—取消しの場合）

- (1) 第15条（保険契約の取消し）(1)の規定により、当会社が保険契約の全部を取り消した場合には、当会社は、取消しがあった日の属する学年度に対する保険料については返還しないものとし、その後の年度に対する保険料についてはその全額を返還します。
- (2) 第15条（2）の規定により、当会社が保険契約のその被保険者部分を取り消した場合には、当会社は、取消しがあった日の属する学年度に対するその被保険者にかかる保険料については返還しないものとし、その後の年度に対するその被保険者にかかる保険料についてはその全額を返還します。

#### 第24条（事故の通知）

- (1) 被保険者が第2条（保険金を支払う場合）の傷害を被った場合は、保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者は、その原因となった事故の発生の日からその日を含めて30日以内に事故発生の状況および傷害の程度を当会社に通知しなければなりません。この場合において、当会社が書面による通知もしくは説明を求めたときまたは被保険者の診断書もしくは死体検案書の提出を求めたときは、これに応じなければなりません。
- (2) 被保険者が搭乗している航空機または船舶が行方不明となった場合または遭難した場合は、保険契約者または保険金を受け取るべき者は、その航空機または船舶が行方不明となった日または遭難した日からその日を含めて30日以内に行方不明または遭難発生の状況を当会社に書面により通知しなければなりません。
- (3) 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者が、正当な理由がなく(1)もしくは(2)の規定に違反した場合は、またはその通知もしくは説明について知っている事実を告げなかった場合もしくは事実と異なることを告げた場合は、当会社は、それによって当

会社が被った損害の額を差し引いて保険金を支払います。

#### 第25条（保険金の請求）

- (1) 当会社に対する保険金請求権は、下表の時から、それぞれ発生し、これを行使用することができるものとします。

①	死亡保険金については、被保険者が死亡した時
②	後遺障害保険金については、被保険者に後遺障害が生じた時または事故の発生の日からその日を含めて180日を経過した時のいずれか早い時
③	医療保険金については、被保険者が被った第2条（保険金を支払う場合）の傷害の治療を目的とした入院または通院が終了した時、または治療日数が270日以上となった時のいずれか早い時

- (2) 被保険者または保険金を受け取るべき者が保険金の支払を請求する場合は、保険金請求書に下表の書類を添えて当会社に提出しなければなりません。

##### ①死亡保険金請求の場合

ア.	当会社の定める傷害状況報告書
イ.	公の機関（やむを得ない場合には、第三者）の事故証明書
ウ.	死亡保険金受取人（死亡保険金受取人を定めなかった場合は、被保険者の法定相続人）の印鑑証明書
エ.	死亡診断書または死体検案書
オ.	被保険者の戸籍謄本
カ.	死亡保険金受取人を定めなかった場合は、法定相続人の戸籍謄本
キ.	その他当会社が第26条（保険金の支払時期）(1)に定める必要な事項の確認を行うために欠くことのできない書類または証拠として保険契約締結の際に当会社が交付する書面等において定めたもの

##### ②後遺障害保険金請求の場合

ア.	当会社の定める傷害状況報告書
イ.	公の機関（やむを得ない場合には、第三者）の事故証明書
ウ.	被保険者の印鑑証明書
エ.	後遺障害の程度を証明する被保険者以外の医師の診断書
オ.	その他当会社が第26条（1）に定める必要な事項の確認を行うために欠くことのできない書類または証拠として保険契約締結の際に当会社が交付する書面等において定めたもの

##### ③医療保険金請求の場合

ア.	当会社の定める傷害状況報告書
イ.	公の機関（やむを得ない場合には、第三者）の事故証明書
ウ.	被保険者の印鑑証明書
エ.	傷害の程度を証明する被保険者以外の医師の診断書
オ.	入院日数または通院日数を記載した病院または診療所の証明書類
カ.	その他当会社が第26条（1）に定める必要な事項の確認を行うために欠くことのできない書類または証拠として保険契約締結の際に当会社が交付する書面等において定めたもの

- (3) 被保険者に保険金を請求できない事情がある場合で、かつ、保険金の支払を受けるべき被保険者の代理人がいなるときは、下表に掲げる者のいずれかがその事情を示す書類をもってその事実を当会社に申し出て、当会社の承認を得たうえで、被保険者の代理人として保険金を請求することができます。

①	被保険者と同居または生計を共にする配偶者（*1）
②	①に規定する者がいない場合または①に規定する者に保険金を請求できない事情がある場合には、被保険者と同居または生計を共にする3親等内の親族
③	①および②に規定する者がいない場合または①および②に規定する者に保険金を請求できない事情がある場合には、①以外の配偶者（*1）または②以外の3親等内の親族

- (4) (3)の規定による被保険者の代理人からの保険金の請求に対して、当会社が保険金を支払った後に、重複して保険金の請求を受けたとしても、当会社は、保険金を支払いません。
- (5) 被保険者または保険金を受け取るべき者が、保険金の請求を第三者に委任する場合には、(2)の書類のほか、委任を証する書類および委任を受けた者の印鑑証明書を提出しなければなりません。
- (6) 当会社は、事故の内容または傷害の程度等に応じ、保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者に対して、(2)または(5)に掲げるもの以外の書類もしくは証拠の提出または当会社が行う調査への協力を求めることがあります。この場合には、当会社が求めた書類または証拠を速やかに提出し、必要な協力をしなければなりません。
- (7) 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者が、正当な理由がなく(6)の規定に違反した場合は(2)、(3)、(5)もしくは(6)の書類に事実と異なる記載をし、もしくはその書類もしくは証拠を偽造もしくは変造した場合は、当会社は、それによって当会社が被った損害の額を差し引いて保険金を支払います。
- （\*1）法律上の配偶者に限ります。

#### 第26条（保険金の支払時期）

- (1) 当会社は、請求完了日（\*1）からその日を含めて30日以内に、当会社が保険金を支払うために必要な下表の事項の確認を終え、保険金を支払います。

①	保険金の支払事由発生の有無の確認に必要な事項として、事故の原因、事故発生の状況、傷害発生の有無および被保険者に該当する事実
②	保険金が支払われない事由の有無の確認に必要な事項として、保険金が支払われない事由としてこの保険契約において定める事由に該当する事実の有無
③	保険金を算出するための確認に必要な事項として、傷害の程度、事故と傷害との関係、治療の経過および内容
④	保険契約の効力の有無の確認に必要な事項として、この保険契約において定める解除、無効、失効または取消しの事由に該当する事実の有無

- (2) (1)の確認をするため、下表に掲げる特別な照会または調査が不可欠な場合には、(1)の規定にかかわらず、当会社は、請求完了日（\*1）からその日を含めて下表に掲げる日数（\*2）を経過する日までに、保険

金を支払います。この場合において、当社は、確認が必要な事項およびその確認を終えるべき時期を被保険者または保険金を受け取るべき者に対して通知するものとします。

①	(1) の表の①から④までの事項を確認するための、警察、検察、消防その他の公の機関による捜査結果または調査結果の照会 180日
②	(1) の表の①から④までの事項を確認するための、医療機関、検査機関その他の専門機関による診断、鑑定等の結果の照会 90日
③	(1) の表の③の事項のうち、後遺障害の内容およびその程度を確認するための、医療機関による診断、後遺障害の認定に係る専門機関による審査等の結果の照会 120日
④	災害救助法が適用された災害の被災地域における (1) の表の①から④までの事項の確認のための調査 60日
⑤	(1) の表の①から④までの事項の確認を日本国内において行うための代替的な手段がない場合の日本国外における調査 180日

(3) (1) および (2) に掲げる必要な事項の確認に際し、保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者が正当な理由なくその確認を妨げ、またはこれに応じなかった場合<sup>(※4)</sup>には、これにより確認が遅延した期間については、(1) または (2) の期間に算入しないものとします。

(4) (1) または (2) の規定による保険金の支払は、保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者と当社があらかじめ合意した場合を除いては、日本国内において、日本国通貨をもって行うものとします。

- (※1) 被保険者または保険金を受け取るべき者が第25条（保険金の請求）(2)、(3) および (5) の規定による手続を完了した日とします。
- (※2) 複数に該当する場合は、そのうち最長の日数とします。
- (※3) 弁護士法に基づく照会その他法令に基づく照会を含みます。
- (※4) 必要な協力を行わなかった場合を含みます。

#### 第27条（当社の指定する医師が作成した診断書等の要求）

(1) 当社は、第24条（事故の通知）の規定による通知または第25条（保険金の請求）の規定による請求を受けた場合は、傷害の程度の認定その他保険金の支払にあたり必要な限度において、保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき者に対し当社の指定する医師が作成した被保険者の診断書または死体検案書の提出を求めることができます。

(2) (1) の規定による診断または死体の検案<sup>(※1)</sup>のために必要とした費用<sup>(※2)</sup>は、当社が負担します。  
(※1) 死体については、死亡の事実を医学的に確認することをいいます。  
(※2) 収入の喪失を含みません。

#### 第28条（時効）

保険金請求権は、第25条（保険金の請求）(1) に規定する時の翌日から起算して3年を経過した場合は、時効によって消滅します。

#### 第29条（代位）

当社が保険金を支払った場合であっても、被保険者またはその法定相続人がその傷害について第三者に対して有する損害賠償請求権は、当社に移転しません。

#### 第30条（死亡保険金受取人の変更）

- (1) 保険契約締結の際、保険契約者が死亡保険金受取人を定めなかった場合は、被保険者の法定相続人を死亡保険金受取人とします。
- (2) 保険契約締結の後、被保険者が死亡するまでは、保険契約者は、死亡保険金受取人を変更することができます。
- (3) (2) の規定による死亡保険金受取人の変更を行う場合には、保険契約者は、その事実を当社に通知しなければなりません。
- (4) (3) の規定による通知が当社に到達した場合には、死亡保険金受取人の変更は、保険契約者がその通知を発した時にその効力を生じたものとします。ただし、その通知が当社に到達する前に当社が変更前の死亡保険金受取人に保険金を支払った場合は、その後に保険金の請求を受けても、当社は、保険金を支払いません。
- (5) 保険契約者は、(2) の死亡保険金受取人の変更を、法律上有効な遺言によって行うことができます。
- (6) (5) の規定による死亡保険金受取人の変更を行う場合には、遺言が効力を生じた後、保険契約者の法定相続人がその事実を当社に通知しなければ、その変更を当社に對抗することができません。なお、その通知が当社に到達する前に当社が変更前の死亡保険金受取人に保険金を支払った場合は、その後に保険金の請求を受けても、当社は、保険金を支払いません。
- (7) (2) および (5) の規定により、死亡保険金受取人を被保険者の法定相続人以外の者に変更する場合は、被保険者の同意がなければその効力は生じません。
- (8) 死亡保険金受取人が被保険者が死亡する前に死亡した場合は、その死亡した死亡保険金受取人の死亡時の法定相続人<sup>(※1)</sup>を死亡保険金受取人とします。
- (9) 保険契約者は、死亡保険金以外の保険金について、その受取人を被保険者以外の者に定め、または変更することはできません。  
(※1) 法定相続人のうち死亡している者がある場合は、その者については、順次の法定相続人とします。

#### 第31条（死亡保険金受取人が複数の場合の取扱い）

- (1) この保険契約について、死亡保険金受取人が2名以上である場合は、当社は、代表者1名を定めることができます。この場合において、代表者は他の死亡保険金受取人を代理するものとします。
- (2) (1) の代表者が定まらない場合またはその所在が明らかでない場合は、死亡保険金受取人の中の1名に対して行う当社社の行為は、他の死亡保険金受取人に対しても効力を有するものとします。

#### 第32条（訴訟の提起）

この保険契約に関する訴訟については、日本国内における裁判所に提起するものとします。

#### 第33条（準拠法）

この約款に規定のない事項については、日本国の法令に準拠します。

#### 別表1 ギプス等の常時装着により通院をしたものとみなす部位

1. 長管骨<sup>(※1)</sup>または脊柱
2. 長管骨<sup>(※1)</sup>に接続する上肢または下肢の三大関節部分<sup>(※2)</sup>
3. 肋骨または胸骨<sup>(※3)</sup>
4. 顎骨または顎関節<sup>(※4)</sup>
  - (※1) 長管骨とは、上腕骨、橈骨、尺骨、大腿骨、脛骨および腓骨をいいます。
  - (※2) 三大関節部分とは、肩関節、肘関節、手関節、股関節、膝関節および足関節をいいます。
  - (※3) 体幹部を固定した場合に限ります。
  - (※4) 線副子等で上下顎を一体的に固定した場合に限ります。

#### 別表2 第4条（保険金を支払わない場合—その2）(1) の表の①の運動等

- 山岳登山<sup>(※1)</sup>、リュージュ、ボブスレー、スケルトン、航空機<sup>(※2)</sup>操縦<sup>(※3)</sup>、スカイダイビング、ハングライダー搭乗、超軽量動力機<sup>(※4)</sup>搭乗、ジャイロプレーン搭乗その他これらに類する危険な運動  
(※1) ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するものをいいます。  
(※2) グライダーおよび飛行船を除きます。  
(※3) 職務として操縦する場合を除きます。  
(※4) モーターハングライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等をいい、パラシュート型超軽量動力機<sup>(※5)</sup>を除きます。  
(※5) パラプレーン等をいいます。

#### 別表3 後遺障害等級表

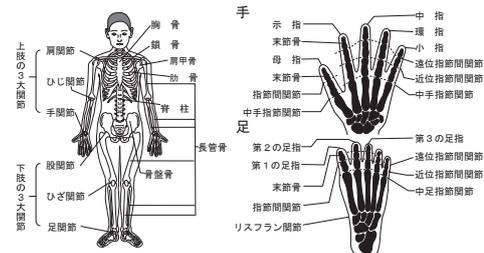
等級	後遺障害	保険金支払割合
第1級	(1) 両眼が失明したもの (2) 咀嚼および言語の機能を廃したもの (3) 神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を必要とするもの (4) 胸腹部臓器の機能に著しい障害を残し、常に介護を必要とするもの (5) 両上肢をひじ関節以上で失ったもの (6) 両上肢の用を全廃したもの (7) 両下肢をひざ関節以上で失ったもの (8) 両下肢の用を全廃したもの	150%
第2級	(1) 1眼が失明し、他眼の矯正視力（視力の測定は万国式試視力表によるものとします。以下同様とします。）が0.02以下になったもの (2) 両眼の矯正視力が0.02以下になったもの (3) 神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、随時介護を必要とするもの (4) 胸腹部臓器の機能に著しい障害を残し、随時介護を必要とするもの (5) 両上肢を手関節以上で失ったもの (6) 両下肢を足関節以上で失ったもの	133.5%
第3級	(1) 1眼が失明し、他眼の矯正視力が0.06以下になったもの (2) 咀嚼または言語の機能を廃したもの (3) 神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、終身労務に服することができないもの (4) 胸腹部臓器の機能に著しい障害を残し、終身労務に服することができないもの (5) 両手の手指の全部を失ったもの（手指を失ったものとは、母指は指節間関節、その他の手指は近位指節間関節以上を失ったものをいいます。以下同様とします。）	117%
第4級	(1) 両眼の矯正視力が0.06以下になったもの (2) 咀嚼および言語の機能に著しい障害を残すもの (3) 両耳の聴力を全く失ったもの (4) 1上肢をひじ関節以上で失ったもの (5) 1下肢をひざ関節以上で失ったもの (6) 両手の手指の全部の用を廃したもの（手指の用を廃したものと、手指の末節骨の半分以上を失い、または中手指節間関節もしくは近位指節間関節（母指にあっては指節間関節）に著しい運動障害を残すものをいいます。以下同様とします。） (7) 両足をリスフラン関節以上で失ったもの	103.5%
第5級	(1) 1眼が失明し、他眼の矯正視力が0.1以下になったもの (2) 神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、特に軽易な労務以外の労務に服することができないもの (3) 胸腹部臓器の機能に著しい障害を残し、特に軽易な労務以外の労務に服することができないもの (4) 1上肢を手関節以上で失ったもの (5) 1下肢を足関節以上で失ったもの (6) 1上肢の用を全廃したもの (7) 1下肢の用を全廃したもの (8) 両足の足指の全部を失ったもの（足指を失ったものとは、その全部を失ったものをいいます。以下同様とします。）	88.5%
第6級	(1) 両眼の矯正視力が0.1以下になったもの (2) 咀嚼または言語の機能に著しい障害を残すもの (3) 両耳の聴力が耳に接しなければ大声を解することができない程度になったもの (4) 1耳の聴力を全く失い、他耳の聴力が40cm以上の距離では普通の話し声を解することができない程度になったもの (5) 脊柱に著しい変形または運動障害を残すもの (6) 1上肢の3大関節中の2関節の用を廃したもの (7) 1下肢の3大関節中の2関節の用を廃したもの (8) 1手の5の手指または母指を含み4の手指を失ったもの	75%

等級	後遺障害	保険金 支払割合
第7級	(1) 1眼が失明し、他眼の矯正視力が0.6以下になったもの (2) 両耳の聴力が40cm以上の距離では普通の話声を解することができない程度になったもの (3) 1耳の聴力を全く失い、他耳の聴力が1m以上の距離では普通の話声を解することができない程度になったもの (4) 神経系統の機能または精神に障害を残し、軽易な労務以外の労務に服することができないもの (5) 胸腹部臓器の機能に障害を残し、軽易な労務以外の労務に服することができないもの (6) 1手の母指を含み3の手指または母指以外の4の手指を失ったもの (7) 1手の5の手指または母指を含み4の手指の用を廃したもの (8) 1足をリスフラン関節以上で失ったもの (9) 1上肢に偽関節を残し、著しい運動障害を残すもの (10) 1下肢に偽関節を残し、著しい運動障害を残すもの (11) 両足の足指の全部の用を廃したものと、第1の足指は末節骨の半分以上、その他の足指は遠位指節間関節以上を失ったものまたは中足指節間関節もしくは近位指節間関節（第1の足指にあっては指節間関節）に著しい運動障害を残すものをいいます。以下同様とします。） (12) 外貌に著しい醜状を残すもの (13) 両側の睾丸を失ったもの	63%
第8級	(1) 1眼が失明し、または1眼の矯正視力が0.02以下になったもの (2) 脊柱に運動障害を残すもの (3) 1手の母指を含み2の手指または母指以外の3の手指を失ったもの (4) 1手の母指を含み3の手指または母指以外の4の手指の用を廃したもの (5) 1下肢を5cm以上短縮したもの (6) 1上肢の3大関節中の1関節の用を廃したものの (7) 1下肢の3大関節中の1関節の用を廃したものの (8) 1上肢に偽関節を残すもの (9) 1下肢に偽関節を残すもの (10) 1足の足指の全部を失ったもの	51%
第9級	(1) 両眼の矯正視力が0.6以下になったもの (2) 1眼の矯正視力が0.06以下になったもの (3) 両眼に半盲症、視野狭窄または視野変状を残すもの (4) 両眼のまぶたに著しい欠損を残すもの (5) 鼻を欠損し、その機能に著しい障害を残すもの (6) 咀嚼くおよび言語の機能に障害を残すもの (7) 両耳の聴力が1m以上の距離では普通の話声を解することができない程度になったもの (8) 1耳の聴力が耳に接しなければ大声を解することができない程度になり、他耳の聴力が1m以上の距離では普通の話声を解することが困難である程度になったもの (9) 1耳の聴力を全く失ったもの (10) 神経系統の機能または精神に障害を残し、服することができる労務が相当な程度に制限されるもの (11) 胸腹部臓器の機能に障害を残し、服することができる労務が相当な程度に制限されるもの (12) 1手の母指または母指以外の2の手指を失ったもの (13) 1手の母指を含み2の手指または母指以外の3の手指の用を廃したもの (14) 1足の第1の足指を含み2以上の足指を失ったもの (15) 1足の足指の全部の用を廃したもの (16) 外貌に相当程度の醜状を残すもの (17) 生殖器に著しい障害を残すもの	39%
第10級	(1) 1眼の矯正視力が0.1以下になったもの (2) 正面視で複視を残すもの (3) 咀嚼くまたは言語の機能に障害を残すもの (4) 14歯以上に対し歯科補綴を加えたもの (5) 両耳の聴力が1m以上の距離では普通の話声を解することが困難である程度になったもの (6) 1耳の聴力が耳に接しなければ大声を解することができない程度になったもの (7) 1手の母指または母指以外の2の手指の用を廃したもの (8) 1下肢を3cm以上短縮したもの (9) 1足の第1の足指または他の4の足指を失ったもの (10) 1上肢の3大関節中の1関節の機能に著しい障害を残すもの (11) 1下肢の3大関節中の1関節の機能に著しい障害を残すもの	30%

等級	後遺障害	保険金 支払割合
第11級	(1) 両眼の眼球に著しい調節機能障害または運動障害を残すもの (2) 両眼のまぶたに著しい運動障害を残すもの (3) 1眼のまぶたに著しい欠損を残すもの (4) 10歯以上に対し歯科補綴を加えたもの (5) 両耳の聴力が1m以上の距離では小声を解することができない程度になったもの (6) 1耳の聴力が40cm以上の距離では普通の話声を解することができない程度になったもの (7) 脊柱に変形を残すもの (8) 1手の示指、中指または環指を失ったもの (9) 1足の第1の足指を含み2以上の足指の用を廃したもの (10) 胸腹部臓器の機能に障害を残し、労務の遂行に相当な程度の支障があるもの	22.5%
第12級	(1) 1眼の眼球に著しい調節機能障害または運動障害を残すもの (2) 1眼のまぶたに著しい運動障害を残すもの (3) 7歯以上に対し歯科補綴を加えたもの (4) 1耳の耳殻の大部分を欠損したもの (5) 鎖骨、胸骨、肋骨、肩甲骨または骨盤骨に著しい変形を残すもの (6) 1上肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残すもの (7) 1下肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残すもの (8) 長管骨に変形を残すもの (9) 1手の小指を失ったもの (10) 1手の示指、中指または環指の用を廃したものの (11) 1足の第2の足指を失ったもの、第2の足指を含み2の足指を失ったものまたは第3の足指以下の3の足指を失ったもの (12) 1足の第1の足指または他の4の足指の用を廃したもの (13) 局部に頑固な神経症状を残すもの (14) 外貌に醜状を残すもの	15%
第13級	(1) 1眼の矯正視力が0.6以下になったもの (2) 1眼に半盲症、視野狭窄または視野変状を残すもの (3) 正面視以外で複視を残すもの (4) 両眼のまぶたの一部に欠損を残しまたはまぶたはげを残すもの (5) 5歯以上に対し歯科補綴を加えたもの (6) 胸腹部臓器の機能に障害を残すもの (7) 1手の小指の用を廃したものの (8) 1手の母指の指骨の一部を失ったもの (9) 1下肢を1cm以上短縮したもの (10) 1足の第3の足指以下の1または2の足指を失ったもの (11) 1足の第2の足指の用を廃したものと、第2の足指を含み2の足指の用を廃したものとまたは第3の足指以下の3の足指の用を廃したもの	10.5%
第14級	(1) 1眼のまぶたの一部に欠損を残し、またはまぶたはげを残すもの (2) 3歯以上に対し歯科補綴を加えたもの (3) 1耳の聴力が1m以上の距離では小声を解することができない程度になったもの (4) 上肢の露出面に手のひらの大きさの醜いあとを残すもの (5) 下肢の露出面に手のひらの大きさの醜いあとを残すもの (6) 1手の母指以外の手指の指骨の一部を失ったもの (7) 1手の母指以外の手指の遠位指節間関節を屈伸することができなくなったもの (8) 1足の第3の足指以下の1または2の足指の用を廃したもの (9) 局部に神経症状を残すもの	6%

注1 上肢、下肢、手指および足指の障害の規定中「以上」とはその関節より心臓に近い部分をいいます。

注2 関節等の説明図



(ご注意) 通学中又は学校施設等相互間の移動中の事故については、学研災普通保険及び本特約に加入の場合に限り保険金のお支払い対象となります。

## IV. 通学中等傷害危険担保特約

### 第1条 (保険金を支払う場合)

- (1) 当社は、この特約により、普通約款(\*1)第2条(保険金を支払う場合)の規定にかかわらず、被保険者が大学等の授業等、学校行事または課外活動への参加の目的を持って、合理的な経路および方法(\*2)により、被保険者の住居(\*3)と学校施設等との間を往復する間または学校施設等相互間を移動する間に生じた事故によってその身体に被った傷害に対しても、保険金(\*4)を支払います。
- (2) (1)の往復する間または移動する間に経路を逸脱または往復もしくは移動を中断した場合には、その逸脱または中断の間およびその後は(1)の往復する間または移動する間に含まれません。ただし、その逸脱または中断が授業等、学校行事もしくは課外活動に必要な物品の購入その他これに準ずる行為を行うためのものである場合または日常生活上必要な行為をやむを得ない事由により行うための最小限度のものである場合には、その逸脱または中断の間を除き、その後は(1)の往復する間または移動する間に含まれます。
- (\*1) 学生教育研究災害傷害保険普通保険約款をいいます。以下この特約において同様とします。
- (\*2) 大学等が禁じた方法を除きます。
- (\*3) 社会人入試を経て大学等に入学した学生が大学等に通う場合は、勤務先を含みます。
- (\*4) 死亡保険金、後遺障害保険金および医療保険金をいいます。以下この特約において同様とします。

### 第2条 (用語の定義)

この特約において、下表の用語の意味は、それぞれ次の定義によります。

用語	定義
① 授業等	授業および次に掲げるものをいいます。 ア. 指導教員の指示に基づく卒業論文研究または学位論文研究。ただし、専ら被保険者の私生活にかかる場所において従事するものを除きます。 イ. 指導教員の指示に基づく授業の準備もしくは後始末または授業を行う場所、大学等の図書館、資料室もしくは語学学習施設における研究。
② 学校施設等	大学等が教育活動のために所有、使用または管理している施設のほか、授業等、学校行事または課外活動の行われる場所をいいます。
③ 日常生活上必要な行為	次に掲げるものをいいます。 ア. 日用品の購入その他これに準ずる行為 イ. 選挙権の行使その他これに準ずる行為 ウ. 病院または診療所において診察または治療を受けることその他これに準ずる行為
④ 社会人入試	一般の入学志願者と異なる方法により判定する入試方法のうち、社会人特別選抜入試等の社会人を対象とする入試をいいます。

### 第3条 (保険金の支払)

当社は、被保険者が第1条(保険金を支払う場合)の傷害を被り、保険金が支払われる場合には、その事故が普通約款第2条(保険金を支払う場合)(1)の表の②に該当したとして普通約款第5条(死亡保険金の支払)、第6条(後遺障害保険金の支払)および第7条(医療保険金の支払)の規定に基づき、算出した額を支払います。

### 第4条 (保険金の請求)

被保険者または保険金を受け取るべき者が第1条(保険金を支払う場合)に定める保険金の支払を請求する場合は、普通約款第25条(保険金の請求)(2)に規定する書類のほか大学等の事故証明書を当会社に提出しなければなりません。

### 第5条 (準用規定)

この特約に定めのない事項については、この特約の趣旨に反しない限り、普通約款の規定を準用します。

(ご注意) 接触感染による感染症予防措置を受けた場合については、学研災普通保険及び本特約に加入の場合に限り接触感染予防保険金のお支払い対象となります。

## V. 接触感染予防保険金支払特約

### 第1条 (保険金を支払う場合)

当社は、被保険者が普通約款(\*1)第2条(保険金を支払う場合)の傷害を被り、その直接の結果として接触感染をし、かつ、事故(\*2)の発生の日からその日を含めて180日以内にその接触感染に対する感染症予防措置を受けた場合は、この特約および普通約款の規定に従い、下表の額を接触感染予防保険金としてその被保険者に支払います。ただし、1事故に基づく傷害については、接触感染予防保険金の支払は1回に限りです。

接触感染予防保険金の額	15,000円
-------------	---------

- (\*1) 学生教育研究災害傷害保険普通保険約款をいいます。以下この特約において同様とします。
- (\*2) 普通約款第2条の傷害の原因となった事故をいいます。以下この特約において同様とします。

### 第2条 (用語の定義)

この特約において、下表の用語の意味は、それぞれ次の定義に従うものとします。

用語	定義
① 接触感染	臨床実習の目的で使用される施設内で、被保険者が直接間接を問わず、感染症(*1)の病原体に予期せず接触(*2)することをいいます。
② 臨床実習	病院等(*3)で行う実習をいいます。

③ 感染症予防措置	感染症の病原体への感染または感染症の発症を予防することを目的として行う検査、投薬等をいいます。ただし、医師等の指示または指導に基づくものに限りです。
-----------	--

- (\*1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第1項の感染症をいいます。以下この特約において同様とします。
- (\*2) 接触のおそれのある場合を含みます。
- (\*3) 病院または診療所等をいいます。以下この特約において同様とします。

### 第3条 (保険金の請求)

- (1) 当会社に対する保険金請求権は、感染症予防措置を受けた時から発生し、これを行行使うことができるものとします。
- (2) 被保険者が接触感染予防保険金の支払を請求する場合には、(3)に掲げる書類のうち当会社が求めるものを提出しなければなりません。
- (3) 当会社に提出する書類は、下表のとおりとします。

①	当会社の定める保険金請求書
②	当会社の定める事故報告書
③	事故の発生した病院等の事故証明書
④	事故の発生の日からその日を含めて180日以内に感染症予防措置を実施したことを証明する医師の証明書
⑤	被保険者の印鑑証明書
⑥	当会社が被保険者の感染症予防措置の内容等について病院等または医師に照会し説明を求めることについての同意書
⑦	接触感染予防保険金の請求を第三者に委任する場合には、委任を証する書類および委任を受けた者の印鑑証明書
⑧	その他当会社が普通約款第26条(保険金の支払時期)(1)に定める必要な確認を行うために欠くことのできない書類または証拠として保険契約締結の際に当会社が交付する書面等において定められたもの

### 第4条 (普通約款の読み替え)

この特約については、普通約款を下表のとおり読み替えて適用します。

	箇所	読み替え前	読み替え後
①	第24条(事故の通知)(1)	事故発生状況および傷害の程度	事故発生状況、感染症予防措置の内容および経過等の詳細
②	第26条(保険金の支払時期)(1)の表の①	傷害発生の有無	感染症予防措置の発生の有無
③	第26条(1)の表の③	傷害の程度、事故と傷害との関係	事故と感染症予防措置の関係
④	第28条(時効)	第25条(保険金の請求)(1)	この特約第3条(保険金の請求)(1)

### 第5条 (準用規定)

この特約に定めのない事項については、この特約の趣旨に反しないかぎり、普通約款の規定を準用します。

## VI. 共同保険に関する特約

### 第1条 (独立責任)

この保険契約は、保険証券記載の保険会社による共同保険契約であって、保険証券記載の保険会社は、保険証券記載のそれぞれの保険金額または引割合に応じて、連帯することなく単独別個に、保険契約上の権利を有し、義務を負います。

### 第2条 (幹事保険会社の行う事項)

保険契約者が保険契約の締結に際しこの保険契約の幹事保険会社として指名した保険会社は、保険証券記載の全ての保険会社のために下表に掲げる事項を行います。

①	保険契約申込書の受領ならびに保険証券等の発行および交付
②	保険料の収納および受領または返戻
③	保険契約の内容の変更の承認または保険契約の解除
④	保険契約上の規定に基づく告知または通知に係る書類等の受領およびその告知または通知の承認
⑤	保険金請求権等の譲渡の通知に係る書類等の受領およびその譲渡の承認または保険金請求権等の上の質権の設定、譲渡もしくは消滅の通知に係る書類等の受領およびその設定、譲渡もしくは消滅の承認
⑥	保険契約に係る変更手続き完了のお知らせの発行および交付または保険証券に対する裏書等
⑦	保険の対象その他の保険契約に係る事項の調査
⑧	事故発生もしくは損害発生等の通知に係る書類等の受領または保険金請求に関する書類等の受領
⑨	損害の調査、損害の査定、保険金等の支払および保険証券記載の保険会社の権利の保全
⑩	その他①から⑨までの事務または業務に付随する事項

### 第3条 (幹事保険会社の行為の効果)

この保険契約に関し幹事保険会社が行った第2条(幹事保険会社の行う事項)の表に掲げる事項は、保険証券記載の全ての保険会社が行ったものとみなします。

### 第4条 (保険契約者等の行為の効果)

この保険契約に関し保険契約者等が幹事保険会社に対して行った通知その他の行為は、保険証券記載の全ての保険会社に対して行われたものとみなします。

## VII. 学生教育研究災害傷害保険特約書

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「甲」という。)と、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社(以下この4社を「乙」という。)は、学生教育研究災害傷害保険普通保険約款(以下「普通約款」という。)および、通院保険金の支払要件変更に関する特約、通学中等傷害危険担保特約(以下「通学特約」という。)ならびに接触感染予防保険金支払特約(以下「接触感染特約」という。)に基づく保険契約(以下「この保険契約」という。)について、次のとおり特約を締結する。この場合において、乙は、東京海上日動火災保険株式会社を代表

会社として、この特約に基づく保険契約の締結、保険料の領収、保険金の支払、その他この保険契約に関する一切の事務をとり行うこととする。  
 なお、甲および乙は、大学生の教育研究活動中の災害に対する補償制度としての本保険の趣旨にそって、健全に運営していくべく相互に協力することとする。

### 第1章 保険契約引受に関する事項

#### (保険契約者および被保険者)

第1条 保険契約者は甲とし、普通約款第1条にいう被保険者は甲の賛助会員である学校教育法等に定める大学または高等専門学校（以下「会員大学等」という。）に在籍する学生（大学の学部、短期大学の学科、大学院の研究所および高等専門学校の本科ならびに専攻科、別科の学生、留学生、聴講生、研究生、科目等履修生）とする。

#### (担保する事故の範囲)

第2条 普通約款第2条にいう「正課中、学校行事、学校施設、課外活動の範囲」に掲げられている間に急激かつ偶然な外来の事故により身体に傷害を被ったときは、普通約款に従い保険金を支払う。また、通学特約および接触感染特約を付帯する場合には、通学特約第1条および接触感染特約第1条に従い保険金を支払う。

2. 普通約款第1条「正課中」にいう「授業を受けている間」には、次の各号に掲げる間を含む。

- (1) 大学設置基準第28条および大学院設置基準第15条の規定に基づき、他の大学もしくは短期大学の正課を履修している間または高等専門学校設置基準第19条の規定に基づき、他の高等専門学校の正課を履修している間  
 なお、ここにいる「他の大学もしくは短期大学」には外国の大学または短期大学も含む。
- (2) 通信生の場合は面接授業を受けている間

#### (保険金額および保険料)

第3条 普通約款第5条にいうこの保険契約の被保険者1名当たりの死亡保険金額は2,000万円または1,200万円のいずれかとする。

2. この保険契約の被保険者1名当たりの保険料は別紙1に定めることとする。
3. 保険責任期間1年に満たない端日数がある場合の保険料の算出にあたっては、切り上げて1年として取扱うこととする。
4. 保険責任期間の途中で通学特約および接触感染特約を付帯する場合で、未經過期間が1年に満たない端日数がある場合の保険料の算出にあたっては、切り上げて1年として取扱うこととする。

#### (保険料の追徴・返還方法)

第4条 保険料の追徴・返還は、次のとおり行う。

- (1) 乙は、この保険契約の全部あるいは一部が無効、失効または解除となった場合は普通約款第21条、第22条の規定に基づき保険料を返還する。また、被保険者の退学の場合には、普通約款第20条第1項第2号の規定に基づき保険料を返還する。
- (2) 乙は、被保険者の昼間部、夜間部または通信部の区分の変更に伴い適用保険料に変更が生ずる場合には、従前と変更後の昼間部、夜間部または通信部の区分のそれぞれの適用保険料（当該被保険者の保険責任期間に対応するもの）から既経過期間に対応する保険料を差し引いたそれぞれの額の差額を追徴または返還する。
- (3) 乙は、被保険者が保険責任期間中に通算して1年以上の休学をした場合は、保険責任期間から休学期間（1年に満たない端日数がある場合は、切り捨てて取扱う。）を控除した期間を既経過期間とし、第1号に準じ差額を返還する。

### 第2章 支払責任に関する事項

#### (保険責任期間)

第5条 普通約款第11条第1項の規定にかかわらず、この保険契約の保険責任期間は次のとおりとする。

- (1) 4月入学学生
  - イ. 新入学生が4月入学の場合で、入学する年の3月末日までに会員大学等に保険料相当額をそえて本保険契約への加入申込みを行った場合、その者に係る保険責任期間は4月1日午前0時に始まり、所定の卒業年度の3月31日午後12時に終わる。
  - ロ. 前号以外の場合の保険責任期間は、学生が会員大学等に保険料相当額をそえて、本保険契約への加入申込みを行った日の翌日午前0時に始まり、所定の卒業年度の3月31日午後12時に終わる。
- (2) 9月入学学生
  - イ. 新入学生が9月入学の場合で、入学する年の9月末日までに会員大学等に保険料相当額をそえて本保険契約への加入申込みを行った場合、その者に係る保険責任期間は9月1日午前0時に始まり、所定の卒業年度の8月31日午後12時に終わる。
  - ロ. 前号以外の場合の保険責任期間は、学生が会員大学等に保険料相当額をそえて、本保険契約への加入申込みを行った日の翌日午前0時に始まり、所定の卒業年度の8月31日午後12時に終わる。
- (3) 10月入学学生
  - イ. 新入学生が10月入学の場合で、入学する年の9月末日までに会員大学等に保険料相当額をそえて本保険契約への加入申込みを行った場合、その者に係る保険責任期間は10月1日午前0時に始まり、所定の卒業年度の9月30日午後12時に終わる。
  - ロ. 前号以外の場合の保険責任期間は、学生が会員大学等に保険料相当額をそえて、本保険契約への加入申込みを行った日の翌日午前0時に始まり、所定の卒業年度の9月30日午後12時に終わる。
- (4) 教授会等において大学の学部、短期大学の学科、大学院の研究所の学年単位以上の「全員加入」および「保険加入日」が決議され、かつ全学生人数分の保険料分担金を大学が負担する場合には、新規加入の年の保険責任期間は決議された「保険加入日」の午前0時から始まるものとする。ただし、保険責任期間の開始は決議された日時よりさかのぼることではない。
- (5) 前項の場合において、継続加入の年の保険責任期間は、4月1日、9月1日および10月1日の午前0時から始まるものとする。

#### (保険引受割合)

第6条 この保険契約における乙の保険引受割合は別に定めるとおりとする。ただし、乙は各社単独別個に保険契約上の権利を有し義務を負い、連帯はしない。

### 第3章 会員大学等および甲ならびに乙の権利、義務、事務処理に関する事項

#### (保険料相当額の保管責任)

第7条 甲は、会員大学等に対して、乙のために受領した保険料相当額については、これを他の財産とは区分して保管させることとする。

#### (保険料相当額および帳簿・書類の報告)

第8条 乙は、この保険契約に関し特に必要があると認めるときは、甲に対して、その保管している金銭および帳簿・書類の状況等の報告を求めることができる。また、甲は、乙の求めに従い、会員大学等に対して、その保管している金銭および帳簿・書類の状況等を乙に報告させることとする。

#### (加入者名簿の作成および保管)

第9条 甲は、会員大学等に、加入者名簿3部を作成させ、うち1部を会員大学等が保管し、2部を提出させることとする。甲は、この提出を受けた場合には1部を保管の上、1部を乙に送付しなければならない。  
 2. 前項の規定にかかわらず、第5条第3項に定める「全員加入」に該当する場合は、甲は、加入者名簿の保管および乙への送付を省略することができる。ただし、甲は、会員大学等に加入者名簿を備え付け、乙が閲覧を求めたときはいつでもこれに応じさせなければならない。

#### (変更事項の取扱い)

第10条 甲は、次の各号に掲げる場合には、会員大学等に、その旨の証明書を添え文書で通知させることとする。

- (1) 被保険者が、昼間部、夜間部または通信部の区分の変更または退学をする場合
- (2) 被保険者が、保険責任期間中通算して1年以上休学した場合
- (3) 前項の通知は、前項第1号の場合はその都度、同第2号の場合は当該休学期間終了後遅滞なくこれを行わせるものとする。
3. 甲は、会員大学等から前2項に定める通知を受けたときは、その内容を遅滞なく乙に通知しなければならない。

#### (事故の証明)

第11条 甲は被保険者が保険金請求をする際、会員大学等に次の事項を行わせることとする。

- (1) 当該事故が普通約款第2条第1項第1号に該当するときは、当該事故が「正課中および学校行事に参加している間」に生じた事故であることを確認させ、その旨の証明書を交付させることとする。
- (2) 当該事故が普通約款第2条第1項第2号に該当するときは、当該事故が「前号以外で学校施設内」に生じた事故であることを確認させ、その旨の証明書を交付させることとする。
- (3) 当該事故が普通約款第2条第1項第3号に該当するときは、必要に応じ被保険者の所属する学内学生団体（大学の規則に則った所定の手続きにより大学の認められたものであるものをいう。）について当該活動が大学に届けられていることを証明する書類を会員大学等に交付させることとする。
- (4) 被保険者が通学特約を付帯している場合で、かつ当該事故が特約条項第1条第1項に該当するときは、次のとおりとする。
  - イ. 当該事故が住居から学校施設等への往路上で発生した場合は、当該事故発生日時、事故場所、事故発生日の活動予定場所、活動予定内容、その活動の開始予定時刻、通常利用する経路および方法について、会員大学等に証明させることとする。  
 ただし、事故発生日時、事故場所、通常利用する経路および方法については、会員大学等が知り得なかった場合には証明する必要はないこととする。
  - ロ. 当該事故が学校施設から住居への復路上で発生した場合は、当該事故発生日時、事故場所、事故発生日の活動予定場所、活動内容、その活動の終了時刻、活動の行われた学校施設等を離れた時刻、通常利用する経路および方法について、会員大学等に証明させることとする。  
 ただし、事故発生日時、事故場所、活動の行われた学校施設等を離れた時刻、通常利用する経路および方法については、会員大学等が知り得なかった場合には証明する必要はないこととする。
  - ハ. 当該事故が学校施設等の間を移動中に発生した場合は、当該事故発生日時、事故場所、事故発生日の移動先の活動予定場所、その活動の開始予定時刻、移動元の学校施設等を離れた時刻、通常利用する経路および方法について会員大学等に証明させることとする。また移動元の学校施設等において授業等、学校行事または課外活動に参加したと申告のあったものについては、その活動についても活動場所、活動内容および活動終了時刻を証明することとする。  
 ただし、事故発生日時、事故場所、移動元の学校施設等を離れた時刻、通常利用する経路および方法については、会員大学等が知り得なかった場合には証明する必要はないこととする。
- (5) 被保険者が接触感染特約を付帯している場合で、かつ当該事故が接触感染特約第1条に該当するときは、当該事故が臨床実習中に生じた事故であることを、会員大学等に証明させることとする。ただし、会員大学等が知り得なかった場合には証明する必要はないこととする。

#### (加入の通知)

第12条 甲は、毎月末日までに前々月分の加入者について、乙に通知を行うこととする。

2. 前項の通知に遅滞または脱漏があった場合において、甲に故意または重大な過失があったときは、乙は、当該通知の対象となる被保険者の被った傷害に対しては、次の算式により算出した額をもって各被保険者の保険金額とみなす。

$$\boxed{\text{各被保険者の保険金額}} = \boxed{\text{保険証券記載の被保険者1名あたりの保険金額}} \times \frac{\boxed{\text{遅滞または脱漏の生じた通知日以前に実際に行われた通知に基づく保険料の合計額}}}{\boxed{\text{遅滞または脱漏の生じた通知日以前に遅滞および脱漏がなかった場合の保険料の合計額}}}$$

3. 第1項の通知に遅滞または脱漏があったときは、保険期間終了後であっても、甲はこれに対する保険料を支払わなければならない。ただし、前項の規定に基づいて保険金が支払われている場合は、この規定は適用しない。
4. 第2項の規定は、乙が同項の通知の故意もしくは重大な過失による遅滞もしくは脱漏があることを知った時から同項の規定により保険金を支払うことについて甲に対する通知をしないで1か月を経過した場合または遅滞もしくは脱漏の生じた通知日から5年を経過した場合には適用しない。

#### (保険料相当額の受領および送金)

第13条 甲は、会員大学等を通じて、加入を希望する学生より所定の保険料相当額の全額を受領し、加入した月の翌々月末までにそれを乙に送金しなければならない。

#### (保険料相当額の保管責任)

第14条 甲は、乙のために受領した保険料相当額については、これを他の財産とは区分して保管するものとし、甲および会員大学等の保管中に盗難または紛失その他の事故による滅失があったときにおいても、甲は乙に保険料を支払う責めに任ずることとする。

#### (事務取扱費等)

第15条 乙は、甲が指定した事務取扱者に対し、その者が受領した保険料相当額の7%に相当する額の範囲内において、事務取扱費を支払う。  
 2. 乙は、甲が指定した事務取扱者に対して、前項に定める事務取扱費の他は、事務取扱に関する諸費用その他名目の如何にかかわらず、一切支払わない。また、会員大学等に対しても一切の費用負担は行わない。

#### (損害の賠償)

- 第16条 甲および会員大学等が、この保険契約に違反して乙に損害を与えたときは、乙は甲にその損害の賠償を請求することができる。
2. 乙がこの保険契約に違反して甲に損害を与えたときは、甲は乙にその損害の賠償を請求することができる。

#### (保険金支払いに関する協議)

- 第17条 甲は、乙と被保険者との間で保険金支払いに関し意見の相違が生じた場合には、協議の上、両者の意見の調整を行うこととする。

#### 第4章 特約の期間に関する事項

#### (特約の期限、解除)

- 第18条 この特約の有効期間は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までとする。ただし、期間満了の1か月前までに甲、乙いずれか一方からもしくは双方より書面をもって解除の意思表示がなされな

い限り、この特約は更に1か年間延長され、以後毎年これに準ずることとする。

2. 甲または乙は、30日前に文書により予告してこの特約の全部または一部を改正もしくは解除することができる。
3. 前項の規定によりこの特約が解除された場合においても、すでに成立している保険契約は、その保険期間満了のときまで有効に存続する。
4. 前2項の規定によりこの特約が解除された場合は、甲は乙に対する未納保険料がある場合には遅滞なくこれを精算しなければならない。

#### (準用規定)

- 第19条 この特約に定めのない事項については、普通約款、特約条項および日本国の法令の定めるところによる。

## Ⅷ. 重要事項説明書

### 契約概要・注意喚起情報のご説明

- ・契約概要は、ご加入いただく保険の商品内容をご理解いただくために特に重要な情報を記載したものです。必ずお読みください。
  - ・注意喚起情報は、ご加入いただく学生の皆様にとって不利益となる事項等、特にご注意ください情報を記載したものです。必ずお読みください。
  - ・この文書はご加入いただく保険に関する全ての内容を記載しているものではありません。詳細については、P8～P15の保険約款等によりますが、ご不明点等については在籍する学校の担当窓口(学生課・学生支援課・保健センター等)までお問い合わせください。
- ※この「しおり」、「学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)のごあんない」等、加入内容が分かるものを保管くださるようお願いいたします。

## 1. 契約概要

### 1. 商品の仕組み、引受条件等

#### (1) 商品の仕組み

この保険は、(公財)日本国際教育支援協会を契約者とし、同協会の賛助会員校に在籍する学生を被保険者(補償を受けることができる方)とする団体契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は原則として同協会が有します。

#### (2) 補償の内容・保険期間(保険のご契約期間)

- ①保険金をお支払いする場合、お支払いする保険金、②保険金をお支払いしない主な場合、③保険期間等については、P2～P6をご確認ください。

#### (3) 引受条件(保険金額等)

この保険での引受条件(保険金額等)はあらかじめ定められたご契約タイプとなります。ご契約タイプについての詳細はP1およびP5をご確認ください。

### 2. 保険料

保険料はご加入いただく保険料適用区分等によって決定されます。保険料については、P1をご確認ください。

### 3. 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

## 2. 注意喚起情報

### 1. 補償の重複に関するご注意

- 賠償責任を補償する特約等をご契約される場合で、被保険者またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約(他の保険契約にセットされる特約や弊社以外の保険契約を含みます。)を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。
- 補償が重複すると、対象となる事故について、どちらのご契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金が支払われない場合があります。補償内容の差異や保険金額をご確認のうえで、特約等の要否をご検討ください(1契約のみにセットする場合、将来、そのご契約を解約したときや、同居から別居への変更等により被保険者が補償の対象外になったときなどは、補償がなくなることがありますので、ご注意ください。)

### 2. 告知義務等

加入時、引受保険会社に重要な事項(\*1)をお申出いただく義務があります。

- ・加入の際、記載事項が記載されていなかったり、記載事項が事実と違っている場合には、契約が解除されたり、保険金をお支払いできないことがあります。
- ・他人のために保険契約を締結する場合、契約者またはその代理人に過失がなかったとしても、被保険者(補償を受けることができる方)またはその代理人の故意または重大な過失によって、集計報告書の記載事項が記載されていなかったり、記載事項が事実と違っているときも同様です。

(\*1) 他の保険契約等に関する事項を含みます。

### 3. ご加入後における留意事項(通知義務等)

- 退学等の際の通知義務や事故などが発生した場合の手続き等についてはP6～P7をご確認ください。ご通知や手続き等がないと、保険金をお支払いできないことやご加入を解除されること等があります。
- ご連絡いただいた内容によっては、保険料が変更になることがあります。なお、この場合には、集計報告書等に記載の通知事項に内容の変更が生じた時以降の期間に対して算出した保険料を請求または返還します。

### 4. 保険開始日

P2をご確認ください。

### 5. 保険金をお支払いしない主な場合等

P6をご確認ください。

### 6. 引受保険会社破綻時の取扱い

引受保険会社の経営が破綻した場合等には、保険金、返れい金等の支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。詳細はP17をご確認ください。

### 7. 共同保険について

共同保険については、表紙裏面をご確認ください。

### 8. 個人情報の取扱いについて

P17をご確認ください。

### 9. 被保険者からのお申出による解約

被保険者からのお申出によりその被保険者に係るご加入を解約できる制度があります。制度および手続きの詳細については、この「加入者のしおり」に記載のお問い合わせ先まで問い合わせてください。本内容については、被保険者となるご家族等の皆様にご説明くださいますようお願いいたします。

### 10. 代理人からの保険金請求

被保険者に保険金を請求できない事情があり、保険金の支払いを受けるべき被保険者の代理人がいないうちは、被保険者の配偶者等の家族のうち引受保険会社所定の条件を満たす方が、被保険者の代理人として保険金を請求できる場合があります。詳細は、この「加入者のしおり」に記載のお問い合わせ先まで問い合わせてください。本内容については、ご家族の皆様にご説明くださいますようお願いいたします。

### 11. ご加入の取消し・無効・重大事由による解除について

- ご加入時に、ご契約者、被保険者または保険金受取人に詐欺または強迫の行為があった場合は、東京海上日動火災保険(株)はご加入を取り消すことができます。
- 以下に該当する事由がある場合は、ご加入は無効になります。
  - ・ご加入時にご契約者が保険金を不法に取得する目的または他人

- に保険金を不法に取得させる目的を持っていた場合
- ・死亡保険金受取人を指定する場合において、その被保険者の同意を得なかったとき（その被保険者の法定相続人を死亡保険金受取人にする場合は除きます。）
- 以下に該当する事由がある場合には、東京海上日動火災保険(株)はご加入を解除することができます。この場合には、全部または一部の保険金をお支払いできないことがありますので、ご注意ください。

- ・ご契約者、被保険者または保険金受取人が東京海上日動火災保険(株)にこの保険契約に基づく保険金を支払わせることを目的として損害等を生じさせた場合
- ・ご契約者、被保険者または保険金受取人が、暴力団関係者その他の反社会的勢力に該当すると認められた場合
- ・この保険契約に基づく保険金の請求に関し被保険者または保険金受取人に詐欺の行為があった場合 等

東京海上日動火災保険株式会社	一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター（指定紛争解決機関）
<p><b>保険に関するご意見・ご相談は</b></p> <p>※加入状況・契約内容変更についてはまずは学校窓口へご連絡ください。 (引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社（幹事保険会社） 公務第二部 文教公務室 〒102-8014 東京都千代田区三番町6番地4 ☎0120-587-050(フリーダイヤル)</p> <p><b>事故のご相談は</b></p> <p>東京海上日動学校保険コーナー ☎0120-868-066(フリーダイヤル)</p> <p>※学校保険コーナーにつながりますので、学校ごとの担当学校保険コーナーから折り返しご連絡することがあります。</p> <p>受付時間：平日9：00～17：00（土・日・祝日・年末年始は除く）</p>	<p>東京海上日動火災保険(株)は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。</p> <p>東京海上日動火災保険(株)との間で問題を解決できない場合には、同協会に解決の申し立てを行うことができます。</p> <p>詳しくは、同協会のホームページをご覧ください。 (<a href="https://www.sonpo.or.jp/">https://www.sonpo.or.jp/</a>)</p> <p> <b>0570-022808</b> &lt;通話料有料&gt;</p> <p>IP電話からは03-4332-5241をご利用ください。 受付時間：平日 午前9時15分～午後5時 (土・日・祝日・年末年始は除く)</p>

## Ⅸ. 保険金請求先（東京海上日動ウェルネス保険金サポート部）

東京海上日動事業所	事業所所在地
<p>東京海上日動火災保険株式会社 ウェルネス保険金サポート部 傷害保険サポート室 傷害保険サポート第三チーム（学校保険コーナー） フリーダイヤル 0120-868-066</p>	<p>〒105-8551 東京都港区西新橋3-9-4 虎ノ門東京海上日動ビルディング</p>

## X. その他

### (引受保険会社が経営破綻した場合等の取扱いについて)

引受保険会社の経営が破綻した場合等には、保険金、返れい金等の支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。なお、経営が破綻した場合には、この保険は保険業法の規定に基づき「損害保険契約者保護機構」の補償対象となり、保険金、返れい金等は一定割合まで同機構による補償が得られます。同機構の補償割合は以下のとおりです。

- ・ 保険期間が1年以内の場合…原則として80% (破綻保険会社の支払停止から3か月間が経過するまでに発生した保険事故に係る保険金については100%)
- ・ 保険期間が1年超の場合…原則として90% (保険期間が5年超で引受保険会社の経営が破綻した時点で保険料等の算出の基礎となる予定利率が主務大臣の定める基準利率を過去5年間常に超えていた場合は90%を下まわります。)

### (個人情報の取扱いに関するご案内)

保険契約者である(公財)日本国際教育支援協会は、引受保険会社に本契約に関する、加入者の氏名・学籍番号・入金日等の個人情報を提供いたします。引受保険会社および引受保険会社のグループ各社は、本契約に関する個人情報を、保険引受の判断、本契約の管理・履行、付帯サービスの提供、他の保険・金融商品等の各種商品・サービスの案内・提供、アンケート等を行うために利用する他、下記①から⑥の利用・提供を行うことがあります。なお、保健医療等の特別な非公開情報(センシティブ情報)の利用目的は、保険業法施行規則により、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定されています。

- ① 本契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先(保険代理店を含みます。)、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先、金融機関等に対して提供すること
- ② 契約締結、保険金支払い等の判断をするうえでの参考とするために、他の保険会社、一般社団法人日本損害保険協会等と共同して利用すること
- ③ 東京海上日動火災保険株式会社と東京海上グループ各社または東京海上日動火災保険株式会社の提携先企業等との間で商品・サービス等の提供・案内のために、共同して利用すること
- ④ 再保険契約の締結、更新・管理、再保険金支払等に利用するために、再保険引受会社等に提供すること
- ⑤ 質権、抵当権等の担保権者における担保権の設定等に係る事務手続きや担保権の管理・行使のために、その担保権者に提供すること
- ⑥ 更新契約に係る保険引受の判断等、契約の安定的な運用を図るために、保険の対象となる方の保険金請求情報等(過去の情報を含みます。)をご契約者およびご加入者に対して提供すること

詳しくは、東京海上日動火災保険株式会社のホームページおよび他の引受保険会社のホームページをご参照ください。

東京海上日動火災保険(株) : [www.tokiomarine-nichido.co.jp](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp)

個人情報は、所属校が作成した加入者名簿を(公財)日本国際教育支援協会が東京海上日動火災保険(株)へ提出することにより提供されます。この取扱いに同意しない場合は、速やかに同協会へ申し出てください(これに同意しない場合は、この保険には加入できません。)

---

発行者 公益財団法人 日本国際教育支援協会  
学生支援部 学生保険課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29

TEL : 03-5454-5275

<http://www.jees.or.jp/>

---

令和5年10月作成

けが等を  
した場合は…

# 保険金請求手続きについて

事故が起きた場合、

下記手順で手続きしてくださ～イ



- 事故を学校に報告し、保険会社（東京海上日動）への事故通知手段を確認する。



- 東京海上日動の学校保険コーナー（東京）に、事故通知ハガキ（切手不要）・LINE<sup>(※)</sup>・携帯・パソコン・FAXのいずれかで事故を通知する。

※LINEは学校によってご利用いただけない場合があります。



(事故通知システム  
トップページ)

- 通院中の領収書等を受け取り保管する。



- 学校から保険金請求書を入手する。



- 治療完了後に保険金請求書（学校で証明欄に記載をしたもの）を東京海上日動の学校保険コーナー（東京）に送付する。

※送付先はP16をご参照ください。



- 東京海上日動から保険金が支払われる。

(Optional enrollment for additional coverage)

## Handbook for Enrollment of Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research "Gakkensai"

Please read this through in preparation for unexpected accidents such as  
when you suffer an injury

This insurance does not issue insurance policies to  
individual students.  
Keep this booklet in a safe place in lieu of an insurance card!



〈For your records〉 The enrolling student should fill in these details

Year of Enrollment	years	Period of Insurance	year(s)	Commuting Coverage	Contact Infection Coverage
				Yes/No	Yes/No
Name					

- (Note)1. Accidents that occur while commuting to school or when in transit between school facilities shall only be covered if the insured is enrolled in the **Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research with the additional coverage for commuting accidents.**
2. Measures received to prevent infectious diseases for infections through contact shall only be covered if the insured is enrolled in the **Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research with the additional coverage for the prevention of contact infection.**



# For enrolling students

The details of this insurance and your obligations as the insured (those covered under this insurance) are determined by various regulations of the Standard Provisions for Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research, additional coverage for commuting accidents, and benefits for the additional coverage for the prevention of contact infection.

This handbook contains particularly important points in provisions and coverage. Please read them in preparation for emergencies, and store this in a readily available place.

## <Contents>

### **I. Overview of Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (pp. 2 – 6)**

1. Period of this insurance
2. Damages covered under this insurance
3. Types of claims and amounts
4. Examples of activities covered under this insurance
5. Main cases not covered under benefits
6. Procedures for changes of contact (Changes from day or evening classes, etc., withdrawal, absence from school)

### **II. Procedures in the event of an accident (p. 7)**

1. Accident report
2. Insurance claim procedures

### **III. Standard Provisions for Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (pp. 8 – 12)**

### **IV. Additional coverage for commuting accidents (p. 12)**

### **V. Additional coverage for the prevention of contact infection (p. 13)**

### **VI. Endorsement concerning coinsurance (p. 13)**

### **VII. Coverage clauses of Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (pp. 13 – 15)**

### **VIII. Explanations of Important Points (p. 15)**

1. Contract Overview
2. Points of Attention

### **IX. Addresses for insurance claims (Wellness Insurance Money Support Dept, Tokio Marine and Nichido Co., Ltd.) (p. 16)**

### **X. Other (p. 17)**

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research is a contract of co-insurance entered into between Japan Educational Exchanges and Services (JEES) and the insurance companies listed below (to be confirmed), with Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. acting for and on behalf of the other insurance companies. Each insurance company bears obligations under the contract, not jointly but separately, in accordance with its underwriting share determined at the time of acceptance. For details of underwriting shares, please check with JEES.

Aioi Nissay Dowa Insurance    Sompo Japan Insurance  
Tokio Marine Nichido (Lead insurance company)    Mitsui Sumitomo Insurance

For inquiries about enrollment or approval, contact the section in charge at your school (students section, student support section, health center)

## Insurance premiums

For those who wish to enroll with additional coverages, add the additional premiums for the coverage desired. Additional coverages available differ at each school. For more information, please contact your school's help desk.

Period of insurance	Basic contract			Additional coverage		
	Daytime classes	Evening classes	Correspondence education	Additional coverage for commuting accidents		Additional coverage for the prevention of contact infection
				Daytime/Evening classes	Correspondence education	
1 year	<b>650 yen</b>	<b>100 yen</b>	<b>100 yen</b>	<b>350 yen</b>	<b>40 yen</b>	<b>20 yen</b>
2 years	<b>1,200 yen</b>	<b>200 yen</b>		<b>550 yen</b>		<b>40 yen</b>
3 years	<b>1,800 yen</b>	<b>300 yen</b>		<b>800 yen</b>		<b>40 yen</b>
4 years	<b>2,300 yen</b>	<b>400 yen</b>		<b>1,000 yen</b>		<b>40 yen</b>
5 years	<b>2,800 yen</b>	<b>500 yen</b>		<b>1,250 yen</b>		<b>40 yen</b>
6 years	<b>3,300 yen</b>	<b>—</b>		<b>1,400 yen</b>		<b>40 yen</b>

(Note) Insurance premiums are paid in full-year units even when enrolling after the academic year has started.

(Note) The option for commuting coverage for evening classes in the 6th year is not available.

(Note) The coverage for a correspondence course is available for 6 years.

# I. Overview of Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research

## 1. Period of this insurance

The period of insurance shall fall under one of the following.

	Commencement of Insurance	Conclusion of Insurance
Students admitted in April	From 0:00 a.m., April 1	(of the expected academic year of graduation <sup>(*1)</sup> ) to 12 p.m., March 31
Students admitted in September	From 0:00 a.m., September 1	(of the expected academic year of graduation <sup>(*1)</sup> ) to 12 p.m., August 31
Students admitted in October	From 0:00 a.m., October 1	(of the expected academic year of graduation <sup>(*1)</sup> ) to 12 p.m., September 30

(\*1) In principle, applications shall be for the entire period of study until graduation.

In the following cases, however, the commencement dates shall be as follows:

<Enrollment of all students (decided by the school)> In the case where the enrollment date decided <sup>(*2)</sup> at a school organization is after the commencement of insurance listed above:	The insurance period shall commence from 0:00 a.m. of the resolved date of enrollment.
<Optional enrollment (decided by the student)> In the case where the date the insured (students) applied for insurance at the schools they belong to with the payment of prescribed premiums comes after the listed above commencement of insurance <sup>(*3)</sup> .	The insurance period shall commence from 0:00 a.m. of the day following the application date.

(\*2) The enrollment date cannot be earlier than the date of determination.

(\*3) In principle, application shall be submitted at the same time as university/college admission procedures.

If you are not sure about the enrollment form (enrollment of all members or optional enrollment) or if you are not sure about when the insurance period commences, please contact the section in charge at your school (student services, student support, insurance center, etc.).

### Points to note

**(1) Liability for insurance for students admitted in April begins at 0:00 a.m., April 1. However, commencement for insurance after April 1 shall be as follows.**

- ① Enrollment of all students: If the enrollment date decided at a faculty is after April 1, the insurance period shall commence from 0:00 a.m. of the resolved date of enrollment.
- ② Optional enrollment: If the date of the application is after April 1, the liability of insurance will begin from 0:00 a.m. of the day subsequent to the date when students (the insured) submit applications with the prescribed premiums to the member school they belong to.

**(2) Liability for insurance for students admitted in September begins at 0:00 a.m., September 1. However, commencement for insurance after September 1 shall be as follows.**

- ① Enrollment of all students: If the enrollment date decided at a faculty is after September 1, the insurance period shall commence from 0:00 a.m. of the resolved date of enrollment.
- ② Optional enrollment: If the date of application is after September 1, the liability of insurance will begin from 0:00 a.m. of the day subsequent to the date when students (the insured) submit applications with the prescribed premiums to the member school they belong to.

**(3) Liability for insurance for students admitted in October begins at 0:00 a.m., October 1. However, commencement for insurance after October 1 shall be as follows.**

- ① Enrollment of all students: If the enrollment date decided at a faculty is after October 1, the insurance period shall commence from 0:00 a.m. of the resolved date of enrollment.
- ② Optional enrollment: If the date of the application is after October 1, the liability of insurance will begin from 0:00 a.m. of the day subsequent to the date when students (the insured) submit applications with the prescribed premiums to the member school they belong to.

## 2. Damages covered under this insurance

**(1) Standard Provisions for Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research**

Cases where the insured (those who may receive compensation) suffers a physical injury in Japan or overseas as a result of a **sudden and unexpected accident** of an external origin in the course of educational and research activities in a school shall be covered.

(Note) "Illness" shall not be covered.

(Note) "Injuries" shall include the following:

- ① Toxic symptoms (excluding poisoning symptoms as a result of habitual inhalation, absorption or intake) arising suddenly from the accidental inhalation, absorption or intake of toxic gases or substances from external sources in one breath.
- ② Physical impediment arising from sunstroke or heatstroke.

**"The course of educational and research activities" means:**

① **During regular curricular activities**

- During classes with lectures, experiments, seminars, and practical training courses (hereinafter collectively as "classes"), including:
- a. Research for graduation thesis and dissertation under the supervision of an educator. However, this excludes research conducted solely in locations involving private circumstances.
  - b. Research activities conducted in the school library, reference room, language learning facility, or other locations in the preparation and clean up of lessons under the supervision of an educator.
  - c. While engaged in a curriculum at another university, junior college or technical college in accordance with Article 15 of the Standards for Establishment of Graduate Schools, Article 28 of the Standards for Establishment of Universities and Article 19 of the Standards for the Establishment of Technical Colleges. Moreover, "other university, junior college or technical college" mentioned in this paragraph shall include universities and junior colleges, etc. in foreign countries.
  - d. Schooling for correspondence students.

**② During participation in school events**

During participation in all educational activities which include the entrance ceremony, orientation, and graduation ceremony, and other events hosted by the school.

**③ When on school premises during times other than ①, ②, or ④.**

During periods when the insured is in school facilities owned, used or managed by the school for educational activities. However, this excludes periods in the dormitory, any activity held in times and locations prohibited by the school, and during conduct prohibited by the school.

**④ During extracurricular (club) activities**

During cultural or athletic activities in accordance with the school rules and regulations and under the supervision of a student group approved by the school. However, this excludes when the insured is engaged in mountain climbing, hang gliding, other dangerous sports, or activities held in times and locations prohibited by the school, and during conduct prohibited by the school.

**(2) Additional coverage for commuting accidents**

Limited to those enrolled in "Gakkensai" with this coverage

Cases where the insured (those covered under insurance) sustains a physical injury from an accident during the commute to school from his/her residence or when in transit between school facilities shall be covered.

**① During the commute to school**

While commuting to and from the residence (including the place of employment for those who enter the school after passing the entrance exam for adults)(\*1) and the school facilities(\*2) (until entrance onto grounds) for the purpose of participating in school classes(\*3), school events, and extracurricular (club) activities of the school by reasonable route(s) and methods (excluding the methods prohibited by the school)(\*4).

**② In transit between school facilities(\*2)**

During transit by reasonable route(s) and methods (excluding the methods prohibited by the school)(\*4) between school facilities owned, used, or managed by the school for educational and research purposes, as well as between locations where classes, school events, or extracurricular (club) activities are conducted, for the purpose of participating in school classes and other lessons (\*3), school events and extracurricular (club) activities of the school.

(\*1) "Residence" means: Building in which the student resides for daily life and the location used when attending school. This also includes the place of employment for those who enter the school after passing the entrance exam for adults. (\*5) However, any place students need to stay other than their normal residence due to any event of force majeure such as extended commuting hours, natural disasters, or traffic conditions shall be considered the residence.

(\*2) "School facilities" refers to facilities owned, used, or managed by the school for educational and research purposes, including locations used for conducting classes, school events, or extracurricular (club) activities.

**Deviation/Interruption**

In principle, damages incurred while or after deviating from a path (straying from a reasonable route for reasons unrelated to the participation of class or activity) or interrupting the commute/transit (stopping for reasons unrelated to the commute) will not be covered by this insurance. However, damages incurred after deviating or stopping during the commute on reasonable routes will be covered by this insurance if for purchasing materials necessary for class, school events or extracurricular (club) activities, or during the minimum time necessary for acts considered unavoidable in everyday life. The following are examples of such acts:

- (1) Purchasing a textbook necessary for class.
- (2) Purchasing prepared food items.
- (3) For students who live alone, going to a restaurant.
- (4) Voting in an election.
- (5) Medical checkup at a hospital or clinic.

"Methods" refers to means of travel that are generally used, including public transportation such as railways and buses, cycling, driving, walking, or other normal methods (excluding methods that are prohibited by the school), and shall be considered reasonable methods, regardless of whether they are regularly used or not.

(\*3) For details regarding "school classes," refer to "During regular curricular activities" on page 2

(\*4) "Reasonable route(s) and methods (excluding the methods prohibited by the school)" means: Routes and methods thought to be generally used by students for traveling to and from their residence and school or between school facilities.

"Routes" of course includes routes noted on the school commuter ticket, but also refers to other routes which are considered to be generally used: these, too, shall be deemed as reasonable routes. Also, if detours are inevitable due to public transportation strike, roadblock, etc., and if the routes used for the detours are considered to be generally used, they shall also be considered reasonable routes.

(\*5) "Entrance exam for adults" refers to the entrance exam for working members of society who are admitted under different methods besides those for general applicants for admission, such as by special selection exam for adults.

**(3) Additional coverage for the prevention of contact infection**

Limited to those enrolled in "Gakkensai" with this coverage

15,000 yen (fixed amount) will be paid in the event that measures to prevent infectious diseases were received for unexpected contact with infectious pathogens within 180 days from the day on which the accident that was the cause of the contact infection that occurred, including that day, within facilities used for the purpose of clinical training.

**(Note) Hospital-acquired infections other than infections through contact (e.g., airborne infections) are not subject to this agreement.**

The terms used in the chart below shall be defined by their respective meanings.

	Term	Definition
①	Contact infection	The insured's unexpected direct or indirect contact <sup>(*6)</sup> with infectious <sup>(*7)</sup> pathogens within a facility used for the purpose of clinical training.
②	Clinical training	Training conducted at hospitals and other facilities <sup>(*8)</sup> .
③	Measures to prevent infectious disease	Examination or administered medicine for the purpose of preventing the spread or outbreak of an infectious disease. However, these actions are limited to instruction and guidance from a medical professional.

(\*6) Includes risk of contact.

(\*7) Infectious disease as stated in Item 1 of Article 6 of the law regarding Disease Prevention and Medical Care for the Patients. Same for below in this coverage.

(\*8) Hospitals or clinics, etc. Same for below in this coverage.

**<Article 6 of the Act Concerning Prevention of Infectious Diseases and Medical Care for Patients Suffering Infectious Diseases (as of June 7, 2023)>**

Article 6: In this act, "infectious disease" refers to a Class 1 infection, a Class 2 infection, a Class 3 infection, a Class 4 infection, a Class 5 infection, a new strain of influenza infection, a designated infection, or a new infection.

2 "Class 1 infection" in this act refers to the following infectious diseases.

1	Ebola hemorrhagic fever
2	Crimean-Congo hemorrhagic fever
3	Smallpox
4	South American hemorrhagic fever
5	Plague
6	Marburg disease
7	Lassa fever

3 "Class 2 infection" in this act refers to the following infectious diseases.

1	Poliomyelitis
2	Tuberculosis
3	Diphtheria
4	Severe acute respiratory syndrome (only that caused by virus belonging to SARS Betacoronavirus family)
5	Middle East Respiratory Syndrome (only that for which the pathogen is the beta coronavirus MERS coronavirus)
6	Avian influenza (limited to the one involving any influenza A virus within the genus Influenza virus A as a pathogen and involving a serosubtype which is specified by Cabinet Order as being highly likely to mutate into a pathogen of a Novel Influenza Infection (excluding COVID-19 specified in paragraph (7), item (iii) and Re-emerging COVID-19 specified in and paragraph (7), item (iv), and the same as the one specified in paragraph (6), item (i) and paragraph (23), item (i)). Referred to as Avian Influenza H5N1 specified in paragraph (5), item (vii)).

4 "Class 3 infection" in this act refers to the following infectious diseases.

1	Cholera
2	Shigellosis
3	Enterohemorrhagic Escherichia coli infection
4	Typhoid fever
5	Paratyphoid fever

5 "Class 4 infection" in this act refers to the following infectious diseases.

1	Hepatitis E
2	Hepatitis A
3	Yellow fever
4	Q fever
5	Rabies
6	Anthrax
7	Avian influenza (except avian influenza)
8	Botulism
9	Malaria
10	Tularemia
11	Aside from the preceding diseases, all other known infectious diseases that can be acquired through contact with animals, the carcasses thereof, food and drink, clothing, bedding, and other objects, and are determined by government ordinance to have the same level of adverse effects as the preceding diseases on public health.

6 "Class 5 infection" in this act refers to the following infectious diseases.

1	Influenza (except avian influenza and new strains of influenza infection)
2	Viral hepatitis (except hepatitis E and hepatitis A)
3	Cryptosporidiosis
4	Acquired immunodeficiency syndrome
5	Genital chlamydial infection
6	Syphilis
7	Measles
8	Methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection
9	Aside from the preceding diseases, all other known infectious diseases (except Class 4 infection) determined by an ordinance of the Ministry of Health, Labour and Welfare to have the same level of adverse effects as the preceding diseases on public health.

7 "New strains of influenza infection" in this act refers to the following infectious diseases.

1	New influenza (refers to an influenza whose pathogenic agent is a virus that has a new ability for transmission from person to person, and, since a major part of the general public lacks immunity to this infection, is recognized to pose a great danger to the life and health of the public through its nationwide, rapid spread.)
2	Re-emerging influenza (refers to an influenza that in the past attained prevalence on a global scale but, after the passage of a long period of inactivity, has been determined by the Ministry of Health, Labour and Welfare to have re-emerged, and, since a major part of the general public lacks immunity to this infection, is recognized to pose a great danger to the life and health of the public through its nationwide, rapid spread.)
3	COVID-19 (refers to an infectious disease whose pathogenic agent is a coronavirus that has a new ability for transmission from person to person, and, since a major part of the general public lacks immunity to this infection, is recognized to pose a great danger to the life and health of the public through its nationwide, rapid spread.)
4	Re-emerging COVID 19 (refers to an infectious disease with a coronavirus that in the past attained prevalence on a global scale but, after the passage of a long period of inactivity, has been determined by the Ministry of Health, Labour and Welfare to have re-emerged, and, since a major part of the general public lacks immunity to this infection, is recognized to pose a great danger to the life and health of the public through its nationwide, rapid spread.)

8 "Designated Infection" in this act refers to a known infectious disease (excluding a Class 1 infection, a Class 2 infection, a Class 3 infection and new strains of influenza infection), and is determined by government ordinance to pose a grave threat to the life and health of the public by transmission, if the provisions as a whole or in part from Chapters 3 through 7 are not applied.

9 "New infection" in this act refers to a disease that is recognized to be transmissible from person to person, and whose condition and result of treatment is markedly different from those of known infectious diseases, causes a serious condition, and is deemed to pose a grave threat to the life and health of the public by transmission.

Abbreviated (From Sections 10 to 24)

### 3. Types of claims and amounts

#### (1) Death benefits

(Cases of loss of life within 180 days after an accident, including the day of the accident)

Scope of Compensation	Benefits
During regular curriculum / school events	20 million yen
“While in school facilities outside of regular curricular activities or school events” “While participating in extracurricular (club) activities” “While commuting or in transit between facilities for those enrolled in additional coverage”	10 million yen

#### (2) Physical disability benefits(\*1)

(Cases of the development of physical disability within 180 days after an accident, including the day of the accident)

Scope of Compensation	Benefits
During regular curriculum / school events	According to extent 1,200,000 yen – 30 million yen
“While in school facilities outside of regular curricular activities or school events” “While participating in extracurricular (club) activities” “While commuting or in transit between facilities for those enrolled in additional coverage”	According to extent 600,000 yen – 15 million yen

(\*1)  
In cases where both death benefits and residual disability benefits are paid, only the death benefits will be paid.

#### (3) Medical benefits (Cases of receiving treatment from a doctor) and additional hospitalization benefits

Type of activity in which accident occurred			Number of treatment days(*2)	Medical benefits	Hospitalization	Additional hospitalization benefits (up to 180 days)
(Covered from the first day of treatment.)  During regular curriculum / school events	(Not covered)	(Covered in the case of treatment for 4 days or more.)  When inside the school facilities excluding the time participating in extracurricular (club) activities, during the commute to school or transit between school facilities when the insured has additional coverage.	(Not covered)	1 ~ 3 days		3,000 yen
	(Covered in the case of treatment for 14 days or more.)  When participating in extracurricular (club) activities in or outside the school facilities		(Covered in the case of treatment for 4 days or more.)  When participating in extracurricular (club) activities in or outside the school facilities	4 ~ 6 days	6,000 yen	
				7 ~ 13 days	15,000 yen	
				14 ~ 29 days	30,000 yen	
				30 ~ 59 days	50,000 yen	
				60 ~ 89 days	80,000 yen	
				90 ~ 119 days	110,000 yen	
				120 ~ 149 days	140,000 yen	
				150 ~ 179 days	170,000 yen	
				180 ~ 269 days	200,000 yen	
270 days or more	300,000 yen					

(\*2)

Refers to the actual number of days of hospitalization or outpatient treatment. It is the actual number of days of treatment from when the injury was sustained until the last day of treatment recognized by a physician as being necessary. Please note that not all days during the period of treatment shall be covered.

#### Notes

- The benefits shown on the left shall be paid regardless of benefits from any other life insurance, health insurance, liability insurance, or compensation from the faulted party of an accident.
- Benefits payable under this insurance are limited to the amounts shown on the left and cannot be enrolled in twofold.
- The day of treatment is counted as one day even if the insured goes to multiple hospitals in the same day. Please note that days of treatment are not counted as two days even if the insured visits two hospitals in a single day.

#### (4) Contact infection prevention benefits(\*3)

Scope of Compensation	Benefits
During clinical training	15,000 yen per one accident (fixed payment)

(\*3) Paid in the event that measures to prevent infectious diseases were received for unexpected contact with infectious pathogens within facilities used for the purpose of clinical training provided that measures to prevent infectious diseases are received within 180 days after the event (including the day of the event).

## 4. Examples of activities covered under this insurance

### (1) During educational and research activities

#### ① During regular curricular activities

- Both eyes suffered burn injury due to sudden explosion when mixing substances in a flask during experiment.
- Accidentally cut the left index finger when slicing vegetables with a knife during cooking class.
- Required hospitalization and treatment for heatstroke resulting from working under the hot sun during internship at a preschool.



#### ② During school events

- Got bruised by falling down when going down the stairs at a graduation ceremony
- Got food poisoning when having a meal in a training center accommodation
- Got bruised by getting hit in the left eye by a ball when working as a baseball referee



#### ③ When on school premises during times other than ①, ②, or ④.

- Fractured a leg by falling down the stairs inside the school.
- Fractured the big toe on the left foot after attempting to jump over desks inside a classroom at the school and failing to land properly.



#### ④ During extracurricular (club) activities

- Fell down and broke a bone on a slope, while participating in skiing club activities.
- Suffered from subluxation on the left acromioclavicular joint after being tackled by an opponent during an official rugby match away from the school.



### (2) During the commute to school and in transit between school facilities, etc.

#### ① During the commute to school

- Bruised both knees and the chest after collision with a car coming out of a car park while commuting to school by bicycle.
- Contusion caused by blow to the head after slipping and falling while commuting to school on foot over frozen ground.
- Contusion of the right shoulder and right foot due to collision with another motorcycle coming from the right while commuting to school on a motorcycle.



#### ② In transit between school facilities, etc.

- Contusion to and cuts on the right arm and both legs after falling from a motorbike as a result of avoiding collision with a car while going from the school to a club activity venue.



### (3) Measures to prevent infectious disease from contact infection during clinical training

- Contact with a used needle in the middle finger of the left hand during surgical operation in a regular curricular activity, leading to examination by a doctor for infection prevention.



## 5. Main cases not covered under benefits

Injuries resulting from the following circumstances:

Intentional acts or gross negligence on the part of the policyholder, insured (those who may receive compensation) or beneficiary; suicidal, criminal or hostile behavior by the insured, accidents occurring while driving an automobile without a license, intoxicated or under other circumstances hindering normal driving such as being under the influence of drugs; medical treatment for brain disease, illness, insanity, pregnancy, childbirth, premature delivery, miscarriage, surgery, etc. (excluding treatment for injuries that are covered); earthquakes, volcanic eruptions or resultant tsunamis (excluding the time period that the insured is engaged in observing these natural phenomena); war, insurrection or riots; accidents resulting from the harmful properties of nuclear fuel material (excluding the time period that the insured is engaged in research or experimental activities conducted with nuclear fuel material, objects contaminated by nuclear fuel material or equipment that uses it); radiation exposure or radioactive contamination (excluding the time period that the insured is engaged in research or experimental activities using equipment that generates radiation or radioactivity); whiplash, backaches, etc. with no other medical findings; accidents occurring while mountain climbing (using mountain climbing tools like ice axes), luging, bobsledding, skydiving, hang gliding or engaging in other dangerous extracurricular activities off school grounds; competitions, test drives and free runs at stadiums using automobiles or other vehicles performed as extracurricular activities off school grounds; execution of the insured's penal sentence<sup>(\*1)</sup>; etc. Accidents not meeting the condition of "sudden and unexpected" such as acute alcoholism from drinking or injuries made worse by the passing of time.

(\*1) See Chart 2 on p. 11 for details. If any of the above occur during regular curriculum or school events or on school grounds, they will be covered.

## 6. Procedures for changes of contract (Changes from day or evening classes, etc., withdrawal, absence from school)

### (1) If you have signed up for a period exceeding two years, please inform the relevant section of your school (students section, student support section, health center, etc.) in the following situations:

#### ① Changing from day, evening or correspondence classes.

##### a. Changing from evening to daytime classes

Payment will be requested for premiums corresponding to unearned years.

##### b. Changing from daytime to evening classes

Premium payments corresponding to unearned years will be partially refunded.<sup>(\*1)</sup>

However, if the daytime section, nighttime section or correspondence section classification changes during the academic year, the difference in insurance premiums for that academic year will not be returned or claimed.

#### ② Withdrawing from school (including removal from the register and death)

The unexpired premiums for the academic year shall be refunded according to the regulation in ① b.<sup>(\*1)</sup>

However, the amount difference in premiums for the academic year for withdrawal from school midyear shall not be refunded.

#### ③ Absence from school for 1 year or more in total during the period of insurance

Premiums for years of absence shall be refunded after the period of absence from school, according to the period of absence.<sup>(\*1)</sup>

#### ④ Changing your faculty or major, etc.

### (2) If the length of the course of study is extended for reasons such as absence or repeated years, it will be necessary to follow procedures to extend coverage when the period of insurance ends. Please apply with the prescribed share of premium<sup>(\*2)</sup> to your school.

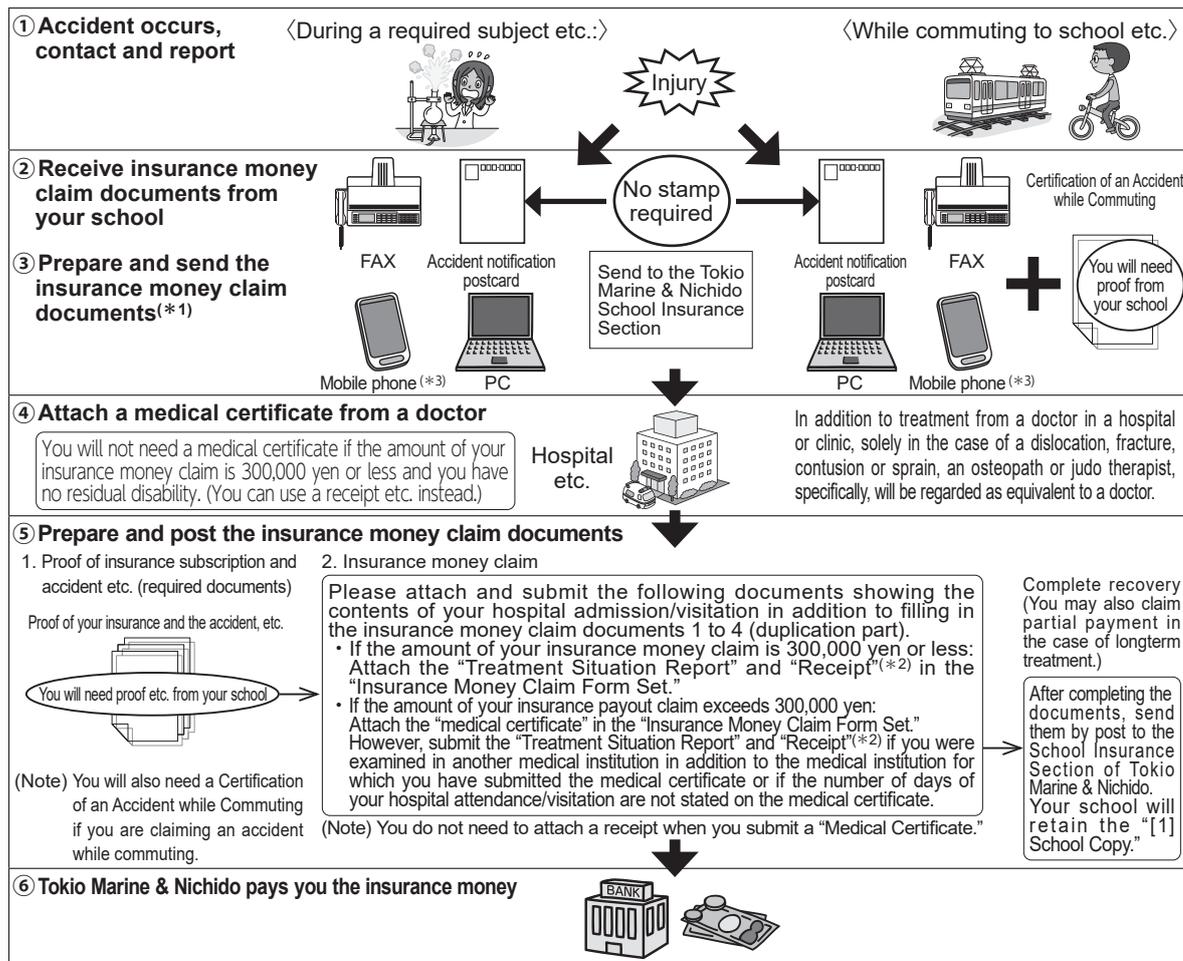
(\*1) Transfer fees related to the refunding of insurance premiums are the responsibility of the insured.

(\*2) Payment method of premium varies depending on school. For more details, please contact the relevant section of your school (students section, student support section, health center).

## II. Procedures in the event of an accident

### ◀Flow from an accident to the payment of claims▶

(Note) For insurance claims made via SkettBook (the official Gakkensai app), please refer to the app version of the Handbook for Enrollment of Gakkensai.



(\*1) The method of preparing and sending the accident notification documents differs by school. Therefore, please check with your school in advance.

(\*3) Accident notification system (mobile version) QR code



(Top page of the accident) notification system

(\*2) This should state your hospital admission/visitation period. If it does not, attach a copy of your patient registration card or complete the name of the medical institution on the "Treatment Situation Report."

### III. Standard Provisions for Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research

#### Chapter 1. Provisions for Defining Terms

##### Article 1 (Definition of terms)

The terms used in these provisions shall be defined by their respective meanings in the chart below.

Term	Definition
Medically objective symptoms	Abnormal findings recognized by physical, neurological, clinical, or image examination.
Extracurricular activity	Cultural or athletic activities in accordance with the university, etc. rules and regulations and under the supervision of a student group approved by the university, etc.. However, this excludes any activity held in times and locations prohibited by the university, etc., and during prohibited conduct.
School events	All educational activities which include the entrance ceremony, orientation, and graduation ceremony, and other events hosted by the university, etc..
School facilities	During periods when the insured is in school facilities owned, used or managed by the university, etc. for educational activities. However, this excludes periods in the dormitory.
Risk	Susceptibility to injury.
Competition	Competitions, contests, performances <sup>(※1)</sup> or trial runs <sup>(※2)</sup> . (※1) Includes practice for the aforementioned. (※2) Driving or operation for the purpose of efficiency tests.
Physical impediment	A serious functional disability the insured is left with that cannot be treated from a medical perspective and cannot be recovered from in the future or the loss of a part of the body.
Disclosure items	Important items regarding risks the Company requests to be disclosed as items to be filled in applications for insurance. <sup>(※1)</sup> (※1) Includes items regarding other insurance contracts, etc.
Automobiles	Automobiles and motorized bicycles.
Death benefits	The insured amount as stated in the insurance policy.
Surgery	Procedures performed for the excision of affected or necessary parts with a scalpel or other instruments for the direct purpose of medical treatment.
Passenger rides	Automobiles, motorboats <sup>(※1)</sup> , go karts, snowmobiles and the like. (※1) Includes personal watercraft.
During regular curricular activities	During participation in classes <sup>(※1)</sup> , including: a. Research for graduation thesis and dissertation under the supervision of an educator. However, this excludes research conducted solely in locations involving private circumstances. b. Research activities conducted in the university, etc. library, reference room, language learning facility, or other locations in the preparation and clean up of lessons under the supervision of an educator. (※1) refers to lectures, experiments, seminars, and practical training courses; the same meaning applies below.
University, etc.	University or technical college the insured is enrolled in.
Other concurrent insurance contracts	Other insurance contracts or mutual aid contracts that share any coverage with this insurance contract.
Medical treatment	Medical treatment performed by a doctor <sup>(※1)</sup> , after it is determined that there is a need for it. (※1) In cases in which the insured is a medical doctor, this refers to a medical doctor other than himself/herself.
Number of days for treatment	Number of days the insured is hospitalized or receives outpatient care. However, even in the case that the insured is not treated as an outpatient for injuries, when a plaster cast, etc. <sup>(※1)</sup> is affixed for an uninterrupted period due to a fracture, dislocation or ligament injury, etc. to a part of the body listed in Chart 1, the number of days required for that shall be considered outpatient care. Nevertheless, this shall be limited to cases when verified by a doctor with it stated on the medical certificate that a plaster cast, etc. <sup>(※1)</sup> has been affixed due to a fracture, dislocation or ligament injury to a part of the body listed in Chart 1 and when there is a description relating to the affixation of the plaster cast <sup>(※1)</sup> in the medical treatment statement. (※1) Plaster casts, plaster slabs, plaster shells, splints/slabs/sprint fixations, external fixators, PTB casts, PTB braces <sup>(※2)</sup> , wire splints, etc. and halo vests (※2) Limited to cases in which the period given by the doctor for the affixation up to the bone adhesion for the item affixed after a lower leg bone fracture is clearly stated on the medical certificate.
Outpatient care	Treatment by a medical doctor at a hospital, clinic, or through a house call. However, this does not include receiving medicine, a medical certificate, or medical apparatus without treatment.
Hospitalization	Admission to a hospital or clinic to receive concentrated medical attention under the regular supervision of a medical doctor when it is difficult to receive such treatment at home.
The insured	The insured stated under this insurance policy.
Period of Insurance	The period of insurance stated under this insurance policy.
Benefits	Death, disability, or medical benefits.

#### Chapter 2. Compensatory Provisions

##### Article 2 (Insurance claims covered)

(1) The Company shall cover physical injuries the insured suffers in Japan or overseas as a result of a sudden or unexpected accident of an external origin<sup>(※1)</sup> in accordance with these provisions.

①	During the participation of the regular curriculum or school events of the university, etc.
②	① and when on school premises during times other than extracurricular activities of which the university, etc. has been notified. However, this excludes any activity held in times and locations prohibited by the university, etc., and during prohibited conduct.
③	While on school premises during extracurricular activities of which the university, etc. has been notified.
④	During extracurricular activities off school premises of which the university, etc. has been notified.

(2) "Injuries" in (1) shall include the chart below:

①	Toxic symptoms <sup>(※2)</sup> arising suddenly from the accidental inhalation, absorption or intake of toxic gases or substances from external sources.
②	Physical impediment arising from sunstroke or heatstroke.

(※1) Hereinafter as "accident."

(※2) Excludes poisoning symptoms as a result of habitual inhalation, absorption or intake.

##### Article 3 (Insurance claims not covered - 1)

(1) The Company shall not cover damages caused by any of the reasons in the chart below:

①	Willful acts or gross negligence of the policyholder or the insured
②	Bad faith or gross negligence on the part of the one to receive benefits. However, unpaid benefits shall be limited only to the amount owed to the beneficiary in the case he or she is meant to receive only a portion of the total;
③	Acts of conflict, suicide, or crime by the insured
④	Accidents caused by the insured during any of the following: a. While driving automobiles without a legal license <sup>(※1)</sup> ; b. When driving under the influence of alcohol as stipulated in Section 1, Article 65 of the Road Traffic Law; c. While driving automobiles under the influence of narcotics, hemp, opium, stimulants, dangerous drugs <sup>(※2)</sup> or thinner <sup>(※3)</sup>
⑤	Encephalopathy, diseases, or insanity of the insured
⑥	Pregnancy, childbirth, premature birth, or miscarriage of the insured
⑦	Medical treatment of the insured such as surgery. Medical treatment of the insured such as surgery. However, the Company shall cover claims for treatment of an injury that is payable by the Company when the injury is caused by surgery or other medical treatment.
⑧	Execution of execution of the insured's penal sentence.
⑨	Wars, foreign military force, revolutions, coup d'états, insurrections, armed rebellions, and other violent activities of similar nature <sup>(※4)</sup> ;
⑩	Earthquakes, eruptions, or resulting tsunamis. However, periods the insured is engaged in observational activities of these natural phenomena shall be covered;
⑪	Accidents due to harmful substances such as radioactivity and explosiveness of nuclear fuel materials <sup>(※5)</sup> or its contaminants <sup>(※6)</sup> . However, periods when the insured is engaged in research or experiments that use nuclear fuel materials, nuclear fuel contaminants, or devices that utilize these substances shall be covered;
⑫	Accidents arising from causes in ⑨ through ⑪ or accidents that arise due to the disorder accompanying the above;
⑬	Radiation or radioactive contamination other than from ⑪. However, periods the insured is engaged in research or experiments that use devices that emit radiation or radioactivity shall be covered;

(2) The Company shall not cover any cases of objective symptoms with insufficient medical support such as cervical syndrome<sup>(※7)</sup> or lumbago, regardless of the cause.

(※1) Legal license issued in the country being driven in.

(※2) This refers to drugs stipulated in Article 2, Paragraph 15 of the Order for Enforcement of the Act on Securing Quality, Efficacy and Safety of Products Including Pharmaceuticals and Medical Devices.

(※3) This refers to those stipulated under government ordinances based on the provisions in Article 3 (3) of the Poisonous and Deleterious Substances Control Act

(※4) This refers to a state in which it is deemed that the peace has been significantly damaged nationwide or in part of a region and in which there is a serious situation in maintaining security due to acts by crowds of large groups of people.

(※5) Includes spent fuel. Same for below.

(※6) Includes nuclear fission products. Same for below.

(※7) Also known as "whiplash."

##### Article 4 (Insurance claims not covered - 2)

(1) The Company shall not cover damages caused by any of the reasons in the chart below:

①	During any activities of the insured as mentioned in attached Chart 2
②	While the insured is engaged in any of the following: a. During competitions that use passenger rides. However, excluding cases that fall under c. below, damages shall be covered for accidents that occur during competitions, etc. conducted on roads using automobiles, etc. b. While using passenger transport in the same manner as competitions, etc. or in accordance with conditions in places for the purpose of competition, etc. using passenger transport. However, excluding cases that fall under c. below, damages shall be covered for accidents that occur while using an automobile, etc. on roads in the same manner as competitions, etc. or in accordance with conditions. c. While using an automobile, etc. in a competition, etc., or in the same manner as competitions, etc. or in accordance with conditions in circumstances in which the road has been appropriated, general traffic is restricted, and legal permission has been granted.

(2) This does not apply to damages mentioned in ①, ②, or ③ of the chart in Article 2 (Insurance claims covered) (1).

##### Article 5 (Payment of death benefits)

(1) The Company shall pay the beneficiary the amount which is calculated by multiplying the death benefit by the applicable percentage in the following table<sup>(※1)</sup> in the event that the insured passes away within 180 days as a direct result of injuries sustained in accidents covered under Article 2 (Insurance claims covered), inclusive of the day of the accident.

①	For cases that fall under ① of the chart in Article 2 (1): 100%
②	For cases that fall under ②, ③, or ④ of the chart in Article 2 (1): 50%

(2) The Company shall pay death benefits according to the legal inheritance when there are 2 or more legal heirs in cases in which they become beneficiaries by the provisions in (1) or (2) of Article 30 (Changes to the beneficiary for death benefits).

(3) The Company shall pay death benefits divided equally by the number of beneficiaries in cases in which there are 2 or more as prescribed in Article 30(8).

(※1) In the event that a physical disability benefit has already been paid in accordance with Article 6 (Payment of physical disability benefits), the amount shall be the balance after deducting what has already been paid from the death benefit multiplied by the applicable percentage in the chart under (1).

## Article 6 (Payment of physical disability benefits)

- (1) The Company shall pay physical disability benefits to the insured according to the amounts based on the following formula in the event that the insured suffers a disability within 180 days as a direct result of injuries sustained in accidents covered under Article 2 (Insurance claims covered). However, if the insured passes away within 180 days from the accident, inclusive of the date of the accident, from injuries sustained, physical disability benefits shall not be paid for any resulting physical disabilities.

Death benefits	×	Percentage shown in chart of Article 5 (Payment of death benefits) (1)	×	Percentage of insurance benefit payment for each class of physical disability listed in the attached Chart 3	=	Physical disability benefits
----------------	---	--	---	--	---	------------------------------

- (2) The Company shall pay physical disability benefits as calculated in (1) for cases that require over 180 days, inclusive of the date of the accident, for treatment of the insured after verification of the severity of physical disability through a medical examination by a doctor other than the insured on day 181, regardless of provision in (1).
- (3) Even if a physical disability does not fall under any of the classes of physical disability listed in Chart 3, that which is determined to be equivalent to a class of physical disability shall, depending on the severity of physical disability, be considered as falling under that class of physical disability.
- (4) In the event two or more kinds of physical disabilities arise from the same accident, the Company shall pay a physical disability benefit equal to the amount of death benefit multiplied by the percentage listed in Article 5 (1) multiplied by the insurance benefit payment percentage listed in the chart below.

①	In cases in which there are two or more physical disabilities that fall under those listed from classes 1 to 5 of Chart 3, the insurance benefit payment percentage for a class which is 3 classes above the class corresponding to the most serious disability among those multiple disabilities shall be applied.
②	In cases other than ①, if there are two or more physical disabilities that fall under those listed from classes 1 to 8 of Chart 3, the insurance benefit payment percentage for a class which is 2 classes above the class corresponding to the most serious disability among those multiple disabilities shall be applied.
③	In cases other than ① and ②, if there are two or more physical disabilities that fall under those listed from classes 1 to 13 of Chart 3, the insurance benefit payment percentage for a class which is 1 class above the class corresponding to the most serious disability among those multiple disabilities shall be applied. However, if the total percentage of individual insurance benefit payment percentages for each physical disability does not add up to the above insurance benefit payment percentage, that total percentage shall be the insurance benefit payment percentage.
④	In cases other than ① to ③, the insurance benefit payment percentage for a class corresponding to the most serious disability among those multiple disabilities shall be applied.

- (5) If an insured who has a preexisting disability sustains an injury that falls under Article 2 and as a result aggravates the severity of his/her physical disability in the same part of the body, a physical disability benefit shall be paid in the amount computed as the death benefit multiplied by the percentage listed in the chart under Article 5 (1) multiplied by the following percentage:

Insurance benefit payment percentage for the class corresponding to the physical disability after aggravation as listed in Chart 3	—	Insurance benefit payment percentage for the class corresponding to the preexisting physical disability	=	Applicable Percentage
--	---	---	---	-----------------------

## Article 7 (Payment of medical benefits)

- (1) In the event the insured sustains an injury falling under Article 2 (Insurance claims covered) and receives medical treatment from a medical doctor other than himself/herself as a direct result of the injury, the Company shall pay the insured medical treatment benefit as listed in the chart below depending on the number of treatment days. However, cases that fall under ② of the chart in Article 2 (1) shall be limited to amounts stipulated in ② through ⑪ of the chart below. In addition, cases that fall under ③ or ④ of the chart in Article 2 (1) shall be limited to amounts stipulated in ④ through ⑪ of the chart below.

①	1 – 3 days of medical treatment: 3,000 yen
②	4 – 6 days of medical treatment: 6,000 yen
③	7 – 13 days of medical treatment: 15,000 yen
④	14 – 29 days of medical treatment: 30,000 yen
⑤	30 – 59 days of medical treatment: 50,000 yen
⑥	60 – 89 days of medical treatment: 80,000 yen
⑦	90 – 119 days of medical treatment: 110,000 yen
⑧	120 – 149 days of medical treatment: 140,000 yen
⑨	150 – 179 days of medical treatment: 170,000 yen
⑩	180 – 269 days of medical treatment: 200,000 yen
⑪	270 or more days of medical treatment: 300,000 yen

- (2) 4,000 yen per day will be paid to the insured, in addition to the amounts stipulated from ① through ⑪ in the above chart, as medical benefits for a period of up to 180 days in total in the event that the days for treatment as mentioned in medical claims in this paragraph include days of stay at a hospital or clinic with instructions from a medical doctor other than the insured.
- (3) The period in (2) shall include the days for measures taken when the measures<sup>(\*)</sup> are deemed as medical provisions based on the regulations established by Article 11 of the laws regarding the transplant of organs in cases where physical measures are taken after the doctor determines the patient to have suffered "brain death" according to Item 4 of Article 6 (Harvesting organs) of the same law.
- (4) In cases where the insured sustains another injury eligible for the payment of a medical claim in the period during which a medical claim is payable, the provisions in (1) shall apply to claims by adding the days for treatment of the respective injuries and any day with overlapping treatments shall be considered as one day.
- (5) The Company shall not pay any overlapping amounts stipulated in (2) for new injuries stipulated under Article 2 while the insured is hospitalized and receiving treatment.

(\*1) Includes measures deemed as medical provisions should there be applicable laws regarding medical provisions in cases in which there are

no such laws regarding medical provisions.

## Article 8 (Presumption of death)

The insured shall be presumed dead from injuries under Article 2 (Insurance claims covered) on the day the aircraft or watercraft boarded by the insured went missing or became distressed after thirty (30) days have passed from the date the aircraft or watercraft was boarded and the insured has not been found, including the day the aircraft or watercraft went missing or became distressed.

## Article 9 (Influence of physical disabilities or illnesses)

- (1) The Company shall pay benefits as if there was no influence for aggravated injuries due to the influence of existing physical disabilities or illnesses when injuries were sustained under Article 2 (Insurance claims covered) or injuries sustained, physical disabilities or illnesses independent of accidents caused by injuries under the same article.
- (2) Payment method in (1) shall be used in cases where injuries under Article 2 are aggravated because the insured was negligent of medical treatment or the policyholder or beneficiary did not allow treatment without legitimate reason.

## Chapter 3. Basic Provisions

### Article 10 (Commencement and termination of liability)

- (1) The Company's liability for insurance shall commence from 0:00 a.m. of the first date of the period of insurance and shall terminate at 12:00 p.m. on the last date.
- (2) Times shall be based on Japan Standard Time.
- (3) The Company shall not pay insurance claims for injuries sustained in an accident after the commencement of the period of insurance but prior to the receipt of the corresponding premium, excluding cases deemed otherwise.

### Article 11 (Duty of disclosure)

The policyholder or the insured must accurately inform the Company of disclosure items requested by the Company upon entering the insurance contract.

### Article 12 (Duty of notice regarding changes from daytime/evening classes and absence or withdrawal from school)

The policyholder or the insured must without delay inform the Company of any changes from daytime, evening, or correspondence classes or in the case of absence or withdrawal from school.

### Article 13 (Voiding of insurance contract)

- (1) Any facts proving insurance contracts were effected for the purpose of illegally claiming insurance or providing insurance to third parties will completely void the contracts.
- (2) The insurance contract and relative clauses for the insured shall be considered null and void if any facts that fall under the following cases apply:

①	Insurance contracts enrolled in by the insured or beneficiaries for the purpose of illegally claiming insurance or providing insurance money to third parties.
②	Designation of beneficiaries for death benefits <sup>(*)</sup> without consent of the insured.

(\*1) Excludes cases where the legal heir is the beneficiary.

### Article 14 (Expiration of insurance contract)

The insurance contract and relative clauses for the insured shall expire in the event the insured passes away after entering the insurance contract.

### Article 15 (Cancellation of insurance contracts)

- (1) The Company may completely void this insurance contract by sending notice in writing to the policyholder in cases where insurance contracts were entered into due to fraud or threat from the policyholder.
- (2) The Company may void relative clauses of the insured in this insurance contract by sending notice in writing to the policyholder in cases where insurance contracts were entered into due to fraud or threat from the insured or beneficiaries.

### Article 16 (Cancellation of insurance contract by the policyholder)

The policyholder may cancel all or a portion of this insurance contract by sending notice in writing to the Company.

### Article 17 (Significant reasons for cancellation)

- (1) The Company reserves the right to cancel this insurance contract through a written notice addressed to the policyholder in the event the policyholder falls under any of the following:

①	If determined to fall under the category of "antisocial forces" <sup>(*)</sup> .
②	If determined to be offering financial contribution or providing conveniences to antisocial forces <sup>(*)</sup> .
③	If determined to be making inappropriate use of antisocial forces <sup>(*)</sup> .
④	In the case of a corporate entity, if it is determined that antisocial forces <sup>(*)</sup> have a dominant role in the management or have substantial participation in the management of that corporate entity.
⑤	If a socially reprehensible relationship with antisocial forces <sup>(*)</sup> is determined.

- (2) The Company reserves the right to cancel this insurance contract<sup>(\*)</sup> through a written notice addressed to the policyholder for any of the following reasons:

①	If the insured falls under any of ① to ③ or ⑤ in the chart under (1).
②	If the beneficiary that should receive the insurance benefit for an injury sustained by the insured falls under any of ① to ⑤ in the chart under (1).

- (3) Even if the cancellation based on provisions (1) and (2) is done after an injury<sup>(\*)</sup> has occurred, regardless of the provision in Article 19 (Insurance contract cancellation effects), the Company shall not pay insurance benefits<sup>(\*)</sup> for injuries that occurred from the time reasons ① to ⑤ in the chart under (1) or reasons ① or ② in the chart under (2) arose to the time of cancellation. In this case, if the insurance benefit<sup>(\*)</sup> has already been paid, the Company reserves the right to demand return of that payment.

(\*1) Refers to a crime syndicate, member of a crime syndicate<sup>(\*)</sup>, associate member of a crime syndicate, a company related to a crime syndicate, and other antisocial forces.

(\*2) Limited only to that part in which the insured is involved.

(\*3) This refers to the injury sustained by the insured in the event of cancellation based on (2).

(\*4) Limited only to the amount of benefit which the beneficiary, who falls under any of ① to ⑤ of the chart under (1), is entitled to receiving in the event of cancellation based on ② of the chart under (2).

(\*5) Including someone who is within five years from the day of quitting his/her membership in a crime syndicate.

**Article 18 (Request for cancellation of insurance contract by the insured)**

(1) The insured may request to cancel the insurance contract<sup>(\*)</sup> in cases when the insured is not the policyholder for any cases that fall under the table below.

①	The insured did not consent to being insured under this contract <sup>(*)</sup> ;
②	The policyholder or the beneficiary incurs or attempts to incur damage for the purpose of claiming insurance money from the Company under this insurance contract;
③	The beneficiary commits or attempts fraud of insurance money under this insurance contract;
④	The policyholder or the beneficiary falls under any of ① to ⑤ in the chart under (1) in Article 17 (Significant reasons for cancellation)
⑤	Concern that the total amount of compensation with regard to the insured is considerably excessive due to overlap with other concurrent insurance contracts, which goes against the purpose of the insurance system.
⑥	The Company has lost confidence in the policyholder or the beneficiary due to grave reasons making it difficult to continue this insurance contract <sup>(*)</sup> for cases ② through ⑤ or any other cases of the same extent with the insured.
⑦	There are considerable changes to the circumstances that were agreed upon regarding the insured under this insurance contract <sup>(*)</sup> due to an end to the kinship between the policyholder and the insured, or other reasons.

- (2) The policyholder must cancel this insurance contract<sup>(\*)</sup> by sending notice to the company when the insured requests cancellation as stipulated in (1) for reasons ① through ⑦ in the table in (1).
- (3) The Company may terminate this insurance contract<sup>(\*)</sup> by sending notice in writing to the insured for reasons in ① of the table in (1).
- (4) The Company shall inform the policyholder in writing without delay in cases in which the insurance contract<sup>(\*)</sup> is cancelled in accordance with provisions in (3).  
 (\* 1) Restricted to relative clauses concerning the insured.

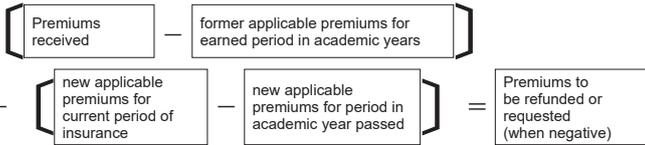
**Article 19 (Insurance contract cancellation effects)**

The cancellation of insurance contracts can only take effect on future matters.

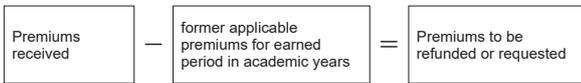
**Article 20 (Refund or request of premiums: Duty of notice regarding changes in daytime/evening classes and absence or withdrawal from school)**

(1) The Company shall refund or request premiums based on the following formula in cases where notice has been received for Article 12 (Duty of notice regarding changes from daytime/evening classes and absence or withdrawal from school).

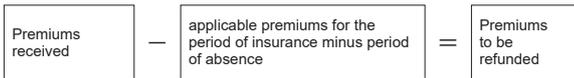
① Applicable premiums shall be refunded or requested based on the amount calculated from the following formula when there are changes in daytime, evening, or correspondence classes. However, the amount of difference in premiums for the academic year for changes in daytime, evening, or correspondence classes midyear shall not be refunded nor requested.



② The amount calculated from the following formula when withdrawing from school shall be refunded. However, the amount of difference in premiums for the academic year for withdrawal from school midyear shall not be refunded.



③ The amount calculated from the following formula for absence from school for a year or more during the period of insurance shall be refunded. If the last day of that period falls within the period of absence, the period is forfeited on a yearly basis.



- (2) The Company shall refund or request the difference in calculated premiums for unearned periods before and after any necessary adjustments in the event the policyholder makes a written request and receives approval for changes to the terms and conditions of the insurance contract in addition to (1) above after entering the contract.
- (3) The Company shall cover injuries sustained in accidents that occur before receiving additional premiums in cases where additional premiums are requested as mentioned in (2) but have not been paid by the policyholder, in accordance with the Standard Provisions of Insurance and Coverage as if the request for the approval for changes in the terms and conditions had not been made.

**Article 21 (Refund of premiums: Voiding of contracts)**

- (1) The Company shall not refund premiums in the event insurance contracts are completely voided due to the provision in Article 13 (Voiding of insurance contract) for the current academic year in which the date of voiding occurs, but shall refund premiums for any years beyond the current one.
- (2) The Company shall not refund premiums in the event insurance contracts are voided for the insured due to provision ① in the table in Article 13 (Voiding of insurance contract) (2) for the current academic year in which the date of voiding occurs, but shall refund respective premiums of the insured for any years beyond the current one.
- (3) The Company shall refund the total amount of respective premiums of the insured in the event the insurance contract is voided for the insured due to provision ② in the table in Article 13 (Voiding of insurance contract) (2).

**Article 22 (Refund of premiums: Invalid or terminated contracts)**

- (1) The Company shall not refund premiums in the event insurance contracts become invalid for the academic year in which the date of the invalidation occurs, but the premiums for any years beyond the current one shall be refunded in full.
- (2) The Company shall not refund premiums in the event insurance contracts are terminated for the academic year in which the date of the termination occurs, but the premiums for any years beyond the current one shall be refunded in full.
- (3) The provisions in (1) and (2) shall apply for premiums concerning the insured

in the case that a portion of the insurance contract was invalidated or cancelled.

**Article 23 (Refund of premiums: Cancellation of contracts)**

- (1) The Company shall not refund premiums that have already been paid to the Company in the event of cancellation of insurance contracts due to provisions in Article 15 (Cancellation of insurance contracts) for the current academic year in which the date of the cancellation occurs, but shall refund respective premiums in full for any years beyond the current one.
- (2) The Company shall not refund premiums in the event insurance contracts are cancelled for the insured due to the provision in Article 15 (2) for the current academic year in which the date of the cancellation occurs, but shall refund respective premiums of the insured in full for any years beyond the current one.

**Article 24 (Accident report)**

- (1) The policyholder, the insured, or the beneficiary must report the situation of the occurred accident and extent of injuries to the Company within 30 days of the accident, including the day of the accident, in the event of injuries sustained by the insured under Article 2 (Insurance claims covered). They must also comply when the Company requests a notice or explanation in writing, or the submission of medical certificates or post-mortem certificates in this case.
- (2) The policyholder or beneficiary must notify the Company in writing of details within 30 days of the day the insured boarded an aircraft or watercraft and it went missing or became distressed, including the day the aircraft or watercraft went missing or became distressed, in the event the insured boarded a craft that went missing or became distressed.
- (3) The Company shall deduct the amount of damages sustained in cases where the policyholder or beneficiary violates the duties stipulated in (1) and (2) without legitimate reason, or held back or reported false details regarding notices and explanations.

**Article 25 (Insurance claim documents)**

(1) Insurance claim rights to the Company may be exercised separately according to the times in the table below.

①	For death benefits, at the time of death of the insured.
②	For physical disability benefits, when the disability is suffered or within 180 days after the accident, including the day of the accident, whichever comes first.
③	For medical benefits, when the hospitalization or outpatient care for injury sustained by the insured under Article 2 (Insurance claims covered) is terminated or when the number of days of treatment reaches 270 days or more, whichever is earlier.

(2) The insured or beneficiary must submit the insurance claim documents in the table below in the event of an insurance claim.

① For the claim of death benefits

a.	Injury status report designated by the Company;
b.	Accident certificate from a public organization (third parties in unavoidable circumstances);
c.	A seal registration certificate of the beneficiary (the legal heir of the insured in the case a beneficiary has not been designated);
d.	Death certificate or post-mortem certificate;
e.	Copy of the insured's family register;
f.	Copy of the legal heir's family register in cases where the beneficiary has not been designated;
g.	Requisite documents required to confirm details as stipulated in Article 26 (Payment period for benefits) (1) and other documents prescribed by the Company issued in writing at the time of entering the contract as proof.

② For the claim of physical disability benefits

a.	Injury status report designated by the Company;
b.	Accident certificate from a public organization (third parties in unavoidable circumstances);
c.	A seal registration certificate of the insured;
d.	Medical certificate by a doctor other than the insured verifying the extent of physical disabilities.
e.	Requisite documents required to confirm details as stipulated in Article 26 (1) and other documents prescribed by the Company issued in writing at the time of entering the contract as proof.

③ For the claim of medical benefits

a.	Injury status report designated by the Company;
b.	Accident certificate from a public organization (third parties in unavoidable circumstances);
c.	A seal registration certificate of the insured;
d.	Medical certificate by a doctor other than the insured verifying the extent of injuries;
e.	Certificates documenting number of days hospitalized or days as an outpatient from a hospital or clinic;
f.	Requisite documents required to confirm details as stipulated in Article 26 (1) and other documents prescribed by the Company issued in writing at the time of entering the contract as proof.

(3) In the event that the insured cannot file a claim and when there is no representative to accept insurance payments, persons who can submit to the Company documents stating any of the circumstances in the table below may file an insurance claim as a proxy of the insured after receiving approval from the Company.

①	Spouse <sup>(*)</sup> who cohabitated or shared a livelihood with the insured.
②	Relatives to the 3rd degree who cohabitated or shared a livelihood with the insured in cases in which a designated spouse in ① does not exist or the designated spouse cannot file a claim.
③	Spouse <sup>(*)</sup> other than in ① or relatives to the 3rd degree other than in ② in cases in which the persons stipulated in ① and ② do not exist or cannot file a claim.

- (4) The Company shall not cover any redundant claims after paying for claims from the representative of the insured stipulated in (3).
- (5) The entrusted party must submit proof of trust and a seal registration certificate of the entrusted in addition to documents mentioned in (2) in cases in which a third party has been entrusted by the insured or beneficiary.

- (6) The Company may request the submission of other documents or proof not stated in (2) or (5), and may ask the policyholder, insured, or beneficiary for cooperation in an inspection conducted by the Company regarding the details of the accident or extent of injuries. In this event, the requested documents or proof shall be submitted promptly, and they must cooperate with the Company as needed.
- (7) The Company shall deduct any amount of damages sustained in cases where the policyholder, insured, or beneficiary violates the duties stipulated in (6) without legitimate reason, reported false details on documents stated in (2), (3), (5) and (6), or fabricates or alters those documents or proof.

(\*1) Restricted to the legal spouse.

**Article 26 (Payment period of benefits)**

- (1) The Company shall pay insurance claims after verifying the details in the table below required for paying insurance claims within 30 days of the file completion date(\*1).

①	Cause and situation of accident, extent of any injuries, and details and facts regarding the insured as items that need to be verified for insurance claims to be covered;
②	The existence or non-existence of facts applicable to any of the reasons prescribed in this insurance contract as reasons for not paying insurance benefits, which are necessary to confirm whether any reasons exist for not paying insurance claims.
③	Extent of injuries or the relationship between the accident, any treatment and details, and injuries as items that need to be verified for the calculation of insurance claims;
④	Circumstances falling under the cases of termination, invalidation, voiding, or cancellation of this insurance contract that need to be verified for the effectiveness of the contract;

- (2) In the event the special inquiries or inspections stated in the table below are indispensable in order to verify details in (1) above, the Company shall pay insurance claims within the number of days(\*2) stated in the table below calculated from the file completion date(\*1), regardless of the provision in (1). In this event, the Company shall notify the insured or beneficiary of the items that need verification and the estimated number of days required.

①	180 days for inquiries of investigations and inspection results conducted by public organizations such as the police, prosecutors, or firefighters(*3) in ① through ④ of the table in (1);
②	90 days for inquiries into the judgment results from examinations by medical institutions, investigative bodies, and expert organizations in order to verify the details in ① through ④ of the table in (1);
③	120 days for inquiries into the judgment of medical diagnoses, examinations, and recognition of physical disabilities by professional organizations in order to verify the details in ③ of the table in (1);
④	60 days for inspections to verify the details in ① through ④ of the table in (1) in regions struck by disaster as applicable under the Disaster Relief Act;
⑤	180 days for inspections away from Japan in the event that no alternative method to verify the details in ① through ④ of the table in (1) in Japan.

- (3) Delays for verification shall not be included in the number of days stated in (1) nor (2) in the case that the policyholder, insured, or beneficiary hindered the verification stated in (1) or (2) without legitimate reason, or did not comply with these procedures(\*4).

- (4) The payment of insurance claims under the provision of (1) or (2) shall be made in Japan and in the Japanese currency except in cases where a special agreement has been made in advance otherwise between the policyholder, the insured or the beneficiary of insurance claims and the Company.

(\*1) The date the insured completed procedures as stipulated in the Article 25 (Filing insurance claims) (2), (3), and (5) by the insured or beneficiary.

(\*2) If cases fall under multiple periods, the longest number of days.

(\*3) Includes inquiries according to the Attorneys Act and other ordinances.

(\*4) Includes when necessary cooperation is not provided.

**Article 27 (Request for medical certificates created by doctor appointed by the Company)**

- (1) The Company may request the policyholder, the insured or the beneficiary of insurance claims to submit a medical certificate or postmortem certificate of the insured prepared by a doctor of medicine appointed by the Company to the extent necessary for verifying the extent of an injury or paying an insurance claim in cases where notice is received under the provision of Article 24 (Accident notice) or where a request is received under the provision of Article 25 (Filing insurance claims).

- (2) Necessary expenses incurred (\*2) in obtaining medical certificates or postmortem certificates(\*1) shall be borne by the Company.

(\*1) Refers to the medical verification of death of the corpse.

(\*2) Does not include revenue loss.

**Article 28 (Statute of limitations)**

Insurance claim rights are terminated by the statute of limitations if 3 years have passed starting from the day following the time stipulated in Article 25 (Filing insurance claims) (1).

**Article 29 (Subrogation)**

The rights of the insured or beneficiary of the insurance claim to damages against a third party for injuries sustained shall not be transferred to the Company even after the Company pays for an insurance claim.

**Article 30 (Changes to the beneficiary for death benefits)**

- (1) The legal heir of the insured shall be the beneficiary of death benefits in cases where the policyholder did not designate the beneficiary of death benefits when entering the insurance contract.

- (2) The policyholder may change the beneficiary of death benefits after entering the insurance contract until the time the insured passes away.

- (3) The policyholder shall inform the Company of the fact that a change was made for the beneficiary of death benefits under the provision of (2) above.

- (4) It shall be understood that the change of the beneficiary of death benefits has taken effect at the time when the policyholder sends notice under the provision of (3) above and is received by the Company. However, the Company shall not pay any more death benefits even if claims for death benefits are made in cases where the Company has already paid, prior to receiving the notice, death benefits to the beneficiary of death benefits named before the change

was made.

- (5) The policyholder may change the beneficiary of death benefits by means of a legally valid will.

- (6) In cases where a change is made of the beneficiary of death benefits, the change shall not be effective against the Company unless the policyholder's legal heir informs the Company of the fact after the will has taken effect. Moreover, the Company shall not pay any more death benefits even if claims for death benefits are made in cases where the Company has already paid, prior to receiving the notice, death benefits to the beneficiary of death benefits named before the change was made.

- (7) Any changes made to the appointment of the beneficiary for death benefits other than the legal heir as stipulated in (2) and (5) shall not be effective without consent from the insured.

- (8) In cases where the beneficiary of death benefits dies before the insured, the legal heir(\*1) of the beneficiary at the time of his or her death shall be the beneficiary of death benefits for the insured.

- (9) The policyholder may not designate or change persons other than the insured to be the beneficiary of insurance claims other than for death benefits.

(\*1) In cases where legal heirs have passed away, the successive legal heir shall be designated.

**Article 31 (Multiple beneficiaries of death benefits)**

- (1) The Company may ask for the appointment of one representative in cases where there are two and more beneficiaries of death benefits under this insurance contract. In these cases, the appointed representative shall act as a proxy for the other beneficiaries.

- (2) Any actions taken by the Company towards one of the beneficiaries shall be regarded as equally applicable to all other beneficiaries in cases where the representative mentioned in (1) above is not designated or his or her whereabouts are unknown.

**Article 32 (Impending lawsuits)**

Lawsuits concerning this insurance contract shall be instituted in Japanese courts.

**Article 33 (Applicable laws)**

Provisions not regulated in these insurance clauses shall conform to Japanese laws and ordinances.

**Chart 1: Parts That Have Considered to Be Treated with a Plaster Cast, etc.**

1. Long bone(\*1) and spinal column
  2. Three major joints(\*2) in the upper or lower limb that are directly connected to the long bone(\*1)
  3. Ribs and sternum(\*3)
  4. Jaw bone or temporomandibular joint(\*4)
- (\*1) Long bone refers to the humerus, radius, ulna, femur, tibia and fibula.  
(\*2) Three major joints refers to shoulder joints, elbow joints, hand joints, hip joint, knee joint, and foot joint.  
(\*3) Limited to when the trunk is fixed in place  
(\*4) Limited to when the upper/lower joints are integrally fixed in place with a wire splint, etc.

**Chart 2: Activities in the table in ① of (1) in Article 4 (Insurance claims not covered - 2) Mountain climbing(\*1), lugging, bobsledding, aircraft(\*2) operation(\*3), skydiving, hang gliding, ultralight-powered motor sports (\*4), gyroplanes, and other risk involved activities.**

- (\*1) Activity that uses mountain pick axes, crampons, rope, hammers, and other mountain climbing tools.  
(\*2) Excludes gliders and airships.  
(\*3) Excludes cases when piloting as a profession.  
(\*4) Excludes motor hang gliding, micro-/ultra-light machines, and ultralightpowered parachutes(\*5).  
(\*5) Refers to paraplanes, etc.

**Chart 3: Classes of Physical Disability**

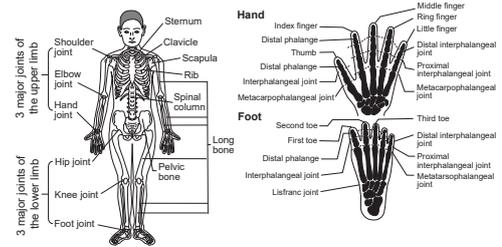
Class	Physical Disability	Benefit Payment Percentage
Class 1	(1) Loss of sight in both eyes (2) Loss of masticatory and speech functions (3) Marked impairment of functions of the nervous system and psyche, requiring regular nursing care (4) Marked impairment of functions of thoracoabdominal internal organs, requiring regular nursing care (5) Loss of both upper limbs above the elbow joints (6) Total loss of function of both upper limbs (7) Loss of both lower limbs above the knee joints (8) Total loss of function of both lower limbs	150%
Class 2	(1) Loss of sight in 1 eye, while the corrected vision in the other eye (vision shall be measured in accordance with international visual acuity measurement standards; the same applies hereafter) is 0.02 or less. (2) The corrected vision in both eyes is 0.02 or less. (3) Marked impairment of functions of the nervous system and psyche, requiring nursing care as needed. (4) Marked impairment of functions of thoracoabdominal internal organs, requiring nursing care as needed. (5) Loss of both upper limbs above the hand joints. (6) Loss of both lower limbs above the foot joints.	133.5%
Class 3	(1) Loss of sight in 1 eye, while the corrected vision in the other eye is 0.06 or less. (2) Loss of masticatory or speech function. (3) Marked impairment of functions of the nervous system and psyche, resulting in loss of the ability to engage in labor for the rest of one's life. (4) Marked impairment of functions of thoracoabdominal internal organs, resulting in loss of the ability to engage in labor for the rest of one's life. (5) Loss of all fingers in both hands (loss of fingers refers to loss of thumb above the interphalangeal joint and loss of the rest of fingers above the proximal interphalangeal joint; the same applies hereafter).	117%
Class 4	(1) The corrected vision in both eyes is 0.06 or less. (2) Marked impairment of masticatory and speech functions. (3) Total loss of hearing in both ears. (4) Loss of 1 upper limb above the elbow joint. (5) Loss of 1 lower limb above the knee joint. (6) Impairment of function of all the fingers of both hands (impairment of function of all fingers refers to loss of more than half of the distal phalanges of the fingers, or marked motor impairment of the metacarpophalangeal joint or proximal interphalangeal joint, or interphalangeal joint for the thumb; the same applies hereafter). (7) Loss of both feet above the Lisfranc joint.	103.5%

Class	Physical Disability	Benefit Payment Percentage
Class 5	(1) Loss of sight in 1 eye, while the corrected vision in the other eye is 0.1 or less. (2) Marked impairment of functions of the nervous system and psyche, resulting in loss of the ability to engage in labor other than particularly simple and light work. (3) Marked impairment of functions of thoracoabdominal internal organs, resulting in loss of the ability to engage in labor other than particularly simple and light work. (4) Loss of 1 upper limb above the hand joint. (5) Loss of 1 lower limb above the foot joint. (6) Total impairment of function of 1 upper limb. (7) Total impairment of function of 1 lower limb. (8) Loss of all toes of both feet (loss of toes refers to loss of all toes; the same applies hereafter).	88.5%
Class 6	(1) The corrected vision of both eyes is 0.1 or less. (2) Marked impairment of masticatory or speech function. (3) Impairment of hearing in both ears such that if one does not speak close to the ears, the person cannot understand anything spoken in a loud voice. (4) Complete loss of hearing in 1 ear, while the other ear is so impaired that the person cannot hear ordinary conversation 40 cm or more away. (5) Marked deformation or motor impairment of the spinal column. (6) Loss of function of 2 of 3 major joints of 1 upper limb. (7) Loss of function of 2 of 3 major joints of 1 lower limb. (8) Loss of 5 fingers or 4 fingers including thumb on 1 hand.	75%
Class 7	(1) Loss of sight in 1 eye, while the corrected vision in the other eye is 0.6 or less. (2) Hearing is so impaired in both ears that the person cannot hear ordinary conversation 40 cm or more away. (3) Complete loss of hearing in 1 ear, while the other ear is so impaired that the person cannot hear ordinary conversation 1 m or more away. (4) Impairment of functions of the nervous system and psyche, resulting in loss of the ability to engage in labor other than simple and light work. (5) Impairment of functions of thoracoabdominal internal organs, resulting in loss of the ability to engage in labor other than simple and light work. (6) Loss of 3 fingers including thumb, or 4 fingers excluding thumb, on 1 hand. (7) Loss of function of all fingers, or 4 fingers including thumb, of 1 hand. (8) Loss of 1 foot above the Lisfranc joint. (9) Pseudoarthrosis on 1 upper limb, leaving marked motor impairment. (10) Pseudoarthrosis on 1 lower limb, leaving marked motor impairment. (11) Loss of function of all toes of both feet (loss of function of toes refers to the loss of half or more of the distal phalange of the first toe, or loss of all the other toes above the distal interphalangeal joint, or marked impairment in the metatarsophalangeal joint or the proximal interphalangeal joint (interphalangeal joint for the first toe); the same applies hereafter.) (12) Marked deformity in external appearance. (13) Loss of both testicles.	63%
Class 8	(1) Loss of sight in 1 eye, while the corrected vision in the other eye is 0.02 or less. (2) Motor impairment in the spinal column. (3) Loss of 2 fingers including thumb, or loss of 3 fingers excluding thumb of 1 hand. (4) Loss of function of 3 fingers including thumb, or 4 fingers excluding thumb of 1 hand. (5) Shortening of 1 lower limb by 5 cm or more. (6) Loss of function of 1 of 3 major joints of 1 upper limb. (7) Loss of function of 1 of 3 major joints of 1 lower limb. (8) Pseudoarthrosis on 1 upper limb. (9) Pseudoarthrosis on 1 lower limb. (10) Loss of all toes of 1 foot.	51%
Class 9	(1) The corrected vision of both eyes is 0.6 or less. (2) The corrected vision of 1 eye is 0.06 or less. (3) Half-blindness, tunnel vision or distorted vision in both eyes. (4) Marked defect in both eyelids. (5) Defect in the nose that leaves a marked impairment in its function. (6) Impairment of masticatory and speech functions. (7) Impairment of hearing in both ears such that the person cannot hear ordinary conversation 1 m or more away. (8) Impairment of hearing in 1 ear such that if one does not speak close to the ears, the person cannot understand anything spoken in a loud voice, while the other ear has difficulty hearing ordinary conversation 1 m or more away. (9) Complete loss of hearing in 1 ear. (10) Impairment of functions of the nervous system and psyche to the extent that the kind of work the person can engage in is considerably limited. (11) Impairment of functions of thoracoabdominal internal organs to the extent that the kind of work the person can engage in is considerably limited. (12) Loss of 1 thumb, or 2 fingers excluding the thumb, of 1 hand. (13) Loss of function of 2 fingers including the thumb, or 3 fingers excluding thumb, of 1 hand. (14) Loss of at least 2 toes, including the first toe, of 1 foot. (15) Loss of function of all the toes of 1 foot. (16) Considerable deformity in external appearance. (17) Marked impairment of the genitalia.	39%
Class 10	(1) The corrected vision of 1 eye is 0.1 or less. (2) Double vision in direct light viewing angle. (3) Impairment of masticatory or speech function. (4) Dental prosthesis in 14 or more teeth. (5) Impairment of hearing in both ears such that the person has difficulty hearing ordinary conversation 1 m or more away. (6) Impairment of hearing in 1 ear such that if one does not speak close to the ears, the person cannot understand anything spoken in a loud voice. (7) Loss of function of the thumb or 2 fingers other than the thumb of 1 hand. (8) Shortening of the lower limb by 3 cm or more. (9) Loss of the first toe or the rest of the 4 toes of 1 foot. (10) Marked impairment of 1 of 3 major joints of 1 upper limb. (11) Marked impairment of 1 of 3 major joints of 1 lower limb.	30%
Class 11	(1) Marked impairment of regulatory or motor function of both eyeballs. (2) Marked impairment of motor functions of both eyelids. (3) Marked defect in 1 eyelid. (4) Dental prosthesis in 10 or more teeth. (5) Deterioration of hearing in both ears such that the person cannot understand conversation in a low voice 1 m or more away. (6) Impairment in the hearing of 1 ear such that the person cannot understand conversation in an ordinary voice 40 cm or more away. (7) Deformation of spinal column. (8) Loss of index finger, middle finger or ring finger of 1 hand. (9) Loss of function of 2 toes, including the first toe, of 1 foot. (10) Impairment of the functions of thoracoabdominal internal organs such that there is considerable hindrance to performing work.	22.5%

Class	Physical Disability	Benefit Payment Percentage
Class 12	(1) Marked impairment of regulatory or motor function of 1 eyeball. (2) Marked impairment of motor function of 1 eyelid. (3) Dental prosthesis in 7 or more teeth. (4) Damage to most of the auricle of 1 ear. (5) Marked deformation of the clavicle, sternum, ribs, scapula and pelvic bone. (6) Impairment of function of 1 of 3 major joints of 1 upper limb. (7) Impairment of function of 1 of 3 major joints of 1 lower limb. (8) Deformation of long bone. (9) Loss of 1 little finger of 1 hand. (10) Loss of function of index finger, middle finger, or ring finger of 1 hand. (11) Loss of the second toe, 2 toes including the second toe, or the last 3 toes of 1 foot. (12) Loss of function of the first toe, or the other 4 toes, of 1 foot. (13) Inveterate neurological symptom in a localized area. (14) Deformity in external appearance.	15%
Class 13	(1) The corrected vision in 1 eye is 0.6 or less. (2) Half-blindness, tunnel vision or distorted vision in 1 eye. (3) Double vision in viewing angles other than direct light. (4) Defect in part of both eyelids, or balding of eyelashes. (5) Dental prosthesis in 5 or more teeth. (6) Impairment of functions of thoracoabdominal internal organs. (7) Loss of function of little finger of 1 hand. (8) Partial loss of phalange of thumb of 1 hand. (9) Shortening of 1 lower limb by 3 cm or more. (10) Loss of 1 or 2 of the last 3 toes of 1 foot. (11) Loss of function of the second toe, 2 toes including the second toe, or the last 3 toes of 1 foot.	10.5%
Class 14	(1) Defect in part of 1 eyelid, or balding of eyelashes. (2) Dental prosthesis in 3 or more teeth. (3) Deterioration of hearing in 1 ear such that the person cannot understand conversation in a low voice 1 m or more away. (4) Unsightly palm-sized scar on the exposed surface of 1 upper limb. (5) Unsightly palm-sized scar on the exposed surface of 1 lower limb. (6) Partial loss of phalange of 1 finger other than thumb of 1 hand. (7) The distal interphalangeal joint of 1 finger other than the thumb of 1 hand cannot be stretched. (8) Loss of function of 1 or 2 toes of the last 3 toes of 1 foot. (9) Neurological symptom in a localized area.	6%

Note 1: The stipulation "above" in regard to injuries of the upper limb, lower limb, fingers and toes refers to the part of the body closer to the heart from the joint thereof.

Note 2: Explanatory drawing of the joint and others



(Note) Accidents that occur while commuting to school or when in transit between school facilities shall only be covered if the insured is enrolled in PAS with the additional coverage for commuting accidents.

#### IV. Additional coverage for commuting accidents

##### Article 1 (Insurance claims covered)

- The Company shall cover<sup>(\*)4</sup> injuries sustained by the insured from accidents that occur while commuting to and from university classes, school events, and extracurricular activities between the insured's residence<sup>(\*)3</sup> and school facilities or while in transit between school facilities by reasonable route(s) and methods<sup>(\*)2</sup> under this coverage<sup>(\*)1</sup>.
- The periods while or after deviating from the path or interrupting the commute/transit shall not be included as "commuting to and from" or "in transit" stated in (1) However, deviating or stopping during the commute on reasonable routes will be included as "commuting to and from" or "in transit" stated in (1) if for purchasing materials necessary for class, school events or extracurricular (club) activities, or during the minimum time necessary for acts considered unavoidable in everyday life.
  - (\*1) Standard Provisions for Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research. Same for below in this coverage.
  - (\*2) Excludes methods prohibited by the university.
  - (\*3) This includes the place of employment for those who enter the university/college after passing the entrance exam for adults.
  - (\*4) Refers to death, disability, and medical benefits. Same for below in this coverage.

##### Article 2 (Definition of terms)

The terms used in this coverage shall be defined by their respective meanings in the table below.

	Term	Definition
①	Classes	Classes; including the following: a. Research for a graduation thesis or dissertation under the supervision of an educator. However, this excludes research conducted solely in locations involving private circumstances. b. Research conducted in the university/college library, reference room, language learning facility, or other locations in the preparation and clean up of lessons under the supervision of an educator.
②	School facilities	Facilities owned, used or managed by schools for educational and research purposes, including locations used for conducting classes, school events or extracurricular activities.

	Term	Definition
③	Necessary everyday activities	This shall include the following: a. Purchasing everyday items or similar activity. b. Voting in an election or similar activity. c. Visiting a hospital or clinic for a medical check up or treatment or similar activity.
④	Entrance exam for adults	The entrance exam for working members of society who are admitted under different methods than general applicants for admission, such as by the special selection exam for adults.

#### Article 3 (Payment of claims)

The Company shall pay the calculated amount based on Article 5 (Death benefits), Article 6 (Physical disability benefits), or Article 7 (Medical benefits) in the event the insured sustains a physical injury as mentioned in Article 1 (Insurance claims covered) of the coverage clauses and is entitled to a claim, and falls under ② in the table in Article 2 (Insurance claims covered) (1) of the Standard Provisions.

#### Article 4 (Filing an insurance claim)

The insured or beneficiary must submit proof of accident from the university as well as the following documents besides documents stipulated in Article 25 (Insurance claim form) (2) of the Standard Provisions in the event of filing a claim under Article 1 (Insurance claims covered).

#### Article 5 (Applicable provisions)

The Standard Provisions that do not go against this coverage shall be applied for items not regulated in this coverage.

**(Note) Measures received to prevent infectious diseases for infections through contact shall only be covered if the insured is enrolled in PAS with the additional coverage for the prevention of contact infection.**

## V. Additional coverage for the prevention of contact infection

#### Article 1 (Insurance claims covered)

(1) The Company shall pay the insured contact infection prevention benefits according to the table below in the event that the insured is infected within 180 days, inclusive of the date of the accident, as a direct result of injuries sustained from an accident<sup>(\*)</sup> in Article 2 (Insurance claims covered) of the Standard Provisions<sup>(\*)</sup> and receives contact infection prevention measures. However, contact infection prevention benefits shall only be paid for injuries once per accident.

Contact Infection Prevention Benefits	15,000 yen
---------------------------------------	------------

(\*1) Standard Provisions for Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research. Same for below in this coverage.

(\*2) Accidents caused by injuries in Article 2 of Standard Provisions. Same for below in this coverage.

#### Article 2 (Definition of terms)

The terms used in this coverage shall be defined by their respective meanings in the table below.

	Term	Definition
①	Contact infection	The insured's unexpected direct or indirect contact <sup>(*)</sup> with infectious <sup>(*)</sup> pathogens within a facility used for the purpose of clinical training.
②	Clinical training	Training conducted at hospitals and other facilities <sup>(*)</sup> .
③	Measures to prevent infectious disease	Examination or administration of drugs for the purpose of preventing the transmission of infectious pathogens or outbreak of an infectious disease. However, these actions are limited to those cases governed by instruction and guidance from a medical professional.

(\*1) Infectious disease as stated in Item 1 of Article 6 of the law regarding Disease Prevention and Medical Care for the Patients. Same for below in this coverage.

(\*2) Includes risk of contact.

(\*3) Hospitals or clinics, etc. Same for below in this coverage.

#### Article 3 (Filing an insurance claim)

- Insurance claim rights may be exercised toward the Company after receiving measures for preventing infectious diseases.
- The insured must submit the documents requested in (3) in the event the insured files a claim for contact infection prevention benefits.
- Documents to be submitted to the Company shall follow the table below.

①	Insurance claim document designated by the Company;
②	Accident report designated by the Company;
③	Proof of accident from the hospital the accident occurred at;
④	Medical certificate from the doctor who implemented measures for preventing infectious disease within 180 days of the accident, inclusive of the day of the accident, as proof;
⑤	A seal registration certificate of the insured;
⑥	Consent form from the Company requesting inquiry or explanation from the hospital or doctor concerning the measures taken on the insured for preventing infectious diseases;
⑦	Proof of trust and a seal registration certificate of the entrusted in cases in which a third party has been entrusted to file a claim for contact infection prevention benefits.
⑧	Requisite documents required to confirm details as stipulated in the Article 26 (Payment period of benefits)(1) of the Standard Provisions and other documents prescribed by the Company issued in writing at the time of entering the contract as proof.

#### Article 4 (Amendments for Standard Provisions)

The amendments in the following table shall apply to the Standard Provisions of this coverage.

	Clause	Before Amendment	After Amendment
①	Article 24 (Accident report)(1)	situation of the occurred accident and extent of injuries	situation of the occurred accident and details of measures for preventing infectious disease and time elapsed

	Clause	Before Amendment	After Amendment
②	① in the table of Article 26 (Payment period for benefits)(1)	existence of any injuries	existence of any measures taken for preventing infectious diseases
③	in the table of Article 26	extent of injuries or the relationship with the accident	relationship with the accident and measures for preventing infectious diseases
④	Article 28 (Statute of limitations)	Article 25 (Filing an insurance claim)(1)	Article 3 (Filing an insurance claim)(1) for this coverage

#### Article 5 (Applicable provisions)

The Standard Provisions that do not go against this coverage shall be applied for items not regulated in this coverage.

## VI. Endorsement concerning coinsurance

#### Article 1 (Independent responsibility)

This insurance contract is a coinsurance arrangement by insurance companies stated in the policy and the insurance companies stated in the insurance policy bear rights and obligations under the insurance contract, not jointly but separately, in accordance with its underwriting share determined at the time of acceptance.

#### Article 2 (Role of the leading insurance company)

The insurance company designated as the leading insurance company of this insurance contract at the time when the policyholders enter the insurance contract, shall be in charge of the following matters:

①	Receive applications for insurance, and issue and deliver insurance policies;
②	Collect, receive, or return insurance premiums;
③	Approve changes in the details of the insurance contract or cancel the insurance contract;
④	Receive documents regarding declarations or notices under the provisions of the insurance contract and to approve such declarations or notices;
⑤	Receive documents regarding notice of the transfer of rights to a claim and approve such transfer; or to receive documents regarding notice of effecting a lien on the rights to the claim, transfer, or termination; and to approve such lien, transfer or termination;
⑥	Issue and deliver notice confirming the completion of a procedure for changes in insurance contracts or make endorsements to insurance policies;
⑦	Investigate the objects of insurance and other matters related to insurance contracts;
⑧	Receive documents notifying the occurrence of an accident or damage or documents about filing for claims;
⑨	Investigate or survey damage, pay claims and preserve the rights of the insurance companies stated in the insurance policy;
⑩	Attend to other matters incidental to the work or business mentioned in ① through ⑨ above.

#### Article 3 (Effect of acts done by the leading insurance company)

Any items performed by the leading insurance company in Article 2 (Items performed by the leading insurance company) of this contract shall be deemed as representative for all insurance companies mentioned in the insurance policy.

#### Article 4 (Effect of acts done by the policyholders)

Notices and other acts performed by the policyholders, etc. to the leading insurance company shall be deemed as representative for all insurance companies mentioned in the insurance policy.

## VII. Coverage clauses of Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research

Japan Educational Exchanges and Services (hereinafter as "JEES"), Aioi Nissay Dowa Insurance Co., Ltd., Sompo Japan Nipponkoa Insurance Inc., Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd., and Mitsui Sumitomo Insurance Co., Ltd. (hereinafter as "the underwriting companies") agree to the following clauses of the insurance contract (hereinafter as "insurance contract") and, the Coverage Clauses on Changes in Payment Requirements for Outpatient Treatment Insurance Claims and Additional Coverage for Commuting Accidents (hereinafter "Commuting Coverage"), Additional coverage for the prevention of contact infection (hereinafter as "Contact infection coverage"). The underwriting companies shall conduct all matters relating to this insurance contract including the conclusion of insurance contracts, receipt of premiums and payment of claims based on this agreement, by appointing Tokio Marine & Nichido Insurance Co., Ltd. as the representative insurance company.

It is also understood and agreed that JEES and the underwriting companies shall cooperate in the sound operation of business in line with the objectives of this insurance as a system for compensating university students for accidents during their educational and research activities.

### Chapter 1. Matters for the Acceptance of an Insurance Contract

#### (Policyholder and the insured)

Article 1 The policyholder hereunder shall be JEES and the insured mentioned in Article 1 of the Standard Provisions shall be students (meaning students enrolled in university programs, studies at a junior college, graduate courses in graduate schools, regular courses in technical colleges, or non-degree courses for graduates and other courses, including exchange students, auditors, research students, and nondegree students) enrolled in universities or technical colleges who are supporting members of JEES and are established by the School Education Law etc. (hereinafter referred to as "member universities").

#### (Scope of accidents covered)

Article 2 Insurance claims shall be paid according to the Standard Provisions when the insured sustains a physical injury as a result of a sudden or unexpected accident of an external origin during "the scope of the regular curriculum, school events, school facilities, or extracurricular activities" mentioned in Article 2 of the Standard Provisions. Insurance claims shall also be paid according to Article 1 of Commuting coverage or Article 1 of Contact infection coverage in cases where additional coverage has been added.

2. "During classes" mentioned in Article 1 (During the regular curriculum) of the Standard Provisions shall include the following periods:
  - (1) While engaged in a curriculum at another university or junior college in accordance with Article 28 of the Standards for Establishment of Universities and Article 15 of Standards for Establishment of Graduate Schools, or while engaged in a curriculum of another technical college in accordance with Article 19 of the Standards for Establishment of Technical Colleges. Moreover, "another university or junior college" mentioned in this paragraph shall include universities in foreign countries.
  - (2) During schooling for correspondence students

**(Insurance amounts and premiums)**

- Article 3 Death benefits for an insured individual of this insurance contract shall be 20 million yen or 12 million yen under Article 5 of the Standard Provisions.
2. Premiums per insured person hereunder shall be provided on separate sheet 1.
  3. Insurance periods shall be rounded up to a year when calculating premiums for liability periods less than a year.
  4. Insurance periods for additional coverages shall be rounded up to a year when calculating premiums for liability periods less than a year in cases of adding commuting or contact infection coverage in the middle of the period of insurance.

**(Additional charge, refund methods)**

- Article 4 Additional charges and refund of premiums shall be conducted as follows:
- (1) The underwriting companies shall refund premiums according to provisions in Article 21 and Article 22 of the Standard Provisions in the event that all or a part of the insurance contract was voided, invalidated, or cancelled. Also, refund of premiums shall be made according to Article 20 Item 1 No. 2 of the Standard Provisions in the event the insured withdraws from school.
  - (2) The underwriting companies shall charge or refund the difference in amounts after subtracting the premiums for earned periods from applicable premiums (corresponding to the period of insurance of the insured) for changes in daytime, evening, or correspondence classes.
  - (3) The underwriting companies shall refund the difference in amounts after subtracting the premiums for the period of absence (periods less than a year shall be rounded up to 1 year) from the period of liability in the event the insured will be absent from school for a total of 1 year or more during the period of insurance.

**Chapter 2. Matters of Liability**

**(Period of liability)**

Article 5 The period of liability shall be as follows, regardless of the provision in Article 10 Item 1 of the Standard Provisions:

- (1) Students admitted in April
  - a. When an application for insurance together with the payment of the premium is made to the member universities, etc. by the end of March for new students admitted in April, the period of liability for the insured will begin from 0:00 a.m. of April 1 and end at 12 p.m. on March 31 of the expected graduating year.
  - b. The period of liability shall begin from 0:00 a.m. of the day subsequent to the application with the payment of the premium to member universities, etc. until 12 p.m., March 31 of the expected graduating year for periods other than stated in the above.
- (2) Students admitted in September
  - a. When an application for insurance together with the payment of the premium is made by the end of August for new students admitted in September, the period of liability for the insured will begin from 0:00 a.m. of September 1 and end at 12 p.m. on August 31 of the expected graduating year.
  - b. The period of liability shall begin from 0:00 a.m. of the day subsequent to the application with the payment of the premium to the member university until 12 p.m. on August 31 of the expected graduating year for periods other than stated above.
- (3) Students admitted in October
  - a. When an application for insurance together with the payment of the premium is made by the end of September for new students admitted in October, the period of liability for the insured will begin from 0:00 a.m. of October 1 and end at 12 p.m. on September 30 of the expected graduating year.
  - b. The period of liability shall begin from 0:00 a.m. of the day subsequent to the application with the payment of the premium to member universities until 12 p.m., September 30 of the expected graduating year for periods other than stated in the above.
- (4) The insurance liability period for the year of new enrollment shall begin from 0:00 of the determined "enrollment date" in cases in which a faculty has decided on the "enrollment date" and "enrollment for all students" in university departments, junior college departments, and graduate schools, and the university bears the cost for premiums for all students. However, the commencement of the liability period for insurance cannot be earlier than the date of determination.
- (5) In the case of the above provision, continued enrollment shall commence from 0:00 a.m. on either April 1, September 1, or October 1.

**(Underwriting shares of insurance)**

Article 6 The shares of the underwriting companies in this insurance contract shall be determined separately. It is agreed and understood that the underwriting companies shall have rights and obligations, not jointly but separately, under this insurance contract.

**Chapter 3. Matters concerning the business administration, rights and obligations of member universities, etc. and JEES and the underwriting companies**

**(Responsibility of safekeeping corresponding premiums)**

Article 7 JEES shall request the member universities, etc. to keep the amount of corresponding premiums received for the underwriting companies, separately from any other assets of the member universities.

**(Corresponding premiums and report of books and records)**

Article 8 The underwriting companies may request JEES to report on the money, books and records it keeps when it is deemed necessary to do so under this insurance contract. Also, JEES shall, upon request of the underwriting companies, request the member universities, etc. to report to the underwriting companies on the money, books and records kept by them.

**(Preparation and keeping of enrolled list)**

Article 9 JEES shall request the member companies to prepare 3 lists of enrolled

students, of which one shall be retained by the member university, etc. and two copies shall be submitted to JEES. Upon receipt of the two copies, JEES must send a copy thereof to the underwriting companies, while safekeeping the remaining copy.

2. JEES may forgo with the keeping of the enrolled students list and the sending thereof to the underwriting companies in the case of "enrollment of all students" provided for in (3) of Article 5, regardless of the preceding provision. It is understood, however, that JEES must request the member universities, etc. to prepare a list of enrolled students so that it may be made available at any time for review by the member universities, etc.

**(Handling of changes)**

Article 10 JEES shall request the member universities, etc. to provide written notification with the submission of certification in any of the following cases:

- (1) The insured changes from day classes, evening classes, or correspondence classes, or withdraws from school;
- (2) The insured will be absent from school for 1 year or more in total during the period of liability;
  2. The submission of certification mentioned in the above provision must be made each time a change is made in the case of (1) above or without delay after the period of absence ends in the case of (2) above.
3. JEES must inform the underwriting companies without delay when a notice is received from the member universities, etc. about any of the matters provided for in the previous two items.

**(Proof of accident)**

Article 11 JEES shall request the member universities, etc. to do the following when the insured files for a claim:

- (1) JEES shall request the member university concerned to confirm that the accident arose "during regular curriculum or while participating in a school event" and issue and send in the certification when an accident falls under Article 2 Item 1 No. 1 of the Standard Provisions.
- (2) JEES shall request the member university concerned to confirm that the accident arose "while on school premises other than for the above provision" and issue and send in the certification when an accident falls under Article 2 Item 1 No. 2 of the Standard Provisions.
- (3) JEES shall, as the need arises, request the member university, etc. concerned to issue certification to prove that the university has been notified in advance of the activity carried out by the students' group within the campus (meaning a group approved by the university under the prescribed procedure in accordance with its rules and regulations), of which the insured is a member when an accident falls under Article 2 Item 1 No. 3 of the Standard Provisions.
- (4) When an accident falls under Article 1 Item 1 of the agreement, the following shall apply in the event the insured has enrolled in commuting coverage.
  - a. JEES shall request the member university, etc. concerned to verify the time and date of the accident, the location of the accident, the location for the scheduled activity on the date of the accident, the scheduled details of the activity, the scheduled starting time of the activity and the ordinary commuting route and method when the accident occurs on the way from the insured's residence to school facilities. However, there is no need to verify the time and date of the accident, the location of accident, and ordinary commuting route and method if the member university, etc. has no means to obtain this information.
  - b. JEES shall request the member university, etc. concerned to verify the time and date of the accident, the location of the accident, the location of the activity on the date of the accident, the details of the activity, the closing time of the activity, the time of departure from school facilities, etc. where the activity was carried out, and the ordinary commuting route and method when the accident occurred on the way from school facilities to the insured's residence. However, there is no need to verify the time and date of the accident, the location of accident, the time of departure from school facilities, and ordinary commuting route and method if the member university, etc. has no means to obtain this information.
  - c. JEES shall request the member university, etc. concerned to verify the time and date of the accident, the location of the accident, the location of the activity at the destination on the date of the accident, the scheduled starting time of the activity, the time of departure from school premises, and the ordinary commuting route and method when the accident occurred while in transit between school facilities. However, there is no need to verify the time and date of the accident, the location of accident, the time of departure from school premises, and ordinary commuting route and method if the member university, etc. has no means to obtain this information.
- (5) JEES shall request the member university, etc. concerned to verify that the accident occurred during clinical training under Article 1 of the Contact infection coverage when the insured is covered by the contact infection coverage. However, there is no need to verify this if the member university, etc. has no means to obtain this information.

**(Notice of enrollment)**

Article 12 JEES shall inform the underwriting companies of enrolled students' names for the previous 2 months by the end of each month.

2. In cases of delay or omission in the above procedure for reasons of bad faith or gross negligence on the part of JEES, the Company shall regard an amount calculated by the following formula as an insurance claim payable for an injury sustained for each insured student.

Each claim for insured persons	=	The insurance amount for one insured person under the insurance policy	×	$\frac{\text{The total premiums based on the notice before delay or omission}}{\text{The total premiums based on the nonexistence of such delay or omission.}}$
--------------------------------	---	--	---	---

3. JEES shall pay insurance premiums for the insured concerned even after the termination of the period of insurance in cases of delay or omission in the notice mentioned in the provision in 1 above. This provision shall, however, not apply in cases insurance claims have already been paid in accordance with the preceding provision.
4. The provision in Item 2 above shall not apply in cases where one month has passed since the underwriting companies became aware of delay or omission due to bad faith or gross negligence referred to in Item 2 or five years have passed since the date when there was a delay or omission.

**(Receipt and remittance of the amount equivalent to the insurance premiums)**

Article 13 JEES shall receive the full prescribed amount equivalent to the insurance premiums from a student who wishes to join through a member university etc. and must then remit that amount to underwriting companies by the end of the second month following the month in which the said student joins.

**(Responsibility for safeguarding the amount equivalent to the insurance premiums)**

Article 14 JEES shall safeguard the amount equivalent to the insurance premiums received for underwriting companies separate from its other assets. JEES shall bear liability to pay the insurance premiums to underwriting companies even if they are stolen, lost or destroyed due to another incident while being safeguarded by JEES and the member university etc.

**(Administrative fee, etc.)**

Article 15 Underwriting companies shall pay an administrative fee to the administrator designated by JEES within the range of an amount equivalent to 7% of the amount equivalent to the insurance premiums received from the said administrator.

- Underwriting companies shall not pay anything other than the administrative fee stipulated in the preceding paragraph to the administrator designated by JEES regardless of whether or not there are additional various administrative expenses or other nominal matters. Moreover, underwriting companies shall not bear responsibility of paying any expenses to the member university etc.

**(Compensation for damages)**

Article 16 If JEES or the member university etc. damages underwriting companies by violating this insurance contract, underwriting companies may claim compensation for those damages from JEES.

- If underwriting companies damage JEES by violating this insurance contract,

JEES may claim compensation for those damages from underwriting companies.

**(Discussions pertaining to the payment of insurance money)**

Article 17 Discussions pertaining to the payment of insurance money In the event a difference in opinions arises pertaining to the payment of insurance money between underwriting companies and the insured party, JEES shall reconcile the opinions of both parties through discussions with those parties.

**Chapter 4: Matters Pertaining to the Term of Validity of This Rider****(Term of validity and cancellation of this rider)**

Article 18 The term of validity of this rider shall be from April 1, 2020 to March 31, 2021. However, this rider may be extended for a further year unless one or both of JEES and underwriting companies declares an intent to cancel it in writing at least one month before the expiration of the term of validity; the same shall apply every year thereafter.

- JEES and underwriting companies may revise or cancel part or all of this rider by giving notice in writing at least 30 days in advance.
- An insurance contract already established shall continue to remain valid until the expiration of its term of validity even in the event this rider is canceled pursuant to the provisions in the preceding paragraph.
- In the event this rider is canceled pursuant to the provisions in the preceding two paragraphs, JEES must pay any unpaid insurance premiums without delay to underwriting companies.

**(Mutatis mutandis)**

Article 19 Matters not stipulated in this rider shall be as stipulated in ordinary agreements, other riders, and Japanese laws and ordinances.

## VIII. Explanations of Important Points

### Contract Overview & Points of Attention Explanation

- The Contract Overview gives particularly important information for understanding the details of this product of insurance.
  - The Points of Attention contains matters which may be disadvantageous to enrolling students and other matters which are very important to them. Please be sure to read them.
  - This document does not contain all information about this insurance. Full details are given in the insurance clauses on pages 8 – 15. For questions and concerns, please contact the section in charge at your school. (students section, student support section, health center, etc.)
- (Note) We ask that you please store the pamphlet, copy of application, and enrollment details in a readily available place.

## 1. Contract Overview

### 1. Framework and conditions of acceptance

#### (1) Product framework

This insurance is a group contract between Japan Educational Exchanges and Services (JEES), the policyholder, and students, the insured (those who may receive compensation), who are enrolled in schools that are supporting members of JEES. In principle, JEES reserves the right to request the insurance policy and the right to cancel the insurance contract.

#### (2) Compensation and Period of Insurance (Insurance Contract Period)

Please confirm ① conditions and types of claims payable under this insurance, ② main cases with no compensation, and ③ the

period of insurance and other details on pages 2 – 6.

#### (3) Conditions of acceptance (the insured amount, etc.)

These are the underwriting conditions of the insurance of the prearranged insurance types. Please confirm the details of insurance types on page 1 and on page 5

#### 2. Insurance premiums

Premiums are decided based on the applicable share of premium and other factors. Please confirm the details of premiums on page 1.

#### 3. Maturity refunds and policyholders' dividends

There are no maturity refunds or policyholders' dividends under this insurance.

## 2. Points of Attention

### 1. Duplication of compensation

- In the event that the insured person or their family is already contracted for the same type of insurance product with some other insurer, it is possible that the scope of compensation may be duplicated. Please take time to examine and review the details of your contracts, in accordance with your needs.
- Moreover, in the course of reviewing your contracts in order to avoid duplication of compensation, when terminating contracts with outstanding indemnification, please be aware that any indemnification may not apply in future. Please exercise caution.

### 2. Duty of disclosure

At time of enrollment, the insured party is required to notify the underwriting insurance company of any important matters. (\*1)

- If the insured party failed to disclose any pertinent matters, or if the items disclosed are found to differ from fact, the contract may be terminated or insurance claims may not be payable.
- When concluding an insurance contract on behalf of another person, any failure to disclose pertinent matters, or any variance from fact in regard to disclosed items caused either by conscious intent or major oversight on behalf of the insured party (those who may receive compensation) or that person's representative, and through no fault of the insuring party or their representative(s), shall be treated as indicated above.

(\*1) This includes matters pertaining to other insurance contracts.

### 3. Points of concern after enrollment (duty of notice, etc.)

- Please refer to the details about the obligation to report withdrawal from school and the procedure in the occurrence of an accident on pages 6 to 7. Insurance claims may not be able to be paid or enrollment cancelled without providing notice and conducting procedures.
- Insurance premiums may change depending on the content of the

contact we receive. In this case, we will bill or return premiums calculated for the period after the change in the content occurs in the notification items stated on the tally report etc.

#### 4. Commencement date of coverage

Please confirm on page 2.

#### 5. Main cases not covered under this insurance

Please confirm on page 6.

#### 6. Handling of insolvent insurance companies

In the underwriting event that the insurance company should become insolvent, there may be cases where the payment of claims, refunds, etc. is frozen for a certain period of time or where the amount of claims, refunds, etc. is reduced. Please confirm details on page 17.

#### 7. Coinsurance

For coinsurance, please confirm on the backside of the cover.

#### 8. Handling of private information

Please confirm on page 17.

#### 9. Request for cancellation by the insured

There is a scheme which allows the insured to cancel the enrollment in which he/she is involved. As to details of this scheme and procedures, please inquire using the contact number in the "Handbook for Enrollment." Please explain the content of this scheme to the family members of the insured.

#### 10. Claim of insurance benefit by proxy

If for certain reasons the insured is unable to claim the insurance benefit, and in the absence of a proxy of the insured who is authorized to receive the insurance benefit payment, a family member such as spouse who satisfies specific conditions by the underwriting insurance company may stand as proxy of the insured

in claiming the insurance benefit. As to details, please inquire using the contact number in the “Handbook for Enrollment.” Please explain the content of this scheme to the family members of the insured.

**11. Cancellation due to revocation of enrollment, nullification or significant reasons**

- In the event that the policyholder, the insured or recipient of insurance money engages in fraud or coercion at the time of enrollment, Tokio Marine & Nichido Fire Insurance may revoke enrollment.
- Enrollment shall be nullified in the event that any of the following apply:
  - The insured person's consent was not obtained when designating a death insurance money recipient (except in cases

- where a legal heir of the insured is designated as the recipient)
- In any of the following cases, Tokio Marine & Nichido Fire Insurance may cancel enrollment. Note that in such cases, the company may not be able to pay the insurance money either in whole or in part.
  - The policyholder, insured or recipient of insurance money caused damages or injury with the purpose of having Tokio Marine & Nichido Fire Insurance pay insurance money based on this policy.
  - The policyholder, insured or recipient of insurance money is affiliated with organized crime or is deemed to be an otherwise antisocial force, etc.
  - The insured or recipient of insurance money engaged in fraudulent activity with respect to the claim for insurance money based on this policy.

Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.	General Insurance Association of Japan <small>General Insurance Alternative Dispute Resolution (ADR) Center (designated conflict resolution institution)</small>
<p><b>For concerns or consultation about insurance:</b></p> <p>(Note) Regarding the status of enrollment in the insurance and change in the contract details, please get in touch with the contact at school.</p> <p>(The insurance company) Tokio Marine &amp; Nichido Fire Insurance Co., Ltd. (Lead underwriting insurance company) Educational Organization Division Government Sector Dept. 2 〒102-8014 6-4 Sanbancho, Chiyoda-ku, Tokyo  0120-587-050 (Toll free)</p> <p><b>For contact or consultation about accidents:</b></p> <p>School Insurance Desk, Tokio Marine Nichido</p> <p style="text-align: center;"> <b>0120-868-066 (toll-free)</b></p> <p>(Note) This number connects you to your School Insurance Desk, so calls may be returned from another School Insurance Desk in charge of your school.</p> <p>Business Hours: 9:00-17:00 on weekdays (Closed on weekends &amp; holidays)</p>	<p>Tokio Marine &amp; Nichido Fire Insurance Co., Ltd. has concluded a Basic Contract for Implementation of Dispute Resolution Procedures with the General Insurance Association of Japan (SONPO), which is a designated dispute resolution organization designated by the Financial Services Agency Commissioner, as based on the Insurance Business Act.</p> <p>In the event that a dispute with Tokio Marine &amp; Nichido Fire Insurance Co., Ltd. is unable to be resolved, an application for resolution of the dispute may be made with SONPO. For more information, please refer to the SONPO homepage. (<a href="https://www.sonpo.or.jp/">https://www.sonpo.or.jp/</a>)</p> <p style="text-align: center;"> <b>0570-022808 (Charged Call)</b></p> <p>When calling from IP phones, please call 03-4332-5241. Business hours: 9:15-17:00 on weekdays (Closed on Saturdays, Sundays, national holidays, and year-end and New Year period.)</p>

**IX. Addresses for insurance claims (Wellness Insurance Money Support Dept, Tokio Marine and Nichido Co., Ltd.)**

Tokio Marine Nichido Office (School Insurance Desk)	Address
<p>Tokio Marine &amp; Nichido Fire Insurance Co., Ltd. Wellness Insurance Money Support Dept., Accident Insurance Support Office, Accident Insurance Support Team 3 (School Insurance Desk) Toll-free number: 0120-868-066</p>	<p>Toranomon Tokio Marine Nichido Bldg. 3-9-4 Nishishinbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8551</p>

## X. Other

### **(Handling of insolvency cases of an insurance company)**

In the event that the underwriting insurance company should become insolvent, there may be cases where the payment of claims, refunds, etc. is frozen for a certain period of time or where the amount of claims, refunds, etc. is reduced. Moreover, this insurance shall fall under the Non-life Insurance Policyholders Protection Organization of the Insurance Business Act, and claims and refunds shall be partially compensated by the Organization. Partial compensation by the Organization shall be as follows:

- The period of insurance is under one year: In principle, 80% (or 100% for claims arising from an insured event within three months of the suspension of payment of an insolvent insurance company.)
- The period of insurance is over one year: In principle, 90% (or below 90% for over five years in the event that the rate of return on policies used to calculate premiums at the time of insolvency of the underwriting insurance company has always been higher than the standard interest rate set by the cabinet minister in charge for the past five years.)

### **(Guide regarding the handling of private information)**

Japan Educational Exchanges and Services (JEES), the policyholder of this insurance, will provide private information concerning the names, student numbers, payment dates, etc. of students enrolled in this insurance to the underwriting insurance companies in relation to this insurance. The underwriting insurance companies and their group companies will use such private information concerning this contract for the purposes of underwriting decisions, management and implementation of duties under this contract, provision of incidental services, information and provision of various other insurance and financial products and related services, conducting questionnaires, as well as in cases (1) to (6) mentioned below. The purposes of using particular confidential health and medical information (sensitive information) are restricted to the scope considered necessary for the appropriate operation of insurance business and the like, under the Insurance Business Law Enforcement Regulations.

- (1) Private information in this contract shall be provided to entities to accomplish purposes of use deemed necessary. Entities include entrusted businesses (including insurance agencies), insurance brokers, medical institutions, entities related to insurance claims and payments, financial institutions, and the like.
- (2) Private information shall be used in cooperation with other insurance companies and the General Insurance Association of Japan for the purpose of making decisions regarding insurance claim payments and other matters.
- (3) Private information shall be used in cooperation between Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. and its Group companies, as well as between Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. and affiliated companies for the purpose of providing and introducing products and services.
- (4) Private information shall be supplied to reinsurance companies for the purposes of entering, renewing and managing reinsurance contracts.
- (5) Private information shall be provided to secured parties for administrative procedures regarding the establishment, etc. of security rights of pledges, liens, etc., as well as the management, and exercise of such rights.
- (6) Insurance money claim information etc. (including past information) of those covered by insurance shall be provided to the policyholder and the student enrolled in this insurance to ensure stable operation of the contract (e.g., judgments of insurance underwriting relating to renewal contracts)

For details, please refer to the websites of Tokio Marine & Nichido Fire Insurance and other underwriting insurance companies.  
Tokio Marine & Nichido Fire Insurance: [www.tokiomarine-nichido.co.jp/](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/)

Private information will be included in a list of enrolled members prepared by their schools which JEES submits to Tokio Marine & Nichido. Should you find it difficult to agree to the above, you are requested to inform JEES immediately. (Agreement to the above is required to enroll in this insurance.)

---

Issuer  
Japan Educational Exchanges and Services  
Student Insurance Division, Student Support  
Department

〒153-8503  
4-5-29 Komaba, Meguro-ku, Tokyo  
TEL: 03-5454-5275  
<http://www.jees.or.jp/>

---

Drafted in November 2023

What to do  
if you are  
injured

# Insurance claim procedures

If you have an accident,

perform the procedures below.



- Report the accident to your school and confirm the means of notifying the insurance company (Tokio Marine & Nichido) of the accident.



- Report the accident to the Tokio Marine & Nichido School Insurance Desk (Tokyo) using the accident report postcard (postage paid), **LINE** (\*), your cell phone, computer or fax.  
\*LINE may not be available depending on the school.



(Accident Report System Landing Page)



- Get and keep your receipts from your hospital visits.



- Get the insurance claim form from your school.



- After completing treatment, send the insurance claim form (certified by the school) to the Tokio Marine & Nichido School Insurance Desk (Tokyo).  
(Note) The address is on P16.



- Tokio Marine & Nichido will pay the claim.